

## 2019年度(2020年度実施) 『看護系大学に関する実態調査』

### ■自由記載一覧

1. 看護系大学・大学院の卒業生・修了生の就職・進学状況 <調査票項目No. 6>
  - 1) 表6. 卒業生、修了生の就職・進学状況 (Q16)
2. 教員の研究活動および社会貢献について <調査票項目No. 7>
  - 1) 表7-1. 研究費の取得状況 (Q17)
  - 2) 表7-3. A. 一般市民向け公開講座のテーマ (Q18-A)
  - 3) 表7-3. B. 看護職者等の専門職向け講座のテーマ (Q18-B)
  - 4) 表7-3. C. その他の講座のテーマ (Q18-C)
3. FD・SDの状況について <調査票項目No. 8>
  - 1) 表8. A. 全学主催のFDのテーマ (Q19-A)
  - 2) 表8. B. 全学主催のSDのテーマ (Q19-B)
  - 3) 表8. C. 看護系学部・学科、大学院主催のFDのテーマ (Q19-C)
  - 4) 表8. D. 看護系学部・学科、大学院主催のSDのテーマ (Q19-D)
4. 教員および学生の評価について <調査票項目No. 9>
  - 1) 表9-4. GPA制度の活用について (Q20-D)
5. 看護関連の附属施設について <調査票項目No. 10>
  - 1) 表10-1. 看護関連の研修事業の有無 (Q21)
  - 2) 表10-4. 附属施設の財政基盤について (Q22-C)
  - 3) 表10-5. 附属施設の活動内容について (Q22-D)
6. 国際交流の状況について <調査票項目No. 11>
  - 1) 表11-8. 海外からの学生・教員の受け入れ、海外への学生・教員の派遣における大学独自の経済的支援の有無 (Q23-H)
7. ハラスメント、コンプライアンスに関する取り組みについて <調査票項目No. 12>
  - 1) 表12-3. 発生したハラスメント事例について (Q24-C)
8. 学修支援などについて <調査票項目No. 13>
  - 1) 表13-3. 大学入学前教育の対象者 (Q25-C)
  - 2) 表13-4. 大学入学前教育の学習形態 (Q25-D)
  - 3) 表13-6. 大学入学前教育の費用負担 (Q25-F)
9. 大学と実習施設等の教育連携について <調査票項目No. 14>
  - 1) 表14-1. 実習施設の研修等における組織としての支援状況 (Q26-B)
  - 2) 表14-2. 実習施設等と大学間における人事交流の制度や取り組み (Q26-D)
  - 3) 表14-3. 実習施設との共同研究や合同研修等の制度や取り組み (Q26-F)
  - 4) 表14-4. 実習施設の看護部等に対する臨床教授制度の導入状況 (Q26-H)
  - 5) 表14-5. 臨地実習における課題や問題の有無 (Q26-I)
  - 6) 表14-6. 臨地実習における課題や問題の内容について (Q26-I)
10. 保健師、助産師および養護教諭の教育課程について <調査票項目No. 15>
  - 1) 表15-4. 保健師課程の実習における課題や問題の内容について (Q27-C)
  - 2) 表15-8. 助産師課程の実習における課題や問題の内容について (Q27-F)
  - 3) 表15-12. 養護教諭I種教育課程の実習における課題や問題の内容について (Q27-I)
11. 大学、大学院の教育運営経費等について <調査票項目No. 16>
  - 1) 表16-6. 看護系の学部・学科、大学院の学内研究費 (Q30)
12. 本調査に関するご意見、ご要望について (Q36) <調査票項目No. 22>

Q16. 看護系の学部・学科、大学院の卒業・修了生の就職または進学状況を教えてください。〔各数値回答〕

	その他内容
1	就職を希望しない
2	進路不明
3	就職希望なし
4	留学予定であったが、コロナウイルスの影響により日本待機。
5	就職準備中(帰国後、就職準備者含む)、就職しない
6	進路不明
7	就職者その他の4名は養教講師(非常勤)
8	国家試験不合格のため内定取り消し(2名)、進路検討中(1名)、育児(1名)、詳細不明(1名)
9	就職準備、進学準備
10	2020年3月時点で進路未定
11	家事従事、他大学受験準備、就職活動
12	国家試験不合格につき、国試勉強中
13	通学準備、未就職等
14	進路未定
15	国家試験不合格、未定
16	主婦業
17	不明2名
18	アルバイト、就職活動、進学辞退
19	進学準備(学部1人)
20	他大学養護教諭特別別科 未定2名 修士:海外転居(配偶者都合)帰国(母国で就職活動)
21	学部1名は育児のため就職せず。修士課程5名、博士後期課程4名ともに、社会人入学。
22	卒後進路確認出来ず
23	【学部卒業生】養護教諭特別別科:3名 【修士修了生】無色:1名
24	社会人学生
25	(学部2名)国試受験準備、(修士2名)家庭に入る為就職しない・大学院研究生、(博士1名)就職準備
26	研究生など
27	未就業者
28	国家試験不合格のため内定取り消し
29	家庭に入る(子育て)
30	進路未定
31	保安職業
32	国試不合格者(2名) ワーキングホリデー(1名)
33	国家試験不合格のため看護助手として病院に就職2名、無職1名
34	進学及び就職をしない
35	不明
36	未定
37	所属先はありません。
38	進路変更
39	進学準備1、未定1
40	学部:専業主婦1名、就職希望でない1名、予備校進学1名 修士:就職活動中1名、その他1名
41	学部:国家試験不合格により進路未定 1名 大学院:社会人学生 5名
42	未定、就職活動中(2020年3月時点)
43	令和3年度教員採用試験受験
44	国家試験不合格のため就職しない(1名)、アルバイト(1名)
45	就職しない
46	就活中・就職、進学を希望しない者
47	不明
48	国家試験不合格内定取消3名、就職活動中1名、就職しない1名
49	進路未回答
50	家居
51	海外移住、未定
52	未定4、看護助手1
53	在学時から就業している社会人学生
54	未定(国家試験不合格)
55	未就職・未進学
56	社会人入学者
57	就職延期
58	家事手伝い
59	公務員予備校
60	就職先未定
61	未定3
62	養護教諭養成課程別科

Q16. 看護系の学部・学科、大学院の卒業・修了生の就職または進学状況を教えてください。〔各数値回答〕

	その他内容
63	・JICAでのボランティア活動 ・就活準備のため
64	未定
65	就職の意志がない者1名、就職準備中の者9名
66	国家試験再受験のため
67	国家試験対策に専念等
68	国家試験受験準備1、進学も就職もしない1
69	1名:育児中で就業無し 1名:就活継続
70	国家試験合格に向けて勉強中
71	病気のため自宅療養
72	次年度の就職活動の準備など
73	就職も進学もしない。
74	詳細は知りません。
75	国家試験不合格のため国試浪人
76	就職未定
77	学部卒業生:本人死亡のため 修士修了生:雇用外(大学研究員)のため
78	結婚、就職活動継続
79	就職・進学しない者、未定の者等
80	就職希望せず
81	家事
82	看護師国家試験不合格
83	他学部への進学準備中(予備校入学) 1名 就職準備中 3名
84	未定
85	学部卒業生:国家試験不合格のため未定、修士修了生:未定
86	国家試験準備、養護教諭臨時採用(1年未満)、公務員採用試験準備
87	国家試験受験準備のため
88	国家資格不合格のため、アルバイト。 就職しない。
89	学部卒業生(未定2:国試不合格者、海外移住1、不明1)、修士(海外移住1)、博士(未定2)
90	就職準備中
91	国試再受験、未定
92	保育士資格取得のため等
93	未就職
94	国家試験受験準備
95	就職準備中
96	不明
97	学部卒業生2名、修士修了生1名:未定
98	就職準備中
99	就職未定者
100	国家試験に向け勉強する。進学に向け勉強する。就職準備中。
101	就職準備中(国試不合格)
102	家事手伝い
103	就職の意思なし
104	就職意思なし
105	国家試験不合格、卒業後連絡とれず
106	看護師国家試験不合格のため
107	国家試験不合格
108	進学準備中1名、家事1名、未就職1名、大学院研究生1名
109	未就職、未進学
110	就職希望なし
111	家事・手伝い、アルバイト
112	国家試験不合格のため就業せず
113	国試不合格のため就職希望せず、出産のため
114	国家試験不合格のため、就職を辞退
115	学部卒業生4名のうち2名国家試験受験対策、1名公務員受験予定、1名就職活動しない。 修士修了生2名就職活動しない。
116	看護師国家試験不合格のため、就職準備中
117	国家試験に不合格であったため
118	未就職者
119	進路再考のため
120	看護師国家試験不合格のため

Q16. 看護系の学部・学科、大学院の卒業・修了生の就職または進学状況を教えてください。〔各数値回答〕

その他内容	
121	家事手伝い等
122	就職しない
123	就職準備中の者
124	看護師国家試験を再受験するため
125	内定先未定
126	不明のためわかりません
127	家事手伝い
128	国家試験不合格者2名
129	就職未定者
130	進路未定
131	3名：看護師国家試験不合格のため、就職内定先で看護助手として就業中
132	看護助手、国試浪人
133	国家試験不合格者4名のうち1名は看護助手として11月まで勤務 3名は国家試験準備 修士修了生は出ていない(修士生 全員有職者)
134	卒業、終了時点未定者
135	国試受験準備
136	就職せず。
137	卒業後病院に就職
138	不明
139	国試浪人
140	進路未決定にて卒業のため。
141	看護師国家試験再受験のため等
142	●●大学養護教諭特別科
143	就職進学的意思なし
144	就職準備中2名、就職を希望しない者1名
145	学部卒業生：看護助手(9名)、一般企業就職(1名)、無職(1名)
146	就職準備中
147	資格試験準備
148	家事手伝
149	就職しない
150	就職していない
151	就職希望なし
152	1名：起業 9名：看護師国家試験不合格
153	アルバイト
154	未就職
155	就職準備、臨時労働者
156	国家試験準備
157	進学希望のため予備校に行く予定1名、進学希望だが未定者1名。
158	当該時点において就職先未定
159	学部：進学準備等、大学院：就職、進学しない者、未定の者等
160	家事手伝い(国試勉強)
161	国家試験不合格者、未就職者
162	2名看護師国家試験再受験、1名不明
163	2017年4月開設につき、まだ卒業生がいない。
164	卒業生なし
165	2019年現在、卒業生を出していません。
166	進路未定

Q17. 看護系の学部・学科、大学院に所属する教員の研究活動についてお聞きします。〔各数値回答〕

その他FA	
1	安田記念医学財団 がん看護研究助成
2	学術相談1件 国等の受託研究2件
3	カンボジア国カンダラスタン郡の衛生教育改善のための学校保健体制の構築プロジェクト(独立行政法人国際協力機構(JICA)) ¥21,161,973、 医療技術等国際展開推進事業・カンボジア国における学校健康診断の技術研修(国立研究開発法人 国立国際医療研究センター)¥3,353,874、 科学技術人材育成費補助金(ダイバーシティ)¥626,561
4	JST、NEDOによる受託研究費
5	共同研究
6	地方公共団体による研究費
7	企業との共同研究、独立行政法人からの受託事業、企業からの寄附金等
8	企業からの寄附
9	寄附金(大学全体の研究教育経費となる間接経費を含むため教育研究奨励費ではなく本欄に計上しました)
10	民間企業等との共同研究
11	共同研究費
12	・企業及び個人からの学術研究を目的とした寄附金 ・自治体による受託・共同研究
13	地方公共団体による受託事業、科学技術振興機構(JST)による受託事業
14	企業等との共同研究費
15	奨学寄附金 1件 100,000円
16	地方自治体からの研修委託費
17	共同研究による研究費受入
18	自治体等との受託事業4件2,460,000円、学術指導3件3,000,000円
19	●●大学医療福祉研究費
20	①②文部科学省補助金:1件、③NEDOからの委託研究:1件(継続)、地方自治体 ●●町からの委託研究:1件(継続)
21	労災疾病臨床研究事業費補助金(厚生労働省)※上記「厚生労働科学研究費補助金」の欄に含めず、その他に記載していません。
22	自治体からの受託研究:2441340円(継続1)、企業との共同研究:3000000円(継続1)、 企業からの寄付金(特別研究費):700000円(新規2)
23	研究拠点形成事業(b.アジア・アフリカ学術基盤形成型)
24	ひらめきときめきサイエンス
25	介護予防・日常生活支援総合事業評価
26	学校法人●●学園による研究助成
27	共同研究費
28	老人保健事業推進費等補助金
29	国際医療研究開発費

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

A. 一般市民向け公開講座

1	脳を若く保つには～認知症になりにくい生活習慣～
2	小さく生まれた子どもを支える
3	健康寿命を延ばす生活習慣のヒント
4	がんを自分事として生きてゆく準備
5	我慢していませんか？膝の痛み ～その原因と適切な予防・対処法～
6	看護師のはたらき ～今どき～これから～
7	健康管理アップで感染予防(※複数回実施)
8	精神障害(※複数回実施)
9	今考えよう、自分の性について(※複数回実施)
10	顕微鏡でみる生命のかたち(※複数回実施)
11	気にしていますか？メンタルヘルスについて(※複数回実施)
12	認知症に強い脳と体を作ろう(※複数回実施)
13	思春期の生と性(※複数回実施)
14	我が家で亡くなりた！その心得
15	根拠に基づいた健康づくりをしよう
16	認知症のケア
17	薬物の心身への影響 ～薬物乱用防止～
18	認知機能向上教室
19	市民健康セミナー
20	市民公開講座「胎児治療ってなに？」
21	桃太郎のまち健康推進応援団「健康経営で業績向上！人も企業もまちも元気で健康に」
22	2019年度地域支え合い担い手養成講座「老人クラブ活動推進リーダーフォローアップ講座」
23	生と死の倫理 出生前診断
24	子どもをまもる 産科スタッフ・保健師のためのワクチンの知識
25	不妊・不育とこころの講演会
26	子育て支援●●はあとふるさろん
27	認知症予防教室
28	●●校区市民大運動会での活動：●●大学医学部看護学科の健康支援・教育ブースの設置、地域住民の防災意識向上に向けたプログラムの展開、アンケート調査
29	加齢と転倒 ～運動機能の観点から～
30	そらまめ教室(腎臓病予防教室) at ●●市保健センター(2019.6.28)
31	避難生活を地域住民みんなで考える
32	「最新の研究から家庭の保健・医療へ」ー健康長寿の延伸のためにー
33	体の仕組みと健康について勉強しよう
34	健康講座
35	「私らしい生き方」をあらためて考えてみる
36	スキンケア講座
37	子育て講座
38	グリーンとグリーンケア
39	第24回日本在宅ケア学会学術集会 市民公開セミナー タイトル：最期まで私らしく生き抜くために、今から考えてみませんか：●●での取り組みから
40	第24回日本在宅ケア学会学術集会 市民公開セミナー タイトル：孤立とセルフ・ネグレクト：身近な人のSOSに気づくには第24回日本在宅ケア学会学術集会 市民公開セミナー
41	サイエンスカフェ
42	●●大学Open Campus 2019 模擬講義「がんの子供と家族がもつ課題を共有しよう」(7月31日開催)
43	フィリピンにおける糖尿病の現状と国際協力
44	●●県立看護大学健幸大学講師
45	膝いきいき教室
46	「てんかん入門と発作の介助」
47	「健口で健康！知っておきたい口腔機能低下症」
48	●●大学公開講座 遺伝学講座17「遺伝について楽しく学ぼう」
49	臨床遺伝2019in ●●市民ひろば いでんのフシギ ●●大学医学部保健学科 遺伝教育プロジェクト
50	●●市立●●小中学校 出前講座「いのちの教育推進事業 遺伝について楽しく学ぼう」
51	●●保育園 出前講座「いのちの勉強」
52	子育て支援センター「●●」命の大切さをまなぼう！～みんなちがって、みんないい～
53	出前講座「遺伝について楽しく学ぼう」in ●●市北公民館
54	●●県立●●高等学校(定時制)の健康教育講話「多様性と唯一性(みんな違ってみんないい)」
55	●●小学校学童保育 出前講座「●●キッズクラブ」遺伝について楽しく学ぼう
56	●●高等部出前授業 ●●大学出前遺伝講座 プレパパ・プレママ教室 ～妊娠中の遺伝学的検査について考えてみよう～
57	●●市立●●小学校出前講座「遺伝について楽しく学ぼう」
58	みんなで学ぶ更年期 女性も男性も『幸年期』を迎えるために(5件)
59	女性のための健康増進講座～乳がん・子宮がん検診のススメ～(4件)
60	第1回●●町生き抜くプロジェクト
61	第2回●●町生き抜くプロジェクト

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

A. 一般市民向け公開講座

62	大学院保健科学研究院公開講座「ようこそ！ヘルスサイエンスの世界へ」
63	子どもの成長のみかた
64	病気の子どもの自立に向けて
65	第7回日本公衆衛生看護学会「宇部方式を今につなぐ 一産・官・学・民で取り組む健康なまちづくり」
66	がん予防に役立つミニ知識
67	「すこやかに生きる」最先端がん医療 一がん健診で早期発見、最新治療で克服一
68	楽楽ランニングで目指せ！●●マラソン完走！！
69	世界遺産登録へ向けた●●伝統空手の健康技 ・三戦と尿失禁 ・頻尿に役立つ骨盤低筋訓練
70	コンチネンス月間・コンチネンスデイ！めざせ！気持ちよく排泄できるコンチネンス
71	がん患者・家族を癒す緩和ケアの実際
72	ミトランボリン講座
73	女子中高生の理系進路選択支援プログラム
74	認知症とのつきあい方 一あなたの大切な人が認知症と言われたら一
75	知ろう！私たちを取り巻く生活習慣病とその予防法
76	守ろう！子どもの安全 高齢者の健康と安全
77	育もう！子育てにやさしい社会
78	動いて得しよう！身体の構造と動作の仕組み
79	試してみよう！学生たちが得た健やか力向上の知恵 感じよう！しあわせ・健やか・こころの健康づくり
80	災害につよい街づくり
81	健康づくり講座
82	認知症疑似体験教室
83	健康ウォーキング
84	シニア世代向け講座
85	運動って大切な？ 一運動が心身にもたらす作用について一
86	歩くことが難しい人にとどのように接すればよいのか？ 一杖や車いすの使い方や介助の方法を学びましょう！一
87	「脳卒中を予防しよう！脳卒中予防のための10カ条」
88	乳幼児蘇生法・骨盤ケア・母子のための防災教室・ベビーマッサージ研修会(乳児・母親とその家族)
89	人生100歳を住み慣れた地域で健康に暮らすために 一地域包括ケアのしくみを知ろう！一
90	総合人間学①●●トリニータを通して地球の未来を考える
91	総合人間学②「働く」と「幸せ」のツナギ方～男女共同参画とワーク・ライフ・バランス～
92	総合人間学③いま地球は病気です ～地球温暖化と異常気象～
93	総合人間学④かけがえのない命のことを伝えたい
94	総合人間学⑤みんなのSST(ソーシャル・スキル・トレーニング)
95	総合人間学⑥県議会の仕組みと役割
96	総合人間学⑦ひとりぼっちを創らない地球を ～性的少数者(LGBT)当事者として～
97	総合人間学⑧病気とともによく生きることを支えるエコシステムの構築一看護の役割
98	●●創生シンポジウム「予防的家庭訪問実習を経験しての学び」
99	人生の達人の暮らしぶり 一老いることに心を弾ませて一
100	がん検診のすすめ
101	メンタルヘルスをかんがえよう
102	つながりを大切にするヒューマンサービス
103	つながりと貧困 一女性の貧困をとおして一
104	自分の症状が言えない方の健康状態をどう守る？ 一知的障がいのある方々を中心に一
105	未病とヒューマンサービス
106	3, 4, 5歳の子どものできた！が増える 体・指先の指導アラカルト
107	人生100歳時代に向けて食選力アップ！ ～食品表示をよく見て賢く選択を～
108	人生100歳時代をどう生きる？
109	がん看護について
110	放射線治療ってなあに、重粒子線治療と何がちがう ～がん治療の最前線～
111	ハッピーエンディング ～人生の終末期を考える～
112	見逃さないで！脳卒中のそのサイン ～高齢者リハビリテーション看護の立場から～
113	●●シティカレッジ夏休み特別講座「親子でダイエット」
114	●●シティカレッジ夏休み特別講座「あつまれナースのたまご～赤ちゃんとおとしよりを知ろう」
115	●●シティカレッジ夏休み特別講座「アロマを生活の中に」
116	●●シティカレッジ市民公開講座「すこやか子育て講座」
117	●●シティカレッジ市民公開講座「精神科看護師が語る言葉とこころ～笑顔になるために～」
118	市民向け講座「パパママスクール」(●●市共催)
119	高校生のための看護学を学ぶ公開講座×4
120	細胞の「数」から見た動物の体の成り立ちと疾患 ～がんと認知症を中心に～
121	過剰診断／過剰診療について
122	高血圧症：予防と治療
123	水俣病問題から学ぶこと ～フクシマに生かすために～
124	健康の新常識
125	みんなで考えよう がん患者と家族の困りごと ～自分らしく過ごすために本当に知って欲しいこと～

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

A. 一般市民向け公開講座

126	模擬患者のための継続研修 ～模擬患者として授業に参加するために～
127	職場のメンタルヘルス
128	損なわれた関係を正し修復するRJ対話 体験会
129	高齢者の身体と理学療法
130	子ども劇場
131	生命科学体験教室 ～いのちを体験しよう～
132	夏休み子ども民俗学 ～むかしの人が考えた世界のすがた～
133	夏休みこども講座 ～食品添加物の検査をしてみよう！～
134	市販薬と健康食品の正しい知識を学ぶ
135	精神障害者家族による家族自身のリカバリートーク ～私たちは何を体験したか～
136	親子サッカー教室
137	膝の痛みと運動
138	災害医療ってなんだろう？ ～もしもの時に備えた生活を！～
139	親子の関係を育む前向き子育て5原則親支援プログラムトリプルPに学ぶ
140	認知症の人に対する地域支援
141	まちの健康応援室ミニ出張講座
142	フィンランドのネウボラから学ぶ、子どもを持つ家族への包括的支援 ～みんなで考えよう●●の母子保健～
143	「子どもの目線で医療を考える」(2019年度春季公開講座(第3回)5/25 ●●教授)
144	周産期での赤ちゃんとの別れ:両親の悲しみに寄り添うには
145	愛する我が子と別れざるを得なかった親の癒しとは
146	自宅での親との別れ、看取りについて考えよう！
147	家族との突然の別れ:「死」について考える
148	あらたな助産ケア提供体制で病院と地域をつなぐ -病院と地域連携における助産師活動を拡充するために
149	県民の日 県大ツアー「子どもの看護を体験してみよう！」
150	●●市●●中央子育て支援センター 子育て講座「あっ！ あぶない、こどもの周りにひそむ危険」
151	オープンキャンパス:看護の出発点
152	オープンユニバーシティ「コミュニティのメンタルヘルス 現代社会における「精神保健」を考える」(計6回講座)
153	オープンユニバーシティ「中高年女性のこころとからだ 働き続けるために、今できること」(計5回講座)
154	イグ・ノーベル賞と大腸癌
155	世界の女性とともに
156	地域連携セミナー:『がんとともに働く』ということ
157	●●生涯学習センター 共催講座:いつまでも『健幸』でいきいきと！ ～今からできる健康実践講座～
158	知っとこセミナー:熱中症
159	知っとこセミナー:咳エチケット
160	心と体の健康のための食事 ～美味しく食べて健康を～
161	歯周病を知ろう
162	がんと「緩和ケア」 -からだどこころの痛みを和らげるケア-
163	高齢者のうつ予防と家族の対応
164	流行性感染症にかかりたくない
165	長寿の秘訣！健康で豊かに生きる
166	心を元気にする4つのステップ
167	誰もがすこやかに暮らせる共生のまちづくり
168	人の体の不思議 ～この違いつてなあに～
169	災害看護講座:シュミレーションで学ぶ避難所ケア
170	あなたの修士論文、眠らせないで論文投稿へ
171	がんばりすぎない子育てのすすめ ～赤ちゃんの泣きについて学ぼう～
172	女性のためのリラクゼーション講座 ～愉快的心と身体を作るレッスン
173	健康は足先から！イキイキ生活するためのフットケア
174	自尊感情回復講座 ～気持ちがラクになるコミュニケーション術～
175	転ばぬ先の知恵(杖)、転んだあとの知恵(杖)
176	眠りの不思議 ～気持ちの良い眠りのために～
177	病気になりにくい生活 ～感染する病気から家族を守ろう～
178	「こどものひきこもり 大人のひきこもり」 ●●県のひきこもりの現状
179	「こどものひきこもり 大人のひきこもり」 ひきこもりへの思い～家族として、支援者として伝えたいこと～
180	「こどものひきこもり 大人のひきこもり」 不登校・ひきこもりサポートセンター ～追跡調査結果～
181	0歳から100歳以上までの便育教育 気持ちのよい排便×健康づくり×地域づくり
182	●●の盆行事『先祖供養と盆口説き』
183	スポーツにケガはつきものか -「見える化」活動の成果報告-
184	夢に向かって -最初の一步に勇気を パラリンピックへの道-
185	認知症ポジティブ！笑顔の暮らしのコツ
186	地域で支えよう！子どもの成長発達と毎日の生活習慣

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

A. 一般市民向け公開講座

187	思春期男子のこころとからだを理解しよう
188	コグニサイズで認知症予防を
189	知って防ごう熱中症
190	認知症の人にやさしい街づくり2回
191	知ってるようで知らない感染看護2回
192	呼吸法と瞑想で心と身体をすこやかに！
193	親子で英語を学ぼう
194	サルコペニアって何？
195	健康の鍵は「口」にあり
196	精神障害を有する人がもっている力を活かすかわり・看護ケアとは？
197	なくしたい！こどもの事故
198	自分でできる転倒予防
199	第5回 支え合う地域社会
200	認知症フレンドリー社会にむけて今からはじめる〇〇
201	万全の備えで手術に臨むための患者学
202	第2回子どもとメディア●●フォーラム
203	●●国庁と官人たち
204	●●神話の動物たち
205	万葉集と令和と
206	花の歌～古代から現代へ～
207	出雲神話の世界
208	文献資料にみる日向
209	公開講座「令和」の心『万葉集』梅花の歌32首に親しむ
210	公開講座 転ばない体づくり、生活の中に運動を 身体チェックから運動実践へ
211	公開講座 楽しく実践『いきいき健康体操』
212	健幸運動指導員養成講座(4回)
213	あなたは「朝型」「夜型」？睡眠と健康
214	患者として、家族として、よりよい意思決定をするための力
215	人の動きの不思議 -もっと楽に健康に生きるためのヒント-
216	みんなで応援しよう 母乳育児
217	サテライトカレッジ4件
218	●●の森アカデミー 子育て支援リーダーコース10件
219	●●の森アカデミー 認知症ケアリーダーコース5件
220	公開授業「生命と生活の質特論」7件
221	コープ●●寄附講座「私らしく生きる生きかた講座」2件
222	客員教授特別講義1件
223	救命救急の現場から活かせること
224	高齢者の言動を科学的に理解しよう
225	ストレスが心身に及ぼす影響とその対処について知ろう
226	看護の基本となる技
227	肥満予防の大切さ
228	病気を持つ子供と家族
229	住み慣れた地域で暮らし続けられるための保健・看護活動
230	妊娠期の看護
231	がん予防と免疫力 ～その人の持てる力を活かすケア～
232	高齢者の理解と対応方法
233	お子さんからシニアの方まで、みんなで楽しくウォーキング！
234	覚えておこう、災害時の応急処置
235	摂食嚥下のセルフチェックと誤嚥予防体操
236	摂食嚥下の見方と誤嚥予防のための介助法
237	知っていますか がんの緩和ケア
238	摂食嚥下のメカニズム
239	備えよう防災
240	生き生き健康づくり 今日からできるリラクゼーション ～臨床瞑想法を使って～
241	諸外国から学ぶ看護のあり方 ～アイルランド、中国、シンガポールから～
242	もうひとつの終活 一まさか！？のときの成年後見制度
243	怒りと感情とつきあう
244	健康な食生活について
245	共生社会に向けて 一障害のある人たちがいきいきと暮らす
246	女性のためのヨガクラス(マタニティーヨガ、ベビーヨガ、中高年のヨガ)
247	無理なくできる移乗・移動介助のコツ
248	模擬患者(SP)養成講座(全5回)
249	災害に備える活動”災活”今こそ備える時
250	糖尿病患者さんのためのリフレッシュ講座 一ちょっと外にでかけてみようー

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

A. 一般市民向け公開講座

251	出産前後のからだ作り講座 ～温活塾～
252	心と食事、そしてエンターテイメントという隠し味
253	認知症になっても自分らしく暮らすための備え、予防
254	生活習慣病としてのがん、がん検診
255	情報を活かした市立病院活用法
256	地域でともに暮らし共に働く社会をめざして
257	笑い与健康
258	家族や近い人が認知症になったら
259	子どもの様子が変と思ったら
260	健康は足から
261	●●市民大学「お口の健康、幸せ長寿！講座」
262	●●市社会福祉協議会 はつらつ講座「健幸」な地域をつくる」
263	●●市社会福祉協議会 はつらつ講座「寄り添う心と市民活動」
264	●●市民大学「健康100年「そくさい」プロジェクト」
265	●●市民大学「お口の健康、サポーター養成講座」
266	世界糖尿病デー 学長特別講座「もしも、おじいちゃんやおばあちゃんが糖尿病になった時、君にできること」
267	夏に向けての健康管理 ～食中毒の予防～
268	ハンドマッサージで心も身体もリフレッシュ
269	救命講習(心肺蘇生法・AED講習会)
270	いまどきの孫育て講座
271	防ごう！乳幼児のけがや事故 一事故の予防と応急手当一
272	認知症に関する予備知識
273	脳の健康のために
274	生活習慣を見直し健康寿命を伸ばそう
275	健康寿命をのばして、いきいきと ～超高齢化社会を支える住まいと暮らし～歳を重ねてもその人らしく暮らすコツ～
276	認知症予防 ～始めよう！脳と身体を使ったエクササイズ～
277	男性の排尿トラブル
278	2019年度県民大学講座 自分で伸ばそう“健康寿命” ～身体と心のスマート・エイジング～
279	第14回IC看護講演会 話題の感染症を知る 一冬季流行感染症を含めて一
280	市民福祉大学講座「心と体の健康づくり」
281	子ども支援セミナー「児童虐待と家族支援 ～親子関係のバッドサイクルからグッドサイクルへ～」
282	地域連携フォーラム「人生100年時代 ～健やかに、いきいきと～」
283	大学カフェで認知症予防
284	今知っておきたい「お薬の知識」
285	終活を考えよう
286	一緒に作ろうお一人様料理
287	健やかな心で余生を過ごそう
288	元気の気・病気の気
289	スマホ・ネットと子どもの発達
290	大学カフェで認知症予防
291	祖父母の力で子育て支援 一無理せず力になろう！一
292	「笑い与健康」～生活の中でのユーモアあれこれ～
293	からだを支える「口腔ケア」
294	子どものための心理的応急処置1日研修
295	がんプロセミナー(家族の発達やライフイベントを踏まえたうえで、がん患者とその家族に生じている問題について理解し、解決に向けた身体的な支援について考える)
296	いのちの講座「1人1人の命は尊い 世界を回って考えたこと」
297	オレンジリボン啓発イベント 第5回市民公開講座「防ごう子ども虐待・地域で考えよう親と子」
298	脳とこころの科学 「憂鬱感やワクワク感に見える化してイノベーションに挑戦する」
299	認知症を怖がらないで ～認知症になっても住み慣れた街で幸せに暮らすために
300	医療専門職の特徴とそれぞれの歩み
301	その人らしく生きるための摂食嚥下リハビリテーション 一安全に食を楽しむ一
302	Quality of Life を考える
303	脳活き活き！認知症予防アクティビティの実践(市民開放授業の一コマ、90分)
304	日本の災害経験を活かす国際貢献(市民開放授業の一コマ、90分)
305	認知症予防
306	血圧測定
307	アロマで深呼吸
308	身体測定(体脂肪・骨筋量・BMIなど体の総合測定)
309	血管年齢測定
310	これからの高齢者ヘルスケア ～健康記録による節酒対策を例に～
311	●●市民カレッジ「生涯を健康に過ごすには？」
312	医療政策に関する市民公開講座「これからの医療政策の話しよう」
313	該当なし(公開講座は医学部と共催・看護系教員主導開催ではない。)

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

A. 一般市民向け公開講座

314	第46回市民公開講座 「こころとからだの健康のために ～マインドフルネスをやってみよう」
315	第47回市民公開講座 「脳卒中の予防からリハビリテーション ～生活の中でできること～」
316	第48回市民公開講座 「The Heart of English Communication through Singing ～歌って学ぶ！英語コミュニケーションの心～」
317	第49回市民公開講座 「スキンケア ～健やかな肌を保つために～」
318	第50回市民公開講座 「なぜ肺炎予防が大事な？症状の早期発見と予防のポイント」
319	第51回市民公開講座 「健康情報についての上手い使い方」
320	第10回「地域医療セミナー」 「高齢者に起こりやすい“フレイル”について」
321	オープンスクール 「嚥下が難しい人の理解とケア」
322	オープンスクール 「神経系のはたらき ～痛みはどのように伝わるのか～」
323	オープンスクール 「訪問看護とは ～病気や障害があっても、住み慣れた家で生活するために～」
324	人は作業で元気になれる ～アクティブライフを取り戻すリハビリの技～
325	健康は心地よい呼吸から ～呼吸機能の測定と呼吸を若返らせる体操～
326	尿漏れを予防しよう
327	人生100年時代を健康でアクティブに生きるために —「命をつなぐ」食べるということ—
328	命をつなぐ ～食べるということ(市民カレッジ)
329	自分だけの人生のために ～学ぶということ～ (市民カレッジ)
330	長生きのコツ (市民カレッジ)
331	健康寿命を延ばそう！ ～健康づくりの見える化～
332	いのちの旅
333	最期の時間を家族と過ごす
334	障がいのある子どもと笑顔で暮らすために
335	こころの健康と社会
336	「最期まで自分らしく生きる」とは
337	ヘルスリテラシー講座
338	赤ちゃんがやってくる
339	こどもの健康、知ろう、考えよう！ 学習・交流会
340	天使の保護者●●の会:セルフヘルプミーティング(お話会)
341	天使の保護者●●の会:グリーフカウンセリング
342	「からだせんせい」研修会・おはなし会
343	アジア・アフリカ母子保健改善事業:公開セミナー
344	アスベスト健康相談室:講習会
345	●●なびミニ健康講座:健康は自分で創り・守ってこう
346	●●なびミニ健康講座:知る・役立つ・冷凍食品のひみつ
347	区民カレッジ:シニアコース「今考えよう、自分の最期の過ごし方」
348	区民カレッジ:まなびのコース「健康に過ごすためのこころとからだの使い方(前期・後期)」
349	見直そう、睡眠習慣
350	親のがんを知らされた子供の心に寄り添う(8回)
351	認知症予防運動の体験(2回)
352	”性暴力”について
353	最近の手術事情と術後の過ごし方
354	肺の生活習慣病COPDとは
355	発達をうながすベビーマッサージ
356	日常生活のイライラとメンタルヘルス ～ストレスの解消法とは？～
357	健康で安全・安心な食生活のために ～暮らしの中の食品衛生～
358	お産、今むかし
359	サプリメントのウソ、ホント？ サプリメントの開発や表示制度について
360	ペットからうつる病気
361	家族が在宅で看取るとき 一心の準備を中心に
362	フレイルの概念
363	フレイルと栄養
364	フレイルとメンタル機能
365	その終活、大丈夫？ ～住み慣れた地域で自分らしく暮らすために～
366	脳卒中で困らないために ～まさかよりもしやで受診～
367	死っていますか？災害時のこと

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

A. 一般市民向け公開講座

368	「母さん、ごめん」～認知症の親を介護した経験をふまえて～
369	包括的フレイル予防 ー衰えへの気づきを元気のヒケツにー I なぜ老いる?ならば上手に老いるには:フレイル予防を通した健康長寿のまちづくり
370	包括的フレイル予防 ー衰えへの気づきを元気のヒケツにー II わが国日本 どうなる?何が課題なの?“自分のやるべきこと”と“地域のやるべきこと”
371	しなやかな心を育てる マインドフルネス実践
372	認知症は怖くない!(8月15日)
373	認知症は怖くない!(9月11日)
374	認知症は怖くない!(11月27日)
375	認知症は怖くない!(2月21日)
376	子育て(てらっと移動市長室)
377	「セルフネグレクト あなたは大丈夫?“ゴミ屋敷”“孤立死”にならないために今からできること」
378	お口と健康
379	子育てを地域で支えるということ
380	心身の健康を保って自分らしい生き方を考えよう
381	単純性悲嘆(正常悲嘆)とは
382	笑い与健康
383	「いのちの授業」～生まれるいのち、つながるいのち、考えてみよういのちのこと～
384	あなたも看護師 ～救急救命(命を助ける技術)体験と小児科(赤ちゃんのお世話)体験～ ※小学生対象
385	世界のカルチャーからみた健康「大航海時代とイギリスの食文化」
386	「日本赤十字社が取り組んだ開発協力事業と復興支援事業 ～最近の世界の事例から～」
387	「健康と音楽 ～国内外の音楽に触れながら～」
388	将来の介護に向かって準備をしよう
389	人生のもしもについて考えてみよう
390	第3回こころの健康づくりシンポジウム こころの病とこころの癒し
391	自分のからだを知ろう ●●健康測定会
392	●●自治区健康セミナー 丈夫な骨で健康寿命を延ばそう
393	●●村生涯学習講座 簡単にできるリンパマッサージ
394	●●村生涯学習講座 身体と心のストレスケア!からだを癒す(手の軽擦法)体験会
395	夢●●プロジェクト 健康相談、手浴、足浴
396	健康フェスタin●● 健康相談、災害時に活用できる日用品の紹介、食事に関する展示と相談
397	●●プラザまつり 食事にかんする展示と相談
398	●●市生涯学習フェスティバル 災害時に活用できる日用品の紹介、AEDの体験、体組成計や血圧計を用いた測定・健康相談
399	就活のすすめ
400	●●地区防災訓練 胸骨圧迫法、人工呼吸とAEDを用いた心肺蘇生、気道内異物除去の説明
401	認知症とともにくらすために 認知症の症状と予防について知ろう!
402	認知症とともにくらすために お試し!認知症度チェック
403	認知症とともにくらすために 認知症の人をめぐる家族のサポート
404	認知症とともにくらすために データで見る認知症/認知症と生涯学習
405	●●いきいき健康づくり 災害時における子どもの接し方
406	日本赤十字社の国際活動の実際 ～バングラデシュ、フィリピンでの活動を通して
407	あなたも家族も、できる感染予防
408	災害シミュレーション研修
409	認知症サポーター養成講座 2件
410	子どもへの暴力防止の知識とスキルを学ぶ
411	数学のひろがり43「集合のかたち(1)」
412	数学のひろがり44「集合のかたち(2)」
413	数学のひろがり45「ナイチンゲール～医療と数学から」
414	数学のひろがり46「方程式の解の公式をめぐる」
415	医療科学部・保健衛生学部主催 「閉塞性動脈硬化症」
416	これからの災害に向けた心得と食 ー私たちの命を守るためにー
417	子どもの未来につなぐ医療・福祉・教育
418	「フレイル」を知って、目指そう健康長寿!
419	在宅での看取りについて ー自分と家族のために必要な若い時からの知識ー
420	脳卒中とはどんな病気? ー顔・腕・言葉をチェック! ー
421	自分らしい老年期を迎えよう ー老年期を自分らしく過ごすために必要な知識ー
422	上手に活用 介護サービスの知恵(極意?) ー介護の継続はサービス利用と家族の健康ー
423	最近話題のがん薬物療法を知ろう! ー免疫療法とゲノム治療ってなあに? ー
424	快眠のための生活改善術
425	快眠のためのリラクゼーション実践法
426	まちの保健室/リラクゼーション法、快眠のための健康相談
427	まちの保健室/リラクゼーション法、快眠のための健康相談②
428	まちの保健室/快眠のための生活習慣、ストレスに強くなるリラクゼーション
429	まちの保健室/ストレスを人生のスパイスに変える

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

A. 一般市民向け公開講座

430	まちの保健室/ストレスを人生のスパイスに変える②
431	まちの保健室/ストレスを人生のスパイスに変える③
432	ロコモ予防教室①
433	ロコモ予防教室②
434	子どもたちと共にこころ豊かな暮らし(全5回)
435	誰でもできる健康法
436	天使がこの世に降り立てば ～ダウン症者の書家 ●●と歩んできた道～
437	メンタルヘルスクエア(学内)
438	メンタルヘルスクエア(生涯学習館)
439	終活の多様性と死との向き合い方を考えよう
440	癌の正体を知って、がんを予防しよう!
441	自分のからだの状態を知ろう
442	血管力を高めよう!
443	感染予防の手洗い ～私の手はきれい?～
444	健康教育
445	今日からできる! 認知症 予防と認知症への対応
446	アメリカの看護
447	こころの健康
448	足湯で心も体もリラックス
449	大人のための性(生)教育
450	依存症あなたや家族は大丈夫?
451	●●の地で高齢者介護を考える
452	高齢者のスキン-ケア(皮膚裂傷)の予防「お爺ちゃん・お婆ちゃん、その傷どうしたの?」
453	老後の法律講座 一有料老人ホーム・賃貸住宅や成年後見などー
454	シラバス作成に関する研修会
455	授業評価アンケートを授業改善につなげる
456	元気な時から考える医療事前指示書
457	●●職業図鑑2019君たちの未来の選択肢を探してみよう!
458	訪問リハビリテーションについて
459	「脳をストレスから守りましょう」～頭とからだところのリフレッシュ～
460	認知症予防 一病気の知識と対処行動が分かれば怖くないー
461	骨盤(仙腸関節)の機能障害とその対処法
462	老化を考える2 ～老年症候群と加齢性疾患～
463	こころの健康に関する基礎講座
464	私たちはなぜ「むくむ! ?」一予防と対策を学ぶー
465	脳はどのようにして出来上がるのか? 他
466	生涯学●●市民大学習 ●●大学キャンパス講座 第13回
467	「認知症高齢者の緩和ケア」
468	「当事者とともに創る認知症ケア」
469	2019年度 ●●看護大学夏季公開講座 あなたも地域の住民組織活動にさんかしてみませんか?
470	ミニ公開講座 ●●看護大学ってどのような大学?
471	ミニ公開講座 ●●看護大学のことを知ろう
472	●●市健康福祉まつり 公開講座
473	人生百年時代 私らしく“生きる”ための毎日の生活「健康測定結果を維持・改善するための工夫」
474	人生100年時代に備えるために今日からできる健康生活習慣のポイント
475	発酵で健康
476	足から始める健康づくり
477	足の健康づくり
478	血管を若くする生活とともに認知症も予防しよう
479	ヒューマンケアを考える ～医療・看護・介護の現状と課題
480	「赤ちゃんって汗っかき! 今日から使える! 夏の暑さから守るスキンケア」
481	「日用品から介護用品を作り、緊急時の備えも考えてみよう」
482	ストレスに負けない考え方や今・ココに焦点を当てる方法を学ぼう
483	人と人のつながりと健康との関係について学ぼう
484	国内の災害事例にみる発生から復興期の健康問題と●●の災害を考える
485	孫育てで元気になるう
486	「自然災害・人為災害」の実際を知る
487	「認知症の新しい知見と予防」1回
488	子どもが急に病気やケガをしたときの対処
489	心の病気を知る
490	じいじとばあばの子育て支援
491	看取りとグリーフケア
492	健幸(健康)づくり・仲間づくりサポーター講座 自分の心と体を知ろう①メタボは? ストレスは? 大丈夫?
493	健幸(健康)づくり・仲間づくりサポーター講座 活動と休息～健やかな睡眠のために

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

A. 一般市民向け公開講座

494	健幸(健康)づくり・仲間づくりサポーター講座	自分が認知症にならないためには
495	健幸(健康)づくり・仲間づくりサポーター講座	認知症サポーター講座とは
496	健幸(健康)づくり・仲間づくりサポーター講座	高齢者のアクティビティ・ケア(高齢者の活動支援) ～いきいき健幸づくり～
497	健幸(健康)づくり・仲間づくりサポーター講座	自分たちでアクティビティ・ケアを計画して見ましょう①(高齢者の活動支援)
498	健幸(健康)づくり・仲間づくりサポーター講座	自分たちでアクティビティ・ケアを計画して見ましょう②(高齢者の活動支援)
499	健幸(健康)づくり・仲間づくりサポーター講座	アクティビティ・ケアの実践(高齢者の活動支援)自分の心と体を知ろう②
500	●●市健康長寿●●プロジェクト「おりびい健康マイレージ」おりびい健康づくり講座①知る・わかる	～食と健康の関係～
501	おりびい健康づくり講座②今からでも遅くない！	フレイル予防 ～フレイルは子どもの時から始まっている！？～
502	認知症サポーター養成講座	
503	子ども大学●●「お年よりの口のはたらきと食事について知ろう」「目指せ介護小学生」	
504	認知症を抱えた人たちへの食支援	
505	軽度認知障害(MCI)のある一人暮らしの高齢者が自宅でその人らしく暮らすために	
506	親子のコミュニケーションとアンガーマネジメント	
507	●●よもやま話 ～”目から鱗”の歴史と現実～	
508	放射線の健康影響に関するセミナー①「放射線の基礎と健康影響、食品の安全性について」	
509	放射線の健康影響に関するセミナー②「リスクコミュニケーションについて考える」	
510	野生生物と人との関わり合い メダカの場合	
511	手のしびれの原因を早期発見！	女性に多い手根管症候群
512	腸は健康の源	
513	“なるほど！知識”で豊かに生きる	
514	●●まちの保健室	
515	●●まちの助産室	
516	「知っていますか 災害時のこと ～●●大学と災害医療センターの協働について～」	
517	「脳卒中で困らないために ～まさかよりもしやで受診～」	
518	認知症の人とその家族を地域で支える技術	
519	市民看護講座	
520	未就学児の父親に向けた”お父さんに役立つ育児セミナー”	
521	LGBTQ教育を考えるvol. 1	
522	深夜の繁華街における若者の現状	
523	多様な性とその背景・学校現場での取り組みの実際	～子どもの”人生を変える先生の言葉があります”～
524	学校現場でのHIV/エイズ・性教育を考える	～LGBTの理解を深めて～
525	日本のエイズ流行の状況と課題について	
526	仏教看護を考える	
527	育児体験教室	
528	看護とストレス耐性を高める、自身のリラクゼーション	
529	ベビーマッサージ	
530	ベビーエクササイズ	
531	パパママクラス	
532	多職種協働プレバレーションの実際	
533	認知症の人と、支える人へのケア	
534	健康づくりリーダー養成講座	初級編・中級編
535	健康ウォーキングイベント	
536	看護とストレス耐性を高めるリラクゼーション法	
537	誤嚥・窒息の予防ーおいしく食べるためにー	
538	「人生100年時代の健康設計 ー伸ばそう健康寿命」	2019.11.9
539	児童養護施設の子どものための生(性)教育	
540	発達障害の特性をもつ子どもへの支援	
541	動機づけ面接(MI)ワークショップ	
542	住み慣れた地域で健康で長生きするすべ	
543	保育所における児童虐待へのアプローチ	
544	保護者支援と子育て支援 保護者に対する相談援助技法	
545	命の教育(中学生のための性教育)	
546	高校生を対象としたがんの健康教育	
547	小学5・6年生を対象とした生と性の教育	
548	災害時の備え-普段の生活からできること-	
549	思春期保健ネットワーク	
550	熱中症に関する知識の普及と予防	
551	タッチングの効果	
552	シニアボランティア活動支援	
553	高齢者のための体力測定会	
554	まずはあなたのコップを満たしましょう	
555	公開講演会「日本人による国際医療協力 -その現状と課題」	
556	薬害被害当事者をお招きして「薬害」について学ぼう	
557	「教育の資質・能力の向上」	

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

A. 一般市民向け公開講座

558	人生の最終段階を自分らしく生きるためのエンドオブライフケア
559	「●●における栄養サポートフォーラム」
560	「生活習慣病とその予防について知ろう！！」
561	がんを防ぐライフスタイル
562	世界の子どものいのちを守る ―誰も置き去りにしない世界へ―
563	ストレス社会を生き抜くための自分らしい健康管理
564	地域(まち)のみんなで助ける育児 ―「マチイク」のすすめ―
565	災害大国日本で災害と共に生きるには
566	人生100年時代を楽しむためのからだづくり
567	健康医療シンポジウム「超高齢化社会を元気社会に ― 地域に生かす看護」一般市民および関連専門職者対象
568	2025年問題を見据えた生活習慣病予防について
569	100歳健康長寿の理由
570	「ハローベビークラス」わくわく育児体験コース(両親学級) 5回
571	高齢者の自立支援 ささえ愛ボランティア活動の意義 2回
572	高齢者の身体的特徴 コミュニケーション技法 2回
573	介護で孤立しない、させないために私たちができること 2回
574	感染症最前線
575	看護の日「地域住民の健康意識の増進を図る事を目的に健康相談、ヘルスチェックを行う」
576	市民公開講座 看護の科学「オストメイトってなんですか」
577	●●シニアカレッジ「長生きできる町～健康格差は環境に左右される～」(●●市住民対象)
578	傾聴ボランティア市民公開講座「あなたも聞き上手になりませんか」
579	ボディイメージについて考えよう。「高校生のやせ願望について」
580	介護老人保健施設での看取り
581	救急法(乳幼児編)
582	いざという時の子どもの命を守る(乳幼児編)
583	いざという時の子どもの命を守る(幼児編)
584	小児保健Ⅰ・Ⅱ
585	第29回公開講座(●●カレッジ)「和&コンサート」
586	第30回公開講座(●●カレッジ)「想像してみよう！子どもたちが大人になる頃の社会を」
587	第31回公開講座(●●カレッジ)「台湾の疫病払いの祭り」
588	第1回公開講座(●●カレッジ)「老化と付き合う健康づくり」
589	第1回公開講座(●●カレッジ)「日常生活の工夫 ～健康情報の読み方から健康生活のススメ～」
590	●●学研都市7大学連携(市民公開講座2019)「仮想現実(VR)が心身に及ぼす影響とリハビリテーション医療への応用 ～新しいリハビリテーションの世界～」
591	病院ってどんなところ？
592	私にもできる！子育て支援 ―おかあさんと子どもたちの笑顔のために―
593	環境と健康
594	転倒予防
595	高齢者の痛みの特徴と心理要因について
596	医療と放射線 ―放射線は医療にどの様に使用されているか―
597	冬の感染症から身を守る
598	子どもの発達や障がいを理解しよう
599	うつ病 ―療養の基本とサポートのコツ―
600	腰痛の仕組みと予防
601	障害を持った高齢者の生活を豊かにするために ～成年後見人制度を利用した経験を含めて～
602	認知症サポート栄養養成講座
603	女性のヘルスイージングへ向上へのインナーマッスルトレーニング
604	プレ更年期について
605	第9回高齢者元気サポート公開講座
606	いしずえ大学「栄養は健康長寿のカギ」
607	人生100年！自分らしく健康に ～“転ばぬ先の杖”は、強い筋肉と柔らかい関節～
608	看護学部ルー講座「女性のライフコースにおけるこころの健康」
609	看護学部ルー講座「祖父母の孫育て」
610	●●でも受けられる最先端の外科治療 ―腹腔鏡・ロボット手術の現状―
611	●●区生涯学習センター ●●大学看護学部連携講座「がんとストレス がん予防のためのストレスマネジメント」
612	妊婦さんのための安心講座「パースプラン」(R1.7.7)
613	イキイキライフ脳体操 ～認知症を知る～ (R1.10.16)
614	加齢による「筋力の衰え」を考える (R2.2.5)
615	世代間交流と笑いヨガ
616	子どものからだところの発達
617	笑いヨガで心も身体もリフレッシュ
618	歳を重ねて社会で生きるということ
619	末梢血管から健康を考えてみよう
620	いつまでも、いきいき元気で過ごすために「ハイカラ！？(肺から)で元気になろう

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

A. 一般市民向け公開講座

621	いつまでも、いきいき元気で過ごすために「地域とのつながりで元気になろう」
622	いつまでも、いきいき元気に過ごすために「口から元気になろう」
623	長寿社会を生き抜くための秘訣とは？
624	子どもの安全について
625	『生きる意味』について
626	こころとからだの健康づくり ～サクセスフル・エイジングを目指して～
627	食習慣とフレイル ～しっかり食べて元気に暮らそう～
628	住み慣れた場所で安心して暮らしたい！おしゃべりが一番のお薬！●●の元気づくり大作戦
629	フレイル予防とフットケア
630	フレイルとは 予防と対応
631	DVの理解を深めよう
632	多様なセクシャリティを尊重する
633	子どもとほっこりコミュニケーション
634	家庭内で起こりやすい乳幼児の事故の予防と対処 ～ヒヤッとしたことありませんか～
635	知っておきたい子どもの感染予防と予防接種
636	子どもとことばの発達
637	親子で知ろう、からだのふしぎ
638	いきいき生きる
639	能力回復のリハビリ、
640	介護者の負担を減らす試み／こころが風邪をひいたときは
641	色彩で脳力活性、コミュニケーションアップ！
642	人口減少とAI ～40年度の未来をどう生きる？～
643	こころと身体のリハビリテーション
644	美味しく食べて健康寿命を延ばそう
645	100歳まで脳を元気に
646	カラダの不思議を知ろう
647	「生きる力」向上プロジェクト ●● 育ちの大学
648	「これから出産を迎える高年初産婦の方の子育て支援プロジェクト
649	「楽しい子育てとうた遊び」
650	「看護の技をご一緒に～身近な人を寝たきりにしない技～」
651	健康増進・高齢者
652	健康増進・がん
653	健康増進・母子保健
654	まちなか看護フェア
655	まちの保健室(3回実施)
656	「睡眠は脳と心の栄養 -こどもからお年寄りまで睡眠改善健康法
657	教職員それぞれの立場における配慮ある学生対応
658	「サハラ以南アフリカ(西アフリカ)の保健医療の現状とマラリア対策」
659	若年認知症の理解と対応
660	健康づくりのこれから -東洋医学の見地から
661	更年期を科学する
662	「自分の最後は自分で決めよう」 -超高齢社会を生きるあなたに-
663	今から始める肺炎と慢性閉塞性肺疾患の予防
664	「災害の備え ～健康に配慮した避難所づくりのために～」
665	知っておきたい「長寿の質を高めるヒケツ」
666	睡眠と健康
667	上手に活用 介護保険制度
668	子育てに役立つこどもの健康促進
669	プラチナ世代のくらしのヒント(15回にわたり3名の教員で担当)
670	生活習慣病について学びましょう ～これからも健やかに生きるために～
671	ストレスをポジティブに受け止め、成長につなげるために
672	こころの健康 ～身近なストレスとうまくつきあうために～
673	実は身近にある、環境に良いこと
674	地域で、元気に年を重ねていくために
675	人生100年時代の到来 一たのしい身体と頭の体操一
676	腰部脊柱管狭窄症について看護師の視点から ～人生100年、令和の時代もイキイキ歩こう～
677	●●地区防災訓練「救命救急・AED訓練」
678	あなたにもできるこころのメンテナンス ～お役立ちストレス対処術を知ろう～ →本学公開講演会(看護学部教員のコーディネート)
679	「働く」ことについて考える →人生を輝かせるための3つの秘訣 一働かがい・やりがい・生きがい一
680	「働く」ことについて考える →人生100年時代に備えて一生涯現役”を目指す健康対策一
681	認知症サポーター養成講座

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

A. 一般市民向け公開講座

682	終活セミナー ～エンディングノートの活用法～
683	はじめてのキリスト教
684	みんなで待ち望むクリスマス ～クリスマスリースを作りながら、クリスマスの本当の意味を学びましょう～
685	聖書を読もう ～クリスマスの物語を聖書で読もう～
686	訪問看護のための実践的フィジカルアセスメント
687	アルツハイマー病の不思議
688	次の災害に向けて備えてますか
689	初経を迎える娘のために・母としてのプレゼントを考える
690	●●健康サロン 生き活き健活講座 1. こころの健康
691	●●健康サロン 生き活き健活講座 2. 睡眠とメタボ
692	●●健康サロン 生き活き健活講座 3. 頭の体操
693	●●健康サロン 生き活き健活講座 4. 歯と健康
694	●●健康サロン 生き活き健活講座 5. 認知症サポーター養成講座
695	●●健康サロン 生き活き健活講座 6. 健康測定(骨密度, 体組成測定, 歩き方チェック)
696	●●健康サロン 生き活き健活講座 7. 調理実習(冬のスイーツ)
697	●●健康サロン 生き活き健活講座 8. 「歩行」 国立病院機構●●医療センターリハビリテーション科
698	加齢に負けない心の健康
699	「光老化」を知り肌の健康を守ろう
700	フレイルってなに? 知識と体操で健康寿命を延ばそう
701	糖尿病を防いでハッピーな寿命
702	縄文人に学ぶ健康生活のコツ
703	歌って生き生き健康長寿
704	健康長寿のために知っておきたい「動きの質」の6つのポイント
705	お口の健康診断 ～自分に合った歯のみがき方を研究してみよう!～
706	認知症サポーターの役割と今後の課題
707	生体情報を活かした新たな健康管理を探る
708	意外と知らない! 訪問看護のかしこい使い方

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

B. 看護職者等の専門職向け講座

1	退院支援スキルアップ講習会
2	地域で活躍する医療職のためのフィジカルアセスメント講座
3	育ち合う現任教育(※複数回実施)
4	今ドキの新人指導
5	重症患者への呼吸・循環のフィジカルアセスメント
6	次期リーダー保健師として必要なキャリア発達を探究する
7	家族看護の理解と支援 ～保健師が行う家庭訪問～
8	安全な食事をつなげるケアベッドサイドでできる嚥下障害看護 ー嚥下障害における嚥下訓練と食事介助の方法ー
9	ICUにおける倫理的問題
10	クリティカルケアコース
11	看護職キャリアマネジメント研修会「キャリアデザインを描くことの意味 ～自分らしく明日を描く」
12	NICU/GCUにおける退院支援看護師育成研修
13	エンド・オブ・ライフ・ケア研修会(ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム)
14	認定看護師による看護フェア「安全な看護を提供するための技」
15	看護実践セミナー 2回
16	看護教育セミナー
17	看護研究サポートセミナー
18	●●精神看護事例検討会(全3回)
19	●●精神看護をもっと深く学ぶ会(全5回)
20	老年看護学セミナー(全8回)
21	小児看護エキスパート養成講座(理論)(全7回)
22	小児看護エキスパート養成講座(生活)(全7回)
23	高齢がん患者の医療同意能力のアセスメントと意思決定支援の実際
24	がん医療のいまを知る
25	学ぼうせん妄ケア「入院している高齢者の看護とせん妄ケア」
26	老年看護研修ーせん妄ケアー
27	がん看護方法論Ⅲ公開セミナー「薬物療法を受ける患者の看護 クリニカルシーケンスチームの看護師の役割」
28	がん看護方法論Ⅲ公開セミナー「放射線治療を受ける患者の看護」
29	ライフステージに即したがん看護能力スキルアップコース(インテンシブ)「知っておきたい！がんゲノム医療における看護師の役割」
30	●●市 保健活動研修
31	●●県養護教員研究会調査研究部学習会「講義題名：子どもの肥満に関わる学説と生活習慣改善としての取組への期待」
32	医療スタッフが知っておきたい がん生殖医療の実際
33	妊産婦のメンタルヘルス研修会
34	不妊・不育とこころの研修会
35	退院支援研修
36	新卒訪問看護師育成アップ研修
37	訪問看護師のレベルアップ研修:事例検討会
38	流死産を経験した女性の心理とサポート
39	桃太郎がんメディカルカフェ
40	女性を中心とした妊娠期からの継続ケアをめざして
41	最新脳卒中リハビリの講義と実技セミナー「今日から使える脳卒中リハビリの知識と看護・介護技術」
42	看護職に必要なスキルを身につけよう
43	女性のライフサイクルを支える知識と技術「女性の体のみかた ～骨盤底筋編～」
44	子育てを支えるスキルアップ講座
45	筋萎縮性側索硬化症(ALS)療養者の在宅支援
46	リハビリテーションを目指すケアー”最期までその人らしく生きる”を支えるー
47	「Excelの基本的な使用方法 ー表計算とt検定ー」について
48	看護研究に活かせる文献の探し方、集め方
49	看護実践応援企画 実践報告にトライしよう
50	地域と病院をつなぐ認知症ケア ～地域に出向く認知症看護認定看護師
51	先を見据えた糖尿病看護
52	1型糖尿病看護ケア研究会
53	糖尿病教育の目指すところ
54	安心してちゃんと食べることを支える
55	一歩踏み出す糖尿病ケア
56	糖尿病初期教育の重要性 ー初めて“糖尿病”と言われた人への教育の重要性と内容ー
57	生活に直結する療養の支援 ー看護研究結果から見た、運動、食事、睡眠への支援方法の紹介ー
58	患者の“ちから”、家族の“ちから”、同病者同士の“ちから”の活用 ー家族看護、患者会などー
59	看護研究に取り組む際のテーマの見つけ方
60	看護論演習
61	●●クリティカルケア研究会:クリティカルケア領域に活かすせん妄ケア
62	●●クリティカルケア研究会:院内における多職種連携 ー医療安全管理の立場からー
63	●●クリティカルケア研究会:クリティカルケア領域に求められるメンタルヘルス支援
64	●●北支部研修会:LGBT及び性別不適合と医療と看護

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

B. 看護職者等の専門職向け講座

65	看護研究研修会:個別相談会(3回)
66	看護研究研修会:アンケートの作り方、量的結果のよみとき方
67	看護研究研修会:研究結果の伝え方、結果と考察の書き方(2回)
68	性的少数者及び性同一性障害の理解(看護職:2回、薬学学生:3回、小学校教職員:1回)
69	臨地実習指導者研修会
70	実地指導者研修会
71	障がい児訪問看護研修会
72	令和元年度●●県医療的ケア児等コーディネーター養成研修
73	地域における医療的ケア児の支援に関する研修会
74	はじめよう!!小児訪問看護
75	地域完結型看護を意識した実習指導方法についての大学・附属病院合同研修会
76	看護管理の基本
77	看護理工学入門セミナー
78	小児がんの治療を受けている子どもの家族へのアプローチ ー医療者と家族が協力体制を築くにはー
79	心疾患の術後に終末期へと移行した子どもと家族へのケア ～家族が後悔しないような看取りを支えるには～
80	ターミナル期の小児白血病患者とその家族へのケア ～きょうだい支援への広がり～
81	子育てが困難な母親に対する支援
82	ケアの意味を見つめる事例研究セミナー(計3回)
83	Long-term care quality研究会(1回)
84	第44回日本女性栄養・代謝学会 CLoCMiPレベルⅢ認証研修 妊娠期から授乳期における栄養
85	キャリアラダーの基本的な考え方
86	実習指導概論
87	日本におけるハームリダクションの可能性と課題
88	依存・嗜癖におけるハーム・リダクションの基礎
89	ハームリダクションの現状と応用(国際的視点から)
90	ファミリーパートナーシップモデルに基づく産前産後の親子の支援に関する講習会
91	グリーフとグリーフケア
92	「がん緩和ケアにおけるアドバンス・ケア・プランニング(ACP)」
93	在宅療養を支援する能力向上のための教育・システム作りとは ～●●看護人材交流支援事業の経験から～ (●●大学ケアサイエンス共創センター プラクティス部門 共催)
94	緩和ケアリンクナース養成研修
95	緩和ケアリンクナース養成研修 フォローアップ研修
96	第14回●●看護師勉強会「子供の発達からみた疾病の認識と意思決定支援」(4月13日開催)
97	●●大学病院小児病棟勉強会「日々の実践を下支えする緩和ケア概論」(5月9日開催)
98	第45回●●こどもかごnet.「医療的ケア児の親のグリーフ」(5月13日開催)
99	●●県看護管理者の会研修会「指導困難な新人看護師の支援方法について 発達障害の特徴を持つスタッフへの対応方法」(5月25日開催)
100	小慢さぼーとせんたー第1回小児慢性特定疾病講演会「小児看護と家族看護、そして」
101	第1回ウィメンズヘルス研究会(看護と工学の融合とは)(12.6)
102	第2回ウィメンズヘルス研究会(臨床倫理を考える)(10.18)
103	小慢さぼーとせんたー大学病院研修(学ぶこと、教えること)(10.24)
104	●●病院 看護研究発表会
105	●●病院 看護診断研修会
106	看護協会 実習指導者養成講習会
107	CLoCMiP®を活用した助産師のキャリアアップ ～後輩と共に自分も成長しよう～
108	科研費獲得のKnow & How と研究活動
109	助産師の後輩教育 ～助産師を育成する支援者の役割成人教育・成人学習の考え方～
110	●●地域看護研究会(事例検討会、地域看護CNS活動紹介)
111	第21回●●継続看護研究集会「子どもが医療的ケアを受けながら家族とともに安心して暮らすための支援」
112	放射線リスクコミュニケーション教育部門 第9回講演会「災害に遭遇することー支援と受援を考える」
113	第4回放射線看護セミナー
114	看護教員・看護職のための放射線教育研修会2019
115	福島災害医療セミナーin●●2019
116	看護実践能力開発講座「パワーポイントによるプレゼンテーション」
117	看護実践能力開発講座「フィジカルアセスメント 苦手意識を克服しよう!これを知っていればラクラク心電図」
118	看護実践能力開発講座「-高齢者の口腔ケアに向けて- はじめの一步!口の中を観ることから始めよう!」
119	患者のニーズに沿った寄り添う看護「私たちは心の声を聞いているか?」
120	「予後を知りたくない患者・家族への対応」～どんなプランを立てたらいいの?私たち～
121	基礎から学ぶ聴診技術(年2回)

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

B. 看護職者等の専門職向け講座

122	看護倫理に学ぶ医療安全
123	地域包括ケアシステムと医療提供体制改革の行方「2025年」を超えて「2040年」に向けて
124	在宅看取りにおける症状緩和ケアの実際
125	地域包括ケアシステム時代におけるがんの看取り ～在宅看取りの支援を考える～
126	事例検討「家族支援方法について」
127	医療的ケア児を支えよう！
128	人とつながりながら自分で決める ～はじめよう！自分らしく生きるための人生会議(ACP)～
129	ケアマネを知ろう！
130	●●版入退院支援ルールについて
131	未来の動きにつなげる 心地よいポジショニング もちあげない安楽援助(基礎編・応用編・移動技術支援編・実践演習)4回シリーズ
132	在宅栄養管理 病態を知って納得栄養管理
133	心地よいノーリフティング安楽ケアで褥瘡予防
134	「その方栄養足りてますか？」栄養不足は諸悪の根源！～地域一体型NST(栄養サポートチーム)とは？～
135	看護職の研究力アップ講座
136	がん看護セミナー
137	緩和ケア特別講義
138	緩和ケアエキスパートナース養成講座
139	ナイチンゲールが現代に生まれていたら』ー感染症分野で活躍する専門看護師についてー
140	看護倫理
141	NANDA看護診断の基礎
142	研究倫理
143	看護理論と実践
144	リーダーシップ
145	看護研究スキルアップ講座①「看護研究の基礎」「看護研究における文献検索」「臨床看護研究における倫理と手続き」
146	看護研究スキルアップ講座②「質的研究入門」「質問紙調査のための統計の基礎」
147	日々の疑問を研究計画へ(初級実践編)～看護研究の初めて取り組む方のための演習～
148	予防接種に関する最近の話題を知ろう ー感染症から身を守る支援をするためにー
149	Power Point を用いた効果的で効率的なプレゼン作成術
150	いわゆるゴミ屋敷に住む方への関わり方と支援の在り方 -アセスメントツールを活用して-
151	原発を経験した親子の長期追跡研究からみえてきたもの
152	看護を取り巻く制度の動向を理解し、看護現場に活かす
153	大災害発生！いざどう行動するか？ー病院参集から傷病者受入準備までを考えるー
154	これからの病院経営に役立つ財務管理の知識
155	認定看護師対象セミナー「あなたのその実践を論文にしてみませんか」 「実践における経営参画」「論文の実践としてのまとめかた」「事例研究の方法」「認定看護師対象の特定行為研修を受講して」
156	いつでもどこでも医療メデイエーション
157	看護実践セミナー「臨床で行なうリンパ浮腫のケア」基礎編、アドバンス編(2講座)
158	CNS関係者によるがん看護事例検討会 第1回、第2回(2講座)
159	ゲノム医療の現状と薬物間相互作用を知り、現場に活かそう
160	在宅療養移行支援
161	ジェネラリストのための事例検討
162	ペリネイタル・グリーフケア検討会
163	子どもと家族への支援に関する勉強会
164	新任保健師スキルアップ
165	若手看護師へのグリーフケア
166	●●訪問看護師研修会「在宅医療・介護における行政(保健福祉分野)と訪問看護の連携
167	在宅現場での口腔ケア
168	看護研究ワークショップ
169	がん患者・家族を支えるために ～がんの親を持つ子供への支援、家族への支援～
170	多分野のCNSで事例検討しよう！
171	高齢者ケアに関わる専門職のための研修会
172	東日本大震災からの復興のあゆみ ～はまってけらいん かなってけいん～
173	施設及び避難所等の地域での感染対策 ～災害時及び平時からの備え～
174	2020年度 第1回●●慢性疾患看護研究会 ベナー/ルーベル 現象学的人間理解と看護による事例検討
175	2020年度 第2回●●慢性疾患看護研究会 ベナー/ルーベル 現象学的人間理解と看護による事例検討
176	組織の中で人を育てる
177	新人を教育する指導者を育てる
178	●●看護協会:令和2年度看護研修会「看護倫理綱領を読み解く」を県内の新人看護師に講義
179	●●医科大学附属病院 高度看護研修センター緩和ケア認定看護師養成課程で「緩和ケアにおける倫理的問題」を講義
180	●●看護協会の令和2年度中堅看護職員実務研修会で「がん看護における家族ケア」を講義
181	●●看護協会の令和2年度中堅看護職員実務研修会「がんサバイバーシップとケア」を講義

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

B. 看護職者等の専門職向け講座

182	(株)医学書院 雑誌「看護管理」編集者と共同企画 をして「新型コロナウイルス対応の中で、現場に起きているジレンマ」をオンラインで開催し、その中で司会とファシリテーターをした。
183	●●がんを考える会で、全国の看護師と「COVID-19の影響を受けているがん患者・家族を支えるために医療者ができること」オンラインセミナーを実施。
184	医心館3号館(在宅ホスピス)にて「終末期の患者・家族に寄り添うケアとは」を講義
185	●●ネットワーク主催のELNEC-J研修会(エンドオブライフケア研修会):モジュール7 「喪失・悲嘆・死別」を講義
186	●●ネットワーク主催のELNEC-J研修会(エンドオブライフケア研修会):モジュール4 「エンドオブライフケアにおける倫理的問題」
187	●●病院にて、「臨床現場での看護倫理教育を考える」を講義
188	看護実践センター県委託新人看護師研修会にて「看護倫理」を講義
189	●●県立大学●●キャンパス事業「看護技術に関する支援事業」 感染Topics
190	●●県立大学●●キャンパス事業「看護技術に関する支援事業」 研究手法の基本
191	●●県立大学看護実践研究センター事業 看護技術スキルアップLearning Strategies「心電図の読み方」
192	●●県立大学看護実践研究センター事業 看護技術スキルアップLearning Strategies「脳神経系のフィジカルアセスメント」
193	●●県立大学看護実践研究センター事業 看護技術スキルアップLearning Strategies「心電図の読み方」
194	●●県立大学看護実践研究センター ●●県新人看護職員研修 「呼吸・循環器のフィジカルアセスメント」
195	看護技術に関する支援事業 一研究手法の基本一
196	看護技術スキルアップ Learning Strategies 脳神経のフィジカルアセスメント
197	●●死生看護学研究会 第5回研修会 うちのデスカンファレンス
198	看護研究 研究の進め方
199	看護研究 研究計画書の作成
200	地域包括ケアシステム強化のための人材育成事業
201	県内行政保健師の新任期・プリセプター・プレ管理期研修・スキルアップ研修
202	思春期スキルアップ研修
203	臨床検査技師実践セミナー
204	ソリューション・フォーカスト・アプローチ研修会
205	地域保健保健師等研修会
206	福祉用具フェア・セミナー
207	バリアフリー2020・慢性期医療展2020・看護未来展2020企画
208	ノーリフトケアコーディネーター養成研修
209	技術研究成果検討会セミナー
210	看護連盟研修会
211	産後ケア研修会
212	第21回看護国際フォーラム「のぞむ最後を支えるケアアドバンス・ケア・プランニング(ACP)について考える一」
213	●●県中小規模病院等看護管理者支援研修会「学び、高め合おう看護管理能力」
214	「利用者主体」につながる精神科訪問看護ケア
215	CNSを活用して看護実践力を上げよう
216	DVDを使用した出前講義
217	HIV陽性者の支援
218	HIV陽性者の支援(地域・ピア)
219	HIV陽性者の理解と初期対応
220	オレゴン健康科学大学におけるシミュレーション教育とその評価
221	がん患者の就業・就労についての支援
222	がん患者の抱えるトータルペインと看護
223	グリーンケアを現場に活かす
224	クリティカルケア看護におけるエビデンスと実践マネジメント
225	グループワーク実践の結果報告
226	ELNEC-J in ●●県立大学 (ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム)
227	がん患者・家族の在宅療養を叶える
228	最期まで家で穏やかに過ごすために ～多職種での援助を言葉にする～
229	苦しむ人への援助と5つの課題
230	アドバンスケアプランニング:もしバナゲーム
231	同じミスを繰り返すスタッフへの対応
232	島嶼看護職者研修(●●島にある公立病院の使命)
233	島嶼看護職者研修(島嶼での人材育成と人材確保)
234	島嶼看護職者研修(地域文化とケア)
235	島嶼看護職者研修(島嶼での看護実践の工夫)
236	島嶼看護職者研修(協働によるセルフケア支援)
237	退院支援教育プログラム研修2019【フォローアップ研修】
238	退院支援教育プログラム研修2019【アドバンス研修】:3回開催
239	地域における母子保健活動の充実に向けた研修会【妊娠期からの切れ目ない母子支援 一周産期のメンタルヘルス一】
240	看護の専門性を高めるマネジメントについて考えるワークショップ【医療機関において地域包括ケアを推進する看護専門職のマネジメントに焦点を当てて】
241	専門看護師の看護実践の質向上を目指す研修会【倫理調整の視野を広げよう! 専門領域を超えたCNSによる事例検討会】
242	養護教諭のスキルアップと養護教諭像の醸成を目指した学びの会【養護教諭の危機管理のあり方】

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

B. 看護職者等の専門職向け講座

243	養護教諭のスキルアップと養護教諭像の醸成を目指した学びの会【学校保健活動のコーディネーターとしての養護教諭のあり方】
244	●●県におけるEnd-of-Life Care充実に向けた研修会【ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム受講者対象のフォローアップ研修会】
245	医療処置を受ける子どもと家族への小児看護ケアモデル実践講座
246	第1回公開講座:新人・復職間もない看護職者の方々への「基本から学ぶフィジカルアセスメント」
247	第2回公開講座:妊娠期から始める児童虐待予防 ～事例を用いて、社会的ハイリスク妊婦への対応を一緒に考えよう～
248	第1回公開講座:新人・復職間もない看護職者の方々への「基本から学ぶフィジカルアセスメント」
249	第2回公開講座:妊娠期から始める児童虐待予防 ～事例を用いて、社会的ハイリスク妊婦への対応を一緒に考えよう～
250	がん高度実践看護師WG講演会in ●●
251	新任期保健師・プリセプター人材育成研修会
252	小児看護学領域事例検討会
253	在宅看護学ケア検討会
254	クリティカルケア看護学ケア検討会 「見通す力1」
255	老人看護学ケア検討会 「急性期から高齢者のフレイルを予防する」
256	家族看護学ケア検討会
257	地域看護学ケア検討会 「新任期保健師研修会(4年目対象)(PDCA②)」
258	めざそう地域を 一地域に根差した看護と介護の実現一
259	看護専門職公開講座 がん患者のアドバンス・ケア・プランニング ～地域や病院で組織的にアプローチするには～ 「がん患者のアドバンス・ケア・プランニングにおける看護の役割」
260	高度がん看護実践者育成コース がん患者のアドバンス・ケア・プランニング ～地域や病院で組織的にアプローチするには～ 「多職種や組織を巻き込むアドバンス・ケア・プランニング～CNSの実践を通して」
261	地域がん看護実践者育成コース 一歩前に出るがん看護 ～高齢がん患者と家族の治療と暮らしを支える看護力を高めよう～
262	FD研修:発達障害及びその傾向がある看護学生の支援 ～看護学実習に焦点をあてて～
263	看護教員の教育実践能力を鍛える
264	●●精神看護・精神地域ケア事例検討会
265	臨床家のための看護研究セミナー
266	教育責任者の中長期支援プログラム ～組織分析・強みの活用～
267	養護実践事例検討会
268	理学療法学科 臨床実習指導者講習会
269	認定看護師フォローアップ研修
270	産科看護職のための学習会 精神疾患のある妊産婦への支援
271	卒業生を中心とした理学療法士向け講習会および学会形式の交流会
272	71作業療法学科 臨地実習施設向け専門職講座
273	若手理学療法士向け症例検討会
274	施設勤務理学療法士向け症例検討会・講習会
275	認知症をもつ高齢者への対応
276	急変患者のアセスメントと具体的ケア
277	新人看護師のメンタルヘルス
278	助産記録
279	臨床実践から生まれたケアの疑問を研究につなぐ ーエビデンスを探す
280	助産師に求められるウイメンズヘルスケア ー多様な生の支援に向けて
281	看護師のための英会話研修(初級)
282	「気持ち良い体験」をしよう ～呼吸法・マッサージによる医療者のセルフケアのススメ～
283	訪問看護スキルアップ講座2019
284	英国の口腔ケア視察報告会
285	ナースだって癒されたい
286	助産師エンカレッジ支援研修会 新生児の解剖生理学的特徴とケア -新生児にみられる病態と管理- 他7回
287	専門講座 日米比較! エンド・オブ・ライフにおける意思決定支援
288	専門講座 新生児蘇生法NCPRスキルアップコース
289	前期公開講義 ホリスティックケア論 音楽療法の紹介 他9回
290	後期公開講義 小児看護学 予防接種と感染症 他5回
291	看護実践と共にある看護倫理 「プロフェッショナルとは・・・」
292	NCD対策に関する最近の議論
293	看護に生かすコミュニケーションスキル
294	高齢者の生活背景に応じた行動変容に導く看護 ー動機づけ面接法を用いてー
295	重症心身障害児・者の医療と生きることの意味
296	医療安全に関わる組織と制度
297	AI時代の看護とフィジカルアセスメント
298	脊髄小脳変性症をもつ人と家族の体験
299	神経難病療養者と家族を中心とした療養生活支援
300	患者家族支援の最前線
301	医源性リスク低減戦略としてのせん妄管理 ～日常性の再構築～
302	周産期医療の夢を語る 臨床統計に親しみ、臨床研究を進めていこう

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

B. 看護職者等の専門職向け講座

303	看護研究セミナー:看護研究いろはの「い」
304	看護研究セミナー:看護研究いろはの「る」
305	看護研究セミナー:看護研究いろはの「は」
306	看護実践セミナー:家族支援における対話に新しい風を ～オープンダイアログの紹介・体験～
307	看護実践セミナー:心不全、呼吸不全、脳血管疾患の検査結果の見方・読み方と病態
308	看護実践セミナー:患者急変対応開催「何か変、と思ったとき…」
309	看護実践セミナー:ラップ(元気回復行動プラン:WRAP®)体験クラスワークショップ
310	●●看護生涯学習公開講演会:看護本来の専門性を発揮するために ～キャリアデザインを見据えて～
311	さあはじめよう看護研究①「看護研究のテーマをみつけよう」
312	〃 ②「文献検索の基本」
313	〃 ③「看護研究方法の理解」
314	〃 ④「研究計画書の書き方まで」
315	わかりやすいプレゼンテーションのやりかた
316	看護研究のための統計処理(Excelを用いて)
317	ABCD(意識・呼吸・循環)のアセスメント
318	専門性発揮のための社会人基礎 ～高めたい人も、育てたい人も～
319	高齢者の脆弱な肌の悩みを考える ～A氏のオムツやさキンケア等の皮膚トラブルを解決してみよう～
320	脳卒中患者の暮らしを支えるリハビリテーション看護
321	高度急性期医療の場での抑制しない看護へのチャレンジ
322	特別養護老人ホームにおけるより良い看取りの実現に向けて
323	若手保健師ワールドカフェ
324	臨床2～3年目助産師対象実践力向上研修
325	実践と結びつけた看護理論をつくる
326	事例からケアの価値を考えてみよう 一事例研究のすすめー
327	地域に根ざしたがん患者の専門的緩和ケア
328	成人事例検討会
329	●●・老人看護研究会
330	災害対応者への心理社会的サポート ～被災地で活動する人々の健康を守る体制と支援～
331	グリーフケア ～流産・死産・新生児死に寄り添う～
332	地域医療連携 一就労支援について一
333	心不全の在宅療養について
334	健康行動の変容のための理論と実践
335	褥瘡対策できてますか？今さら聞けない褥瘡ケアの基本と褥瘡対策の仕組み
336	医療機関における外国人患者受け入れのPoint of View
337	あなた自身の看護実践や指導の実際は宝の宝庫！
338	認知症ケアのスキルアップセミナー2回
339	新卒看護職員研修の新任教育担当者育成フォローアップ講座 (全3会場)
340	地区別新人職員研修新任教育担当者育成初回研修 (全3会場)
341	看護研究指導者研修 (全6回)
342	中間管理職スキルアップ研修 (全7回)
343	看護師のためのエンド・オブ・ライフケア研修 ーELNEC-Jコカリキュラム看護師教育プログラムー (全2会場)
344	新人訪問看護師育成研修 (全2回)
345	感染管理スキルアップ研修会(7回)
346	精神科病院新人看護職員への臨床実践力育成(5回)
347	新人から中堅助産師のスキルアップ研修会(4回)
348	●●ヘルスリサーチセミナー ～●●ヘルスクラウド～(6回)
349	周産期グリーフケア研修
350	リーダー保健師研修(5回)
351	「病院と地域をつなぐ看護連携 一看護職の地域志向マインドとスキルが育つ職場づくりー」
352	「病院と地域をつなぐ看護連携 一病院看護師の役割ー」
353	助産力を高めよう！ ～より良いお産・子育てに向けての妊婦のケア～
354	助産力を高めよう！ ～解剖生理学・運動学の視点から捉える産後のケア～
355	母子保健コーディネーター人材養成研修会
356	地元ナースブラッシュアップ研修会
357	地元ナースフォローアップ研修会
358	地元ナースカフェ
359	キャリアアップ研修4件
360	感染管理認定看護師フォローアップ研修2件
361	介護職員等研修14件
362	拠点職員母子保健スキルアップ研修8件
363	看護師のキャリア形成-2040年に向けた展望
364	認定看護師は看護の質向上にどう貢献するか？
365	緩和ケア フォローアップ研修 事例分析 実践と理論の統合・実践の評価
366	緩和ケアフォローアップ研修 事例分析 倫理調整の視点を含めて

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

B. 看護職者等の専門職向け講座

367	緩和ケアフォローアップ研修 認知症患者の緩和ケア
368	緩和ケアセミナー リンパ浮腫のケア
369	緩和ケアセミナー 全人的苦痛
370	認知症看護アセスメントと対応力向上研修
371	緩和ケアセミナー エンゼルメイク
372	成人学習に対するコーチング
373	教育担当者フォローアップ研修 メンタルヘルスのサポート
374	訪問看護事業の既往に応じたステーションの生き残り策を考える
375	実習指導者講習会(県委託事業)
376	臨床指導者カフェ(臨床指導に関わる情報交換会)
377	コンチネンスケア研修会
378	臨床で活かす看護・介護研究 ～ケアの質の向上をめざして～
379	北部地域看護・介護実践報告会および表彰式
380	北部地域看護管理者懇談会
381	看護における「常識」と「情報」を考えるワークショップ
382	足の皮膚と爪のセルフケア
383	子どもと家族のトータルケア
384	保健師スキルアップ研修会
385	●●母子支援研究会
386	高齢者看護・在宅ケア情報交換会
387	●●を訪れる外国人の保健医療サポート検討会
388	『産科医療補償制度』原因分析および再発防止に関する提言 ～1人1人の”安心、安全、満足”な出産を目指して～
389	爆笑お笑い子育てライブ
390	シミュレーション研修1(静脈注射:全2回)
391	シミュレーション研修3(新生児蘇生法(NCPR)「専門コース」:全1回)
392	助産師キャリアラダー研修(全2回)
393	在宅看護論研修(全1回)
394	看護実践を語る会(全5回)
395	●●県看護職員実習指導者養成講習会
396	看護教員継続研修(全2回)
397	臨床看護研究計画書立案研修(全2回)
398	看護支援研究講座
399	看護研究方法論講座
400	●●市立看護大学研究報告会
401	多職種連携アプローチを使った困難事例の解決
402	初心者のための看護研究
403	臨床看護セミナー 看護のためのフィジカルアセスメント研修
404	臨床倫理学習会 事例検討で看護倫理を学ぼう
405	多職種協働セミナー 医療・介護場面の安全について多職種で考えよう
406	シミュレーション教育 病院と地域の看護職連携のためのシミュレーション教育
407	職場パワーアップセミナー 職場のストレスとレジリエンス
408	認定看護管理者教育課程 ファーストレベル
409	認定看護管理者教育課程 セカンドレベル
410	どう使う??問題解決フレームワーク
411	どう書く??課題レポート・小論文
412	看護研究セミナー I・II
413	リカレント学習講座 「高めよう実践力! -看護実践の中で直面するジレンマへの対応-
414	●●大学看護国際フォーラム2019 「ケアリングとテクノロジー ～看護の未来を考える～」
415	がん患者とのコミュニケーション・スキル・トレーニング
416	いのちの講座「1人1人の命は尊い 世界を回って考えたこと」
417	オレンジボン啓発イベント 第5回市民公開講座「防ごう子ども虐待・地域で考えよう親と子」
418	脳とこころの科学「憂鬱感やワクワク感を見える化してイノベーションに挑戦する」
419	認知症を怖がらないで ～認知症になっても住み慣れた街で幸せに暮らすために
420	題1回医療・介護勤務環境ナッツ研究会
421	認定看護管理者教育課程「ファーストレベル」
422	認定看護管理者教育課程「セカンドレベル」
423	認定看護管理者教育課程「サードレベル」
424	認定看護師教育課程「感染管理」
425	保健師助産師看護師実習指導者講習会
426	看護コンサルテーションを臨床に活かす
427	地域ケアスキル・トレーニングプログラム:ベーシック・プログラム(急性期、終末期、認知症、退院支援と多職種連携、看護研究)、 フォローアップ・プログラム(急性期、認知症、退院支援と多職種連携、看護研究)
428	採血、注射、静脈内注射、12誘導心電図についての実技研修
429	夜勤シミュレーション研修と導尿・吸引

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

B. 看護職者等の専門職向け講座

430	今までに実施した技術(採血、静脈内注射、導尿、12誘導心電図)
431	人工呼吸器の仕組みと使い方
432	急変時対応シミュレーション(けいれんを起こした患者への対応)
433	看護学研究科公開講座「看護学の基礎について」
434	大学院進学に向けた看護職キャリア支援講座
435	2019年度医療英語文献講読基礎講座
436	認定看護管理者ファーストレベルプログラム
437	認定看護師教育課程～訪問看護コース～
438	認定看護師教育課程～認知症看護コース～
439	在宅看護コンサルテーション
440	看護管理塾
441	退院調整から地域へ ～在宅療養コーディネーター・ナース養成研修と活動支援～
442	訪問看護スキルアップセミナー
443	ノーリフトケアコーディネーター養成講座
444	認知症看護スキルアップセミナー
445	きらきら訪問ナース育成者養成講座
446	ELNEC-Jクリティカルケアカリキュラム看護師教育プログラム
447	新卒訪問看護師対象 訪問看護ですぐに使う看護技術の考え方
448	地域へつなげよう退院支援
449	未来を担う大学生への教育について
450	在宅医療の最新情報 ー在宅看取り実績西日本一の診療所の実践方法ー
451	養護教諭研修
452	産後ケア研修
453	実習指導者研修
454	看護研究(病院単位 3)
455	高齢者を介護する、介護していた家族のためのこころのリフレッシュ講座
456	つながる!看護師自身を支える対話の意味と価値
457	看護の日講演会「看護のためのフィジカルアセスメント」
458	看護職&介護職の就労支援講習会ー高齢者ケアのための学びなおしー
459	認定看護師のためのスキルアップセミナー
460	ワトソンの看護理論と実践への応用
461	「チャレンジ!看護研究 ～はじめの一步～」
462	フィジカルアセスメント ～スキル編～(薬剤師向け)
463	減災へ向けてあなたと組織が備えておくべきポイント ～BCPって何だ?～
464	認知症の症状の理解とコミュニケーションのコツ
465	見落としがちな環境整備・病院清掃のポイント
466	幼稚園・保育所に滞在する子どもが病気やケガで医療機関を受診するまでの対処 食物アレルギーや事故を中心に
467	もう一度学びたい「看護過程シリーズ」看護診断から看護計画
468	臨地実習のコツ 目指そう!役割モデル
469	写真から見る乳腺炎
470	ストレングスモデルの実践的展開を目指そう!
471	摂食・嚥下障害の評価 ～スクリーニングの知識と方法～
472	嚥下障害、呼吸障害がある人への呼吸のリハビリテーション
473	在宅における摂食・嚥下障害看護とリスク管理
474	口から食べたいをサポートする包括的スキル
475	学生や新人看護師の成長を促す効果的な関わり
476	患者との向き合い方を考える臨床倫理
477	子宮がんワクチン啓蒙・乳がん自己検診研修
478	看護技術タスクトレーニング
479	シミュレーション教育研修
480	「なぜ?」から始める研究
481	実践に結びつく文献検討
482	妊娠、出産、産後へと切れ目のない支援
483	現場で役に立つ質的研究の進め方 ～グループワークを通して質的データを分析してみませんか～
484	糖尿病患者への透析予防指導の実際と難しさ ～指導効果を上げるには～
485	現場で役に立つ量的研究の進め方
486	「見逃さない!脳卒中の兆候について気づいて対応する!!」
487	「家庭内における子どもの事故予防」
488	ロコトレ(ロコモーショントレーニング)でロコモ(ロコモティブシンドローム)を予防しましょう
489	第1回 香港理工大学・●●大学 グローバルヘルス学生セミナー 高齢者と災害医療 オープンセミナー
490	第3回 国立イスラム大学・●●大学 国際会議 医療と宗教
491	次世代を担う医療職者について考える ～チーム連携でQOL向上をめざす～
492	看護研究Ⅰ 研究の基礎
493	看護研究Ⅱ 量的研究の基礎

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

B. 看護職者等の専門職向け講座

494	看護研究Ⅲ 質的研究の基礎
495	臨床助産学セミナー「アクティブバース」母乳育児支援の理論と実際
496	脳卒中患者の栄養 動ける身体を作る看護
497	第2回看護シミュレーション教育指導者育成プログラム 入門編
498	第1回卒後教育プログラムセミナー 元気が出る！自信が持てる！指導技術の極意を学ぼう！
499	第6回 看護シミュレーション教育スキルアップセミナー 学生指導や新人教育に活用できるコーチングスキル
500	第3回看護シミュレーション教育指導者育成プログラム 実践の基礎編
501	第4回看護シミュレーション教育指導者育成プログラム 入門編
502	第7回 看護シミュレーション教育スキルアップセミナー シミュレーション教育に活用できるデブリーフィングスキル
503	看護研究指導／●●
504	ダニエル書講義／●●
505	看護部院内教育講師「A大学におけるスピリチュアルケア実習での学生の学び」について／●●
506	看護研究講義(病棟編)／●●
507	臨地実習指導者研修セミナー
508	指導者カンファレンス
509	喀痰吸引等研修
510	大学院看護学研究科主催「ケア検討会」:ターミナルケアを考える
511	「身の回りの薬理学」(薬物の動態と作用について)15回
512	医療機関の専門職との連携 一看護師との連携-1回
513	看護研究計画書の作成、質的研究とは、量的研究とは、看護研究論文のまとめ方
514	災害時のメンタルヘルス
515	新人看護職員研修教育担当者研修「教育に関する知識と課題と解決策」
516	実習指導者講習会「成人看護学実習の指導」「看護論」「基礎看護学実習の指導」
517	地域保健従事者人材育成研修会
518	看護師対象ラダー研修「医療における看護倫理」
519	研究研修会「看護研究計画書の作成」「文献レビューの仕方」
520	●●県看護協会第3支部看護研究指導
521	グローバルに生きる ～留学とNANDA-Iで鍛えた力
522	「呼吸・循環器系モニタリング研修会(基礎編)」
523	「呼吸・循環器系モニタリング研修会(応用編)」
524	アメリカにおけるNPの活動
525	ALSOプロバイダーコース
526	特定行為研修
527	人材育成教育セミナー
528	クリニカルラダー制度の看護研究の講座①
529	クリニカルラダー制度の看護研究の講座②
530	クリニカルラダー制度の看護研究の講座③
531	子どものプレパレーション検討会
532	ナイチンゲール看護研究会・●●
533	●●コクランレビュープロトコルワークショップ
534	周産期のボンディングとその障害
535	周産期メンタルヘルス
536	特定妊婦の背景とその理解 児童虐待防止に向けた対応
537	看護職員の資質向上を図るための実地指導者研修
538	助産師としてのボランティア協力
539	看護研究の指導「看護研究の進め方のコツ」
540	妊産婦のメンタルヘルス
541	HIY陽性者の在宅医療を地域で支えていくために
542	こころのケア勉強会
543	臨地実習における教育上の調整が必要な看護学生への支援
544	健康医療シンポジウム「超高齢化社会を元気社会に - 地域に生かす看護」一般市民および関連専門職者対象
545	●●大学保健医療学部看護学科開設5周年記念国際看護シンポジウム「高等教育における看護学の現状と課題」
546	主任介護支援専門員対象「スーパービジョンの知識と技術」
547	介護支援専門員研修「認知症に関する事例」
548	新任保健師研修会「リフレクションによる学び」
549	●●市保健師、地域包括支援センター職員、ケアマネジャー対象「介護予防のポイント、介護予防ケアマネジメント」
550	●●町医師、保健師、ケアマネジャー対象 ワークショップ「●●町の在宅医療・介護の進め方」
551	介護支援専門員研修「脳血管疾患の高齢者へのケアマネジメント」
552	介護支援専門員対象「認知症高齢者へのケアマネジメント」
553	病院職員対象「重症心身障害児の看護」
554	病院職員対象「ケーススタディ」
555	一次救命処置
556	管理職員コース 組織・部門管理者としてのリーダーシップの醸成
557	「ワンチームで行うターミナルケア」

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

B. 看護職者等の専門職向け講座

558	「重度の肢体不自由者の地域生活」
559	「急変時も怖くない！学内での救急対応法」～救急蘇生法、アナフィラキシーショック・熱中症遭遇時の初期対応～
560	人材管理の方法(コーチング)
561	こころに届くコミュニケーション能力
562	スマートフォンアプリで上手にセルフケア&ロボットとグッド生活習慣
563	更年期女性を支援するためのコミュニケーションスキル
564	PDCAサイクルをまわそう～生き生きと活動していくために～
565	看護研究の進め方
566	【新人看護職員教育プログラム】看護職員として必要な基本姿勢と態度について確認してみよう！他<<全9回>>
567	【●●市看護職能力向上・定着確保研修】Ⅰ.看護の基本を学びなおすコース「心電図の基本のきほん」他<<全11回>>
568	【●●市看護職能力向上・定着確保研修】Ⅱ.教育の基本について学ぶコース「学びを支援すること」他<<全3回>>
569	【●●市看護職能力向上・定着確保研修】Ⅲ.看護を管理するということを学ぶコース「いま一度看護について考えよう」
570	【●●市看護職能力向上・定着確保研修】Ⅳ.看護研究について学ぶコース「看護研究の倫理とは」他<<全3回>>
571	【●●市看護職能力向上・定着確保研修】Ⅴ.トピックス「患者さん、家族への癒しのケア」他<<全4回>>
572	喀痰吸引等に関する講座
573	実習での学びを深めるカンファレンス(臨地実習指導者研修会)
574	看護倫理のいろは
575	●●におけるフレイル対策の取り組み
576	コミュニティ・オブ・プラクティスの考え方
577	研究方法セミナー「研究テーマの絞り込みと文献検討」
578	研究方法セミナー「看護研究の具体的方法を決定するためのプロセス」
579	研究方法セミナー「研究のまとめ方とプレゼンテーション」
580	文献検討 第1部「研究論文を一緒に読んでみましょう」
581	文献検討 第2部「保健医療看護の動向を読む」
582	看護倫理(基礎編)「看護倫理を考える」
583	看護倫理(応用編)「遭遇事例を看護倫理的に再分析してみたら・・・」
584	トラウマインフォームドケア「トラウマの概念」
585	トラウマインフォームドケア「社会に見るトラウマの影響」
586	シンポジウム「子どもの発達を支える多職種連携」
587	●●県看護協会再就業支援研修「フィジカルアセスメント研修」
588	新たな職場でいきいきと！潜在看護師復職支援講習
589	認知症予防
590	医療情勢の変化に伴う病院の取組の知見の向上
591	ACP～意思決定支援を実践に活かす 一厚生労働省ガイドライン改訂版の使い方一
592	臨地実習指導における学生の能力を伸ばすための効果的な教育方法
593	教育評価
594	●●大学看護学部教員のすすめ
595	『研究FD理論と現象と研究』
596	「看護研究することの楽しさを学ぶ」
597	『あなたの日々のもやもやを形にしてみませんか』看護マッチング 3回開催
598	『看護学部教員の研究テーマを知ろう』
599	『看護教員のためのストレスマネジメント ーヘルシーワークプレイスを目指してー』
600	非常勤実習助手および専任教員の実習指導に関する研修
601	新型コロナウイルス:パンデミック危機という状況下の国際交流で生じた問題と対応
602	臨地実習指導者研修会
603	セルフケアプログラム基礎編
604	セルフケアプログラム看護介入技術編
605	セルフケアプログラム事例研究法編①
606	組織・地域・集団を動かすための理論と技術編 ー力動的集団精神療法ー
607	セルフケアプログラム看護介入演習編
608	セルフケアプログラム ーPAS～SCT事例研究方法②
609	リーダーシップと場のマネジメント組織への介入方法 ークリニカルリーダーレベルの展開ー
610	看護研究とは(看護研究テーマの見つけ方)
611	研究倫理・文献検討・文献検索 文献検索の仕方
612	研究計画書の作成 量的研究とは
613	質的研究とは
614	抄録作成・発表方法
615	看護学実習のための看護管理者研修
616	看護におけるコミュニケーション
617	教員要請研修(看護研究)
618	臨地実習指導者研修会
619	県看護研究発表会
620	がん看護実践能力向上研修会
621	公営企業管理局病院看護職員研修(看護過程)

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

B. 看護職者等の専門職向け講座

622	ファーストレベル人材育成研修会
623	高齢者の健口教室研修会
624	県立4病院研修(ジェネラルコース 看護研究の基礎)
625	コンドーム達人講座(知識と技術)
626	スライディングシート、スライディングボードの使用方法
627	バランス・スコアが0度とサービスの価値向上のマネジメント
628	バランス・スコアカードを用いた戦略目標の設定とサービスの機能評価
629	リフト、吊り具などの福祉用具の使用方法
630	安全・安楽を基軸にした看護の質評価とケア
631	医療保険従事者の腰痛の現状と腰痛予防の必要性、腰痛の要因、人間工学的にみた腰痛予防
632	家族とのパートナーシップの形成、家族とのコミュニケーション
633	家族の意思決定プロセス
634	家族への介入
635	家族看護の基礎知識
636	機能強化への取り組みの実際1
637	機能強化への取り組みの実際2
638	機能強化への取り組みの実際3
639	救急患者を回復へ導く看護実践
640	救急患者を擁護するための看護実践
641	救命治療推進のための看護実践
642	教育プログラムと教育評価
643	教育指導のためのスキル
644	教育理論
645	最新のがん薬物療法と看護
646	在宅でがんの専門的な治療を継続する療養者と家族のケア
647	在宅で栄養療法を継続する療養者と家族のケア
648	在宅で死を迎えるがん療養者と家族のケア
649	在宅で療養する子どもと家族のケア(実践編)
650	在宅における災害への対応や備えについて考える
651	在宅における認知症の人と家族への支援
652	在宅における臨床判断の基礎
653	在宅における臨床判断の実際
654	在宅移行期にある患者と家族
655	在宅医療を受ける神経難病療養者と家族のケア
656	在宅療養者とその家族への感染予防
657	事例検討(アクティブラーニング)
658	若者へのHIV/AIDS予防教育
659	手術を受ける患者のケア
660	集中治療をとりまく問題と課題の整理
661	信頼される訪問看護ステーション経営の実現のために
662	心不全を有する在宅療養者の疾病管理とケア
663	新任訪問看護師の特徴と新任教育の実践
664	腎不全を有する在宅療養者の疾患管理とケア
665	生命の危機状況にある患者と家族
666	創傷治癒過程の管理とケア ~キズの治り方・治し方~
667	入室から体質までの重症者看護ケア
668	認知症のある高齢がん患者への支援
669	病院から在宅へのトランジションにおける慢性疾患のセルフケア
670	病気をもつ子どもと家族
671	米国における高度実践看護師のトランジショナルケア、トランジショナルケアにおける高度実践看護師の役割
672	放射線療法の基礎と看護
673	薬害エイズ
674	臨床判断モデルとLCJRのシミュレーション教育への活用
675	未来の動きにつなげる心地よいノーリフティング安楽ケア 実技演習 2回シリーズ
676	過活動膀胱への看護アプローチ新時代 過活動膀胱への看護アプローチ新時代 一知れば互いに救われる 1回
677	多職種で行う納得の皮膚ケア 一理由がわかるとケアがわかる
678	解剖実習講習会
679	心地よい安楽ケアの提供 褥瘡予防ポジショニングの基本 1・2 2回シリーズ
680	看護実践セミナー(看護過程)
681	看護研究を始めよう。研究計画の作り方

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

C. その他

1	介護職のためのフィジカルアセスメント講座
2	ファシリテーションスキルアップ講座
3	思春期の子どもの看護(附属病院小児病棟)1回
4	2019年度がんプロ事例検討会
5	高校出張講義「人々の健康に貢献する看護」
6	認知症サポーター研修
7	出前授業(●●高等学校):看護における人間関係とコミュニケーション
8	出前授業(●●高等学校)
9	基礎看護学授業への学生参加(●●高等学校)
10	地域課題探求型学習推進事業(●●高等学校):地域における保健・医療・福祉に関する研究と課題
11	Home Coming Day:起業ってなに?聞いてみよう
12	令和元年度レッドリボン大作戦in ●●
13	健康フェスタ in ●● 2019 at K'BIX 元気21●●(2019.10.27)
14	個人情報管理
15	情報セキュリティ
16	研究倫理
17	資金の適正執行
18	科研費
19	LGBTs(3回実施)
20	ワーク・ライフバランス(2回実施)
21	ハラスメント防止(2回実施)
22	新任教員研修
23	災害時のけが人の応急手当(対象:小学生)
24	こころとからだの健康に関する講座(計8件)
25	ピアサポートやコミュニケーションの講座(計15件)
26	看護から医工連携を考える ～在宅療養支援の視点から～
27	知のフォーラム2019 テーマプログラム 第3回国際シンポジウム
28	助産概論 5コマ
29	助産診断・技術学Ⅰ 4コマ
30	助産診断・技術学Ⅱ 4コマ
31	助産診断・技術学演習 2コマ
32	家族看護論 2コマ
33	災害支援・ボランティア 3コマ
34	大学院:看護管理学特論 2コマ
35	①～⑦:助産実習施設、関連施設の助産師へ
36	⑤:T-HOC 受講生
37	●●大医学部保健学科学生&●●大卒業●●大学病院若手看護師との交流会
38	卒業生との交流会
39	島嶼部の看護を知る体験研修
40	「島嶼部の看護を知る体験」報告会&離島医療・看護の魅力を学ぶ研修会
41	地域保健システム強化による感染症対策(JICA研修)2コース 継続
42	エビデンスに基づく公衆衛生計画立案(JICA研修)1コース 継続
43	公衆衛生活動による母子保健強化(JICA研修)英語 2コース 継続
44	公衆衛生活動による母子保健強化(JICA研修)スペイン語 2コース 継続
45	看護師の研究支援
46	看護研究個別指導
47	認定看護師教育課程 フォローアップセミナー(秋季)「免疫療法の基本と実際」「新規オピオイドの臨床薬理学」
48	認定看護師教育課程がん化学療法看護分野認定審査対策セミナー(第1回)
49	認定看護師教育課程がん化学療法看護分野認定審査対策セミナー(第2回)
50	●●県立大学 看護学部3年生に「がん看護」について講義
51	●●県医師会主催の「アドバンスケアプランニングへの医療者の支援」のオンラインセミナーを企画・運営と司会をした。
52	小中高生向けSST(Social Skills Training)
53	誰でも参加できるSST
54	少年刑務所の受刑者向けSST
55	県立高校の高校生に対するSST
56	ブックトーク&メディカルトーク(高校生向け)
57	思春期教室(小学校・中学校)
58	高校生の生命科学体験プログラム
59	小学生児童大学見学
60	安心して地域住民が人生を生きる地域医療の構築に向けて;地域医療を支える医療従事者の育成プログラムの開発
61	子どもの感染症とその対処法
62	見方が変わればみかたが変わる
63	血液サラサラと血液ドロドロのウソとホント
64	もしも、災害が起こったら ～避難所生活疑似体験ゲーム～

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

C. その他

65	こどものためのがん教育
66	乳がんセルフチェックを身につけて早期発見しよう
67	夏休み からだとこころの科学塾2019 -不思議・びっくり！からだの世界-・吃音の合理的配慮
68	見方が変わればみかたが変わる
69	家庭や施設における子供の怪我、事故の対処法
70	感染予防の基本を身につけよう
71	「飲み込むこと」の重要性について
72	内部障害を持ちながら生活することについて考えよう
73	生きる力
74	自然災害における保健医療福祉活動
75	「死」を様々な視点から考える
76	社会福祉士実習指導者講習会
77	教員免許更新講習
78	IPW総合課程
79	多職種連携基礎研修
80	見えないチカラを伸ばし夢をつかむリアル体験事業
81	県民の日 高校生学び“夢”プラン
82	大学の開放授業講座(リカレント教育事業)
83	シルバーカレッジ
84	子ども大学●●●●●●
85	薬害エイズ被害の経験から医療に望むこと
86	人文社会学部社会人類学・健康福祉学部部局間交流セミナー『●●フィールドワークリサーチラボ キックオフシンポジウム』
87	理学療法士を対象とした吸引技術研修会
88	教員免許状更新講習7件
89	高大接続事業企画講座「高校生のためのホントの看護を考える講座」
90	●●健康市民大学(前期13回:後期12回)
91	無理をしないいさかた ～ゆるカフェ
92	ブラジル人親子の健康交流会(全6回)
93	在宅看護学等、地域に密着した看護学の重要性や今後の展望・課題
94	看護職に必要な資質や看護職の難しさ
95	地域医療の課題や看護師に必要な資質
96	災害・地域看護や在宅看護等、地域に密着した看護学の重要性や今後の課題
97	看護学について
98	看護学の概要、研究実践事例
99	日本における看護職の役割拡大を巡る10年
100	学修成果を把握するルーブリック評価の活用
101	デルファイ法による日本版バリューズヒストリーの開発
102	組織のストレスとコンサルテーション -感情労働の視点から-
103	障がい児支援講座
104	対人援助～想う心～ALL FOR YOU で育む笑顔の輪
105	科研費はこうしたら採択される
106	災害時の応急処置
107	認知症サポーター養成講座(2回)
108	介護予防健康教室(3回)
109	楽しく学ぼう高齢者看護 高齢者に優しくなれる疑似体験
110	心の健康について
111	子どものお薬の飲ませ方について
112	看護の「手」(技)と「心」で手浴を体験しよう
113	感染症と健康
114	聴診器で体の状態を確認しよう
115	養護教諭のお仕事 健康観察「子どものいつもと違う」を見つけるために
116	100歳まで歩けるからだづくり
117	女性視点の災害の備え ～東日本大震災の支援活動から～
118	「がん」と言われて困らないために
119	漢方薬をご存じですか？
120	健康情報の探し方・見極め方 ～あふれる情報社会の中から～
121	大切な歯を失わないために ～歯を残すための口腔ケア～
122	『人生会議』って知ってますか？
123	音楽と健康
124	がんとともに生きる
125	禁煙について
126	子どもの人権について
127	知っておこう！訪問看護ができること
128	産後ケア ブラッシュアップ研修

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

C. その他

129	●●区市民大学講座
130	●●市大学プラットフォーム ボランティア養成講座
131	共催事業「かけっこ教室」
132	懐かしい道具を使ったグループ回想法
133	共催事業「性暴力被害防止セミナー」
134	●●市総合事業一般介護予防教室「つばめ教室」
135	認知症サポーター養成講座
136	喀痰吸引等研修
137	メンタルヘルス「こころの健康教室 ～笑いヨガ 笑いところ～」
138	●●市民病院 新人研修
139	●●福祉グループ 新人職員研修
140	こども対象健康教室
141	しごと体験メディカル・キッズ ー看護師さんってどんなお仕事？ー
142	人を助ける仕事がしたい(高校生向け講座)
143	救急医療
144	カンタベリー・クライストチャーチ大学の紹介、学習障害をもつ患者とのシミュレーション学習
145	第1回 香港理工大学・●●大学グローバルヘルス学生セミナー 高齢者と災害医療 クローズドセミナー
146	●●大学50周年記念講演 五木寛之「いまを生きる力」
147	●●カトリック幼稚園学修プログラム講師／●●
148	教員免許状更新講習
149	回転版画による作品制作を楽しもう
150	骨骨(コソコソ)摂ろうカルシウム！美味しく食べて健康寿命を延ばしましょう
151	日本の常識は世界の非常識
152	パン作りを楽しみましょう
153	簡単おいしいワンランク上のお菓子作り
154	災害食の知識「バッククッキング」
155	英語でクッキング♪
156	地域活性化のためのワークショップ入門
157	ベートーヴェン「運命」の分析
158	キッズものづくり教室
159	はじめての『万葉集』
160	Let's Enjoy Speaking English! 他
161	デートDVって何？ ー若者のデートにひそむ「力と支配」
162	赤ちゃん授業
163	やってみよう！心肺蘇生法、笑い！と健康
164	医療におけるアニマルセラピー(セラピードック)の現状、動物型福祉玩具を用いた動物介在療法(アニマルセラピー)
165	学校・病院におけるアニマルセラピー ～人と動物の関係を探る～
166	難病とともに生きる患者会活動
167	「●●大学土曜スクール」〈●●市教育委員会との共同事業 2019.7.6)
168	「高血圧」〈学長講演2019.10.26)はななかふえ主催
169	まちの保健室(看護の日講座)
170	妊婦サロン
171	子そだて支援者のためのだっことおんぶの大勉強会
172	災害時親子を守るために何が出来るかを考える交流会
173	健康医療シンポジウム「超高齢化社会を元気社会に ー 地域に生かすリハビリテーション」一般市民および関連専門職者対象
174	睡眠から健康を考える
175	防災の学び研修「災害時の保健医療福祉」(高校生対象)
176	高校職員対象「アレルギーとエピペン対応」
177	高校生・職員対象「使える保健の知識 ー感染症予防(マスク編)」
178	高校生・職員対象「聴覚障害者の特性と災害時の支援方法、手話を学ぶ」
179	●●子育て支援カフェ あそびのひろば(8月)
180	●●子育て支援カフェ あそびのひろば(2月)
181	●●子育て支援カフェ公開講座「命を育む、食を育む」(大学祭)
182	●●子育て支援カフェ 料理教室
183	看護フェスタ2019by●●大学看護学部
184	いのちの授業 ～感性を磨いていますか？がん患者のケアに必要なもの～
185	チーム医療における専門職の役割と協働の実際
186	楽しく脳トレ
187	運動をして楽しく生活習慣病を防ごう
188	「おなか」の話
189	リラクゼーション
190	低栄養予防の食事
191	「息・声・タイミング」
192	今日から始めるコグニライフ

Q18. 2019年度に看護系の学部・学科、大学院が企画・運営に関係して実施した公開講座の件数とテーマをご記入ください。

C. その他

193	肌年齢を若返らせる方法を伝授します
194	みんなで楽しく歌いましょう
195	知っておくと安心
196	「笑顔」は心とからだのサプリメント
197	第6回 杜の保健室 「確かめてみませんか? -あなたの手洗い・歯磨き大丈夫?-」
198	第7回 杜の保健室 「できていますか? 感染予防 -インフルエンザが流行る前に-
199	のびのびセミナー
200	賢い患者・家族になるために
201	意思決定支援 -ACP:どのように考え、実践に活かすか
202	看護・介護記録について
203	子育てスキルアップ講座、おうちで予防! こどもの感染症対策講座
204	骨粗鬆症と骨折予防
205	看護の魅力
206	ライフスキル、命や性について
207	がんと言われたら -自分らしく”がん”と向き合うために-
208	認知症の理解とケア
209	発達障害への対処について -自閉スペクトラム症の感覚特性を中心に-
210	感染症予防対策
211	小児の救急看護 事故予防と応急処置
212	●●大学付属●●中高等学校体験講座「『食べること』のトリセツ」
213	●●大学付属●●中高等学校体験講座「『がんを生きる』体験を考察する」
214	NHK大学セミナー サリドマイド薬害について
215	生涯現役を目指しませんか ~自分らしく豊かなライフスタイルのために~(講話)
216	看護の現状と未来
217	家族が認知症になったら

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

#### A. 全学主催のFD

1	学生第一の大学 ～●●大学のブランド力～(全学FD・SDワークショップ)(SDと合同開催)
2	高大接続で確かな学力を育てるー探究活動の基礎ー(高大接続教育フォーラム)
3	環境と安全のための講演会(SDと合同開催)
4	ハラスメント防止研修
5	プログレステストとマルチメディアの活用
6	CCSでのパフォーマンス評価
7	会議マネジメント
8	ジグソー学習法入門
9	効果的なグループワークの進め方
10	効果的なeラーニングの活用方法(超入門編)
11	学習評価の基本
12	第32・33回授業デザインワークショップ
13	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ 2回
14	eラーニング活用(入門編)ー学習支援システムMoodleを活用してきめ細やかな学習支援を実現しようー
15	動画教材作成法
16	英語で授業をしたい教員のためのワークショップ
17	留学生とのコミュニケーション
18	ファカルティ・ディベロッパー養成講座 in 東京
19	メンタルヘルス講演会(SDと合同開催)
20	アクティブラーニング研修会ー授業にインプロを取り入れてみようー
21	禁煙について考える
22	ティーチング・ポートフォリオチャート作成ワークショップ
23	入試スキルアップ講座
24	授業デザインの基礎ワークショップ
25	Moodle研修会ー小テスト作成を中心に
26	研究者のための知的財産活用セミナー
27	●●合同FD・SDフォーラムー学生の学修成果の把握とマネジメントー(SDと合同開催)
28	桃太郎フォーラム
29	保健学研究科フォーラム
30	倫理委員会教育訓練会(6回実施)
31	令和元年度チュートリアル・PBLチュートリアルFD
32	医学部研究戦略セミナー(3回実施)
33	学習者評価の考え方, 方法, 合否判定についてのFD講演会
34	留学事業報告会(2回実施)
35	CBT作問に関するワークショップ型FD
36	CBT実施状況(医師国家試験との関連)およびCBT問題作成についての全体説明
37	研究倫理研修会
38	医農連携セミナー
39	授業公開「生殖系ユニット」、「腎泌尿器ユニット」、「早期体験学習(チュートリアル発表会)」、「皮膚感覚系ユニット」、「形態・生理学B」、「早期体験学習(多職種連携)PBLチュートリアル」
40	情報セキュリティセミナー
41	研究倫理研修会
42	令和元年度若手教員FD研修会
43	令和元年度FD・SD合同フォーラム
44	令和元年度学生・教職員ワークショップ
45	令和元年度研究倫理ワークショップ
46	2019年度全学FD研修会ー新任教員を中心としてー
47	英語による授業担当者のためのFD研修会
48	2019年度授業設計ワークショップ
49	FD報告書成果発表会
50	著作権に関するセミナー
51	教育実践報告会
52	討論会「●●大学・●●大学・●●大学とともに英語教育を考える」
53	学修成果の可視化のための評価指標の開発と実践(●●大学の質保証への取り組み)
54	「大学院学生のキャリア支援の経験と課題」
55	『活きた』授業を考えるーBYODの実践報告
56	●●大学70周年記念セミナーー「●●大学誕生秘話-初代学長●●の足跡-」
57	第9回教養講演会「詩の朗読会“Who will rise with me and fight?”」
58	●●大学70周年記念セミナーー「●●大学誕生秘話-初代学長●●足跡-アンコール」
59	教養ワークショップ「パーカッションによるコミュニケーション・ワークショップ」
60	医学部保健学科の教育における合理的配慮を考える
61	2040年に向けた●●大学のグランドデザイン

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

#### A. 全学主催のFD

62	授業改善のためのアンケート実施・分析・公表等
63	意見箱における授業等改善活動
64	新任・転任教員等教育研修会
65	全学統一テーマ「学修成果の把握・可視化」に基づく改善活動(各部局でのFD講演会開催等)
66	「英語で効果的に教える方法」教室英語、学生間の英語能力差への対応、さまざまなクラスサイズの対応、学生の理解度を評価する方法
67	授業改善(ベストティーチャー賞・学長賞受賞者による公開模擬授業)
68	高大接続改革(大学入試制度改革)
69	カリキュラム検討に関する合同会議:カリキュラム改定における本学の課題・意見交換
70	大学授業入門
71	学生の学びを支援する授業準備ワークショップ
72	リフレクション面談と学生対応に関するFD
73	シラバスブラッシュアップワークショップ
74	能動的学修支援者必須!グループワークのためのファシリテーション入門
75	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン -考え方と進め方-
76	はじめてみよう!アクティブ・ラーニング
77	グループワークの技法
78	全学新任教職員研修
79	PC必携化について
80	BEEFの授業への活用について
81	アクティブラーニングについて
82	新任教員に対するFD研修会
83	少人数能動学習ワークショップ
84	平成30年度ベストティーチャー賞受賞教員による公開授業
85	第1回研究倫理教育研修会「オープンアクセス時代の論文投稿とハゲタカジャーナル」
86	「●●大学の将来を考えるワークショップ ～●●大の20年度の発展のために～」
87	令和元年度看護学実習運営協議会講演「平成30年度卒業生の教育成果の概要」
88	「アドバイザー制度に関するFD研修」
89	第2回研究倫理教育研修会・第1回広報研修「知らないと危ない?著作権の落とし穴」
90	教職員生涯学習講演会「小児科と地域医療」
91	「第15回●●大学医師臨床研修指導医講習会」
92	里親学生支援事業FD・SD研修会「本学の情報セキュリティへの取組み -個人情報漏洩のリスクを考える-」
93	「高大接続と大学入試改革」 他4件
94	新任教員研修
95	授業デザインワークショップ
96	教養育成科目「スタートアップセミナー」公開発表会
97	優良教育実践表彰公開審査会
98	Moodle研修会(松江キャンパス)
99	第1回ランチョンセミナー「ギャップタームと学びのデザイン」
100	全国コーディネーターサミット ～地域教育を共に学び・共に創る～
101	全国地域教育シンポジウム ～教育魅力化を核とした地方創生～
102	アクティブ・ラーニング
103	シラバスの書き方
104	●●大学における教育の質保証システム
105	2040年に向けた高等教育改革
106	メディア授業の導入と支援体制
107	全学TA研修会
108	LGBT等の学生サポートに関する日米対話 ～学生の安全な居場所とは～
109	留学先としての日本の大学、その魅力をどう高めるか?
110	学生支援FD ～自殺防止のための連携・対応について～
111	●●氏による特別講演「プレゼンテーション Zen」
112	学生生活関係教職員研修会
113	英語で効果的に授業を行うために
114	ダイバーシティとSOGI/LGBT+
115	次の一歩は何か? ～若手研究者・技術者がイノベーションを創出する未来に向けてダイバーシティ推進と男女共同参画はどうあるべきか?
116	情報セキュリティセミナー
117	害のある学生に役立つ支援技術の体験型ワークショップ ～身体障害から発達・精神障害、障害のない人を含む全ての学生のエンパワメントへ～
118	フレッシュマン・セミナー担当教員等のためのFD
119	2019年度 ●●大学 全学教職員研修(全学FD・SD)プログラム 「これからの医学・医療」:医学・歯学分野の発展に向けた人工知能技術の導入

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

#### A. 全学主催のFD

120	新任教員研修(4.13)
121	第5回教育調査研究会(7.1)
122	第13回「基礎ゼミ」「展開ゼミ」FDワークショップ(11.6)
123	SDPシリーズ 第1回(2019年度) 私立大学の教育改革を支える「中堅リーダー」の育成と活用 ―グッドプラクティスから考える(7.6)
124	大学の授業を設計する:授業デザインとシラバス作成(8.27)
125	エンrollment・マネジメントをどのように捉え、どのように進めるか(大学教職員FD/SD)
126	コーチング技能を活用した学生指導(大学教職員FD/SD)(11.21)
127	グローバル人材育成を考える ―大学教職員に求められる意識と行動―(大学教職員FD/SD)(11.28)
128	日本の高等教育政策(大学教員、教員を目指す学生FD)(12.6)
129	SDPシリーズ 第2回(2019) 多様な学生の理解と支援:留学生とLGBT学生に注目して(大学教職員FD/SD)(12.12)
130	J-CLIL ●●Symposium Exploring the Potential of CLIL within the Japanese Context (大学教職員FD/SD)(2020.1.25) その他 動画配信FD 多数
131	全学FD推進プログラム「授業設計ワークショップ」
132	授業参観・授業研究会(第1回～第5回)
133	大学教育カンファレンス in ●●
134	SI道場授業担当者FD
135	すぐ使える90分セミナー 9回 テーマ:「授業評価」「学習評価」「シラバス作成」「入試改革」「教学IR」「アイスブレイク」「学生支援」「ICT活用」「教育研究」「授業設計」
136	全学FD研修会 新任教員FD研修会
137	全学FD研修会 ●●大学中堅教員FD研修会「学生参加型・対話型教育について」「クリッカーを用いた学生参加型授業の事例と実践」
138	全学FD講演会 ダイバーシティセミナー「LGBTQの学生への 支援と対応について」
139	全学FD講演会 「●●大学のデータサイエンス教育:共通教育への導入と専門教育への展開」
140	学部を越えた連携教育の発展・拡大に向けて
141	発達障害学生に対する安定的な就労を支える連携の在り方 ～大学と地域就労支援機関との連携について～
142	発達症を知る ―「困難さ」を理解し「強み」を活かす授業構築
143	LGBTフォーラム ―ありのままの自分で生きられる社会をつくるために―
144	若者にコミュニケーション能力がない とは本当か
145	シラバスの作成及びカリキュラムチェックの実施について
146	「令和元年度 個人情報保護に関する研修会」
147	「令和元年度 ●●大学ハラスメント防止研修会」
148	全学FD 「授業デザイン研修会」
149	全学FD 「アクティブラーニングを促す授業方法研修会ーICTを用いた教育の高度化ー」
150	全学FD 「アクティブラーニングを促す授業方法研修会 ーPBLファシリテーター・評価者養成ワークショップー」
151	全学FD 「英語による授業の方法:授業参観」
152	全学FD 「英語による授業の方法-授業実践事例から学ぶ-」
153	全学FD 「英語による授業の方法」「学生の学びを測る:アセスメント方法の傾向と課題を知り、選択する」
154	全学FD 「英語による授業の方法 -Engaging students in learning in English-medium classes-」
155	全学FD 「TAと協働する授業の設計・運営方法」
156	全学FD 「大学教員基礎(教育)」
157	第38回●●大学教育ワークショップ
158	ELMS講習会【入門編】
159	講演会「アクティブラーニング授業の実践と普及に向けた諸課題」
160	国際共同教育プログラム学内説明会
161	講演会「学習評価の基本」
162	講演会「現代の学生理解 ～学生相談室から見る学生の悩みと成長～」
163	研究者のためのプレゼンテーション研修【入門編】
164	ルーブリック評価作成ワークショップ【入門編】
165	ハラスメント防止研修会
166	研修会「学生対応の基本 ～日常的な学生支援の視点から～」
167	事務職員のためのプレゼンテーション研修【入門編】
168	Walk with Your Students: Navigating Learning Diverse Classrooms
169	英語で授業する
170	今 大学に求められるICT教育とは
171	障害学生支援における合理的配慮のポイント
172	クラウド利用の心得
173	2019年度臨床診断学実習に伴う指導標準化講習会
174	2019年度●●大学医学部FD研修会 医師国家試験対策セミナー
175	2019年度Post-CC OSCE評価者技能標準化講習会
176	2019年度●●大学医学部FD研修会 「日本とタイの医療現場における英語使用」

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

#### A. 全学主催のFD

177	2019年度●●大学医学部FD研修会「Eポートフォリオ:時は来たり」
178	2019年度共用試験OSCEに伴う学内評価者講習会
179	2019年度●●大学医学部FD研修会「医学教育におけるプロフェッショナリズムーあなたならどうしますか？」
180	2019年度●●大学医学部FD研修会「医学・看護学教育におけるインストラクショナルデザインを活用した授業改善」
181	2019年度●●大学医学部FD研修会「CBT問題作成説明会」
182	研究者の立場から研究不正を考える
183	学生の自殺予防の現状と課題
184	大学生の自殺予防:深刻な悩みを抱える学生への具体的対応
185	相互研鑽による大学教育の飛躍をめざして
186	学修ポートフォリオ～教学IRについて
187	学生の主体的な学びを引き出す授業デザイン～シラバス点検から始めてみよう
188	「Teamsによる授業実施例、Zoomとの比較」
189	新型コロナウイルス下での実験・実習・実技・演習科目の現状と課題
190	オンライン授業の現状と課題
191	授業目的公衆送信補償金制度 説明会
192	新型コロナウイルスで変化する学生の状況
193	Zoomによるオンライン授業の実践
194	第4回アドミッションFDセミナー データに見る本学への志願実態～より効果的な入試広報に向けて
195	アドミッションFDセミナー～面接試験でこの質問、あり?なし?～
196	令和元年度FD・SD検収「大学の成り立ちを考える」
197	「シラバス作成の基本」
198	「シラバス作成の基本」アクティブラーニングの基本」
199	第2回アドミッションFDセミナー「個別面接試験の事例紹介と実践およびグループワークを用いた評価方法」
200	グローバル教育支援機構FD:アクティブラーニングの推進・学習成果のひょうかについて等
201	教育の質を保証し、さらに向上させるための組織的取り組み
202	修学支援に向けて
203	本学教員評価について～新旧評価表の違い、留意事項等～
204	2019年度PROGテストの全体傾向報告～PROGの概要説明と●●大学の学生の特徴・分析～
205	学長と大学院生の懇談会
206	学長と学生の懇談会
207	第32回全学SD・FD研修会
208	第42回●●ミーティング
209	第43回●●ミーティング
210	第44回●●ミーティング
211	学習成果とその可視化(SDと合同開催)
212	教学マネジメントにおけるIRの可能性～試行的教学IR中間報告から～(SDと合同開催)
213	外部資金獲得研修会「科研費獲得のための研修会」
214	SPOD講師派遣事業「発達障害のある学生に配慮した授業づくり」
215	新任教員FD研修「授業を育てる」「データから見る●●大生の特徴」「授業におけるICTの活用について」
216	発達障がいを抱える学生をどう理解し、どう支援するのか
217	ICTを活用した能動的学習について
218	ルーブリック評価入門
219	アクティブ・ラーニング手法を考える:授業デザインとの関係から
220	教育評価について
221	アクティブラーニング
222	科研費:申請なくして採択なし。採択される秘伝とは。
223	オーストラリア・ニューカッスル大学との共同研究に係る報告会
224	質的研究について
225	アセスメントポリシーに基づく大学教育の質的転換
226	初年次教育、授業評価、学生調査結果の振り返り～教育課程の再構築に向けて～
227	進む高大接続改革:大学教育をどう変えるか
228	授業改善を考える意見交換会・教養セミナーについての勉強会
229	FD活動促進事業報告会(R1.06.25)
230	第1回 全学FD研修会 前期授業ピアレビュー(R1.07.01～07.12)
231	第2回 全学FD研修会 大学教育における人材育成に期待すること(R1.08.02)
232	●●大学教育改革フォーラム 大学教育の持続的な質向上とアクティブ・ラーニング ～●●大学AP事業の成果検証と教育改革の可能性～(R1.12.26)
233	第3回 全学FD研修会 学部等再編後の対応について(R2.02.12)
234	ファシリテーションが拓く新たな大学教育～対話と学びあいの空間づくり～
235	本学におけるIPE(専門職連携教育)/IPW(専門職連携実践)の取り組み
236	Society 5.0社会と教育改革
237	大学にとっての破壊的イノベーションとは何か

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

#### A. 全学主催のFD

238	Universal design for learning(UDL):学びのユニバーサルデザイン
239	2040年に向けた高等教育のグランドデザインについて
240	社会貢献に資する研究活動のあり方について
241	2019年度●●大学研究交流会
242	情報セキュリティ対策について
243	現代の学生理解
244	“倫理的”に研究を遂行するとは ～具体的な研究例から考えてみよう～
245	粗悪学術誌 ハゲタカジャーナルについて
246	Microsoft Office365 Teams研修会
247	学修成果の把握と評価、そして可視化に向けて ～学生が成長を実感できる評価方法、可視化のあり方とは～
248	教育研究力の向上に資する国立大学法人改革に学ぶ市立大学の進むべき方向性
249	学生相談・学生支援の現状と課題について
250	教育改革フォーラム:新語学カリキュラムの成果・課題
251	教育改革フォーラム:●●大生が修得すべき能力・資質とカリキュラム
252	第1回新任教員研修会
253	基礎・臨床統合型カリキュラムについて
254	教育における著作権について
255	第2回新任教員研修会
256	●●大学地域基盤型医療教育カリキュラムの現状と展望
257	●●県の男女共同参画 ～データから見えてきたもの～
258	医師国家試験出題基準に対応した試験問題の作り方について
259	情報セキュリティー研修
260	個人情報保護研修
261	授業評価
262	授業公開
263	FD研修
264	eラーニング講習会
265	大学生基礎力調査結果報告会
266	第1回大学改革セミナー
267	情報処理センター講習会
268	学生相談室主催学内研修会
269	第2回大学改革セミナー
270	令和元年度●●大学ハラスメント防止研修
271	令和元年度意識改革研修
272	令和元年度全員参加型FD講習会 男女共同参画講演会
273	現代の学生の傾向と対応について ー学生相談から考えるー
274	●●大学障害を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領に関する説明
275	大学におけるハラスメントリスクとその防止策・対応について
276	ブロックで描く保健医療大学の未来
277	公立大学の課題と将来構想
278	研究倫理
279	LGBT研修会
280	全学FD/SD(公立大学の課題と将来構想、認証評価・内部質保証、教育改革戦略、コンプライアンス等)
281	選択型FD/SD 科研費について
282	選択型FD/SD 本学の障害学生支援について
283	選択型FD/SD 3年生のPROG結果報告会
284	選択型FD/SD COC+事業にかかるFD・SD研修会
285	新任教職員研修会
286	大学院教育の改革方向と将来展望
287	科研費獲得と研究倫理に関する研修会
288	環境問題「地域環境保全とSDGs ～岐路にある人類と地球～」
289	カナダに学ぶ持続可能な社会・経済・東京都市圏とシドニー都市圏の都市空間構造の比較
290	モラルハラスメントについて
291	事例で学ぶ情報セキュリティ
292	教養ゼミのこれからについて
293	自己点検評価について
294	新任教員説明会 事務手続き、研究倫理審査についてなど
295	入試改革の動向と本学の取り組み
296	カリキュラムプランニング勉強会 第1回
297	科研費獲得のためのFD研修会(第1回イブニングセミナー) 第1部「公大協 科研費セミナーについて」 第2部「科研費申請書作成のコツ ～計画調査審査員の視点から～」
298	カリキュラムプランニング勉強会 第2回

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

#### A. 全学主催のFD

299	カリキュラムプランニング勉強会 第3回
300	カリキュラムプランニング勉強会 第4回
301	カリキュラムプランニング勉強会 第5回
302	ソーシャルキャピタル涵養による「健康なまちづくり」ー地域介入／CBPR研究「●●●●PJ」の到達点ー (第2回イブニングセミナー)
303	宇宙環境の人への影響と宇宙食 ー宇宙医学・栄養学ー (第3回イブニングセミナー)
304	授業改善をしてみよう
305	●●大学情報セキュリティポリシー、ICTの活用について
306	科研費の採択なくして大学運営なしの時代を迎えて
307	事例に学ぶ障がい学生支援 ～発達障がい学生支援を中心に～(全学SD共催)
308	アカデミックアドバイザーとして指導教員のあり方 ～学生との接し方と課題～
309	入学前教育の実践とその課題について
310	アメリカの大学における学者・研究者のあり方
311	学生の理解度を深める授業方法について
312	科学研究費助成事業「研究計画調書」の作成に当たって
313	学生の実践力アップを目指す3つの教育戦略
314	普通救命講習 I (SDと合同開催)
315	教育にいかせ研究
316	県内定着率と大学院進学率の一体向上および講義科目の学習意欲向上を目指した「授業での県内企業研究紹介」
317	1年教養ゼミで学生の主体性を引き出す 企業人と創るキャリア教育プログラム
318	学生のメンタルヘルスについて
319	●●大学における教学マネジメントと学習成果の可視化
320	コンプライアンス教育研修会
321	研究倫理に関する研修会
322	外部資金獲得のための研究に役立つ内容
323	データサイエンスに関するFD研修会
324	科目レベルの学習成果の可視化
325	ラーニングコモンズ、ICTの教育的活用
326	合同SD・FD研修会令和の時代を建学の精神に立ち返り考える」～発達障害のある学生の実態と支援のありよう～
327	学生と教員がともに学び、成長する場としての授業を考える 全1回
328	教職実践をつくる、評価指標生成の意義について 学外臨地実習に備えるためのルーブリック評価とOSCEの活用例 全1回
329	大学の取り組み・不正防止計画に関すること 全1回
330	利益相反に関すること 全1回
331	安全保障輸出管理に関すること 全1回
332	科研費獲得に関する研修会 全5回
333	研究者等の倫理的配慮に関する研修会 全3回
334	授業研究カンファレンス 全3回
335	FD授業公開
336	●●大学高等教育開発センターFD/SDシンポジウム
337	大学の情報セキュリティ ～サイバー攻撃の脅威はどこまで大学に迫っているのか～
338	2019年度新任教員研修及び6年目教員研修
339	高等学校教育の現状と大学教育に期待すること
340	キャンパスハラスメントの防止について ー学生指導のピットホールー
341	「授業設計ワークショップから100分授業の設計と仕方～」
342	医療従事者に求められるLGBTに関する基礎知識
343	●●大の現状と将来～教育改革を中心に～
344	新しい時代の大学教育を目指して
345	「キャンパスにおける多様性への配慮 ～異文化コミュニケーションの観点から考える
346	統計ソフトとその仲間たち
347	相互授業参観
348	授業評価アンケート
349	ピアレビュー
350	アクティブラーニング
351	ビデオ教材作成
352	学生参画型FD活動
353	活動成果のまとめ
354	今後の医学教育(医療関連職種教育)の流れ
355	医学教育の基本(カリキュラムプランニングの基礎)
356	「カリキュラムの理解と授業科目の企画・運営・評価」
357	研究の品質向上を目指した未来研究支援センターの取り組み
358	科研費申請書に関する書き方セミナー(基盤研究編)

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

#### A. 全学主催のFD

359	科研費申請書に関する書き方セミナー(挑戦的研究編)
360	臨床研究法
361	臨床研究者教育システムCREDITの紹介
362	知的保護の必要性
363	利益相反自己申告書の提出に関する留意点
364	倫理委員会への定期・終了報告の提出について
365	技術コンサルティング、共同研究・受託研究における知的財産の取り扱い・注意点
366	本学におけるグローバル教育を考える ～海外保健福祉事情/海外医療体験をとおして～
367	学生が選ぶグッドティーチング賞受賞者報告会
368	本学におけるグローバル教育を考える ～海外保健福祉事情/海外医療体験をとおして～
369	授業デザインの検討 ―授業改善および授業料の向上を目的として―
370	第24回医療人教育者のためのワークショップ
371	第25回医療人教育者のためのワークショップ
372	トラブル事例から学ぶ産学連携
373	研究開発型スタートアップのすすめ ～儲かる!?儲からない!?トレンドと課題～
374	選択されるための科研費申請書の書き方
375	人を対象とする医学系研究に関する倫理指針について -重要事項の確認-
376	医学研究に関するコンプライアンス
377	医学研究に関する倫理
378	e-ラーニングを使って教育の効率を図りませんか?「e-ラーニング活用・支援説明会」
379	大学生のメンタルヘルスを考える -キャンパスライフの健康支援 センターの取組-
380	ハゲタカジャーナルに投稿しないために
381	研究者による英語発表の秘訣
382	公衆衛生系専門職大学院の教育の実際と課題
383	学内研究会
384	人権啓発
385	シラバス作成
386	初年次のコミュニケーション入門
387	初年次のチーム医療入門
388	初年次の地域医療実習
389	医療コミュニケーション
390	学部連携地域医療実習
391	試験問題作成システムを活用した進級試験、卒業試験のあり方の検討
392	学びの可視化を目指して①卒業時の質保証
393	学びの可視化を目指して②各学科報告
394	学びの可視化を目指して③各学科報告
395	WebClassの主な機能と特徴について
396	発達障害を持つ学生の支援
397	学士力を身に付けさせる授業の考え方とeポートフォリオの利活用方法
398	権限役割によらない全員発揮のリーダーシップとは
399	地域社会へ貢献している本学の取組事例紹介
400	科研費獲得に向けて
401	アセスメントポリシーに基づく大学教育の質的転換 -高大接続と社会接続の観点から-
402	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の情報と予防法について -大学人として知っておきたい感染症の知識-
403	看護学科のコミュニケーション系の授業照会
404	FDスモールグループワークショップの報告
405	シラバスの作成方法について
406	新任教員説明会(SDと合同開催)
407	専任教員説明会(SDと合同開催)
408	前期公開研究授業合評会
409	後期公開研究授業合評会
410	第1回 FD/SD研修会(AI人材育成とデータサイエンス教育 -私情協 教育イノベーション大会を中心として-)
411	第2回 FD/SD研修会(ディプロマサプリメントとはなにか)
412	UNIVERSAL PASSPORT説明会
413	実効性のあるアセスメント・ポリシーの策定方法について
414	教育の質を担保するためのポリシー策定からアセスメントまで ～授業設計からアセスメントへのつながり～
415	学修成果への挑戦 ～●●大学の事例を踏まえ～
416	メンタル面での合理的配慮の前段階でのかわりや支援について
417	●●大学を語る会(※SDと合同開催)
418	科学研究費助成事業の概要と獲得方法に関する講演会
419	研究倫理に関する研究会
420	動物実験講習会

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

#### A. 全学主催のFD

421	●●大学グランドデザイン2025ー●● University Grand Design 2025ー達成に向けて
422	新任教員等研修(見学の精神、教育理念、成績評価、シラバス作成方法、等)
423	高校情報科との連携/デジタル社会に求められる人材
424	模擬授業アクティブラーニングを含む
425	教育におけるICT活用推進
426	「STEPS」を意識した国際交流
427	授業力向上に寄与する講義アイデア
428	全国トップクラスの就職実績を維持するための取り組み
429	研究デザインの構築方法
430	スローラーナーに寄り添う学生支援FD
431	FDポートフォリオを活用した教員評価
432	学修成果の可視化
433	学修成果可視化への取り組みについて(2019年3月26日(火)研修会報告)
434	IRの分析結果からみえる本学学生の特徴(兼SD)
435	ハラスメント防止研修(兼SD)
436	人権倫理相談員研修(兼SD)
437	実習指導スキルアップ研修「看護倫理と実習指導」
438	採択される助成金申請書の書き方
439	高度実践能力向上を目指す指導の改善に向けてPart2
440	シラバスの書き方
441	大学生の発達障害とその対応
442	実習における教授活動に係るワークショップ(前期)
443	新任教員の教育・研究活動発表会
444	クレーム対応のための研修
445	実習における教授活動に係るワークショップ(後期)
446	オンライン教材についての研修
447	新任教職員研修
448	授業公開(2期間)
449	授業アンケート(2期間)の実施
450	FD・SD研修会の開催(計2回)
451	教職員カフェ(計4回)
452	FD通信の発刊(計2回)
453	「アクティブラーニング」は、考える力や自ら学ぶ力をいかにして育てるか
454	●●喫緊の課題
455	「大学授業における著作権の考え方とICT活用について」 (1回)
456	私の授業を紹介します! ~授業公開活動を通じて~ (2回)
457	相互理解を深めるコミュニケーション「積極的傾聴法」 (1回)
458	ルーブリック活用研修会 (1回)
459	「Population Health Managementに基づいた医療保健提供体制の構築に向けて」 (1回)
460	2019年度 第1回 医学部FD講演会 「臨床講義のつくり方」
461	2019年度 第1回 医療科学部保健衛生学部合同FD研修会 「アセスメント・ポリシーを踏まえた成績評価について」
462	2019年度 大学院保健学研究科FD研修会 「THEランキングから見た、本学の研究力・教育力の評価」
463	医療科学部・保健衛生学部FD研修会 「やる気」を高める -学生のモチベーション・教員のモチベーション-
464	医学部FD講演会 卒業試験問題作成にあたって 丁寧な解説をー
465	第4回 医学情報教育講演会 「1時間でわかる著作権法 ~大学教育で注意したい10のポイント~」
466	採択される科研費のノウハウ
467	文献収集から論文作成までのプロセスを効率化! ●●Search+RefWorks講習会
468	各学科の授業改善に向けたGood Practiceの共有 ~学修者本位の教育への転換に向けて~
469	トランジションに向けた学生の学びと成長 ー社会で活躍するためにー
470	「各学科における100分授業の対応 事例の報告」
471	「アクティブラーニングの実践事例」について
472	「発達障がい圏および低学力者に対する教育的配慮」について
473	コンプライアンス教育・研究倫理教育
474	コンプライアンスをめぐる本学の状況
475	研究成果報告会
476	学習者の多様性とこれからの大学 ー障がい学生の支援と今後の大学の在り方
477	本学の障がい学生の受け入れ推移・本学の組織体制の概要
478	●●キャンパスでの現状と学修に向けた相談の実際
479	●●キャンパスの学生支援の実際
480	多様性と大学における学修の支援に向けて
481	●●市における安心の地域医療 10年の歴史
482	看護基礎教育のカリキュラムについて

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

#### A. 全学主催のFD

483	新任教員FD
484	著作権セミナー
485	成績評価に関するFD
486	全学FD・SDワークショップ
487	効果的なアクティブラーニングとその評価
488	保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に向けた検討
489	学生参加型FD
490	大学院:公正な研究活動について事例から学ぶ
491	ハラスメント全般防止対策
492	「授業評価アンケート分析結果の概要 ～学生の評価が高く、学習行動を促進しているのはどのような授業か～」
493	「アセスメントポリシーの精緻化及び学修成果の可視化」の取組に関する報告
494	「アクティブ・ラーニングを取り入れた授業の工夫・改善ワークショップ」(2回開催)
495	ストップ・キャンパス・ハラスメント! ～誰でも加害者、被害者に～
496	アクティブラーニング実地見学会 福祉学科「ボランティア活動論」
497	FD講習会「実用統計講座」Ⅰ
498	FD講習会「実用統計講座」Ⅱ
499	科学研究費申請書作成のコツ
500	シラバス改善について
501	授業改善について
502	新任教育職員研修会「●●大学に関する理解を深める」
503	●●大生の特徴を探る ～在学生調査から見える学生の実像～
504	授業アンケート●●をどう読むか
505	進行する「大学改革」 一何がどのように進んでいるのか一
506	アクティブ・ラーニング型授業の実践事例-コミュニケーション中国語ⅠB-
507	大規模授業の運営に使えるノウハウを考える
508	教育改善活動フォーラム「カリキュラムのスリム化の意義と課題」
509	学生の理解度を増す授業方法とは?
510	更生保護の立場からの学生指導
511	eポートフォリオの導入とその実践
512	シラバス作成に関する研修会
513	授業評価アンケートを授業改善につなげる
514	高等教育における教育評価のあり方 パフォーマンス課題作成ワークショップ
515	アクティブラーニング実践(だれでもできる!グループワークのためのファシリテーション)
516	大人数講義法の基本
517	学習支援システムGoogle classroomを利用した授業体験
518	『分かった』を引き出すアクティブラーニング
519	本学のアセスメントポリシーのためのFD
520	学術・研究倫理について
521	「学生による授業評価アンケート」へのレスポンス ーどの様に読み、どの様に活かすかー
522	「データサイエンス関連教育」についての討議会
523	新任教職員FD「建学の精神」「学生のとのよりよいコミュニケーションの取り方」
524	教職員修養会「キリスト教と教育」
525	全学FD「教育をふり返って思いを共有する『ティーチング・ポートフォリオ』を学ぼう」
526	教育現場における著作物の利用
527	学生評価について
528	本学におけるグローバル教育を考える ～海外保健福祉事情・海外医療体験を通して～
529	各キャンパスFD活動報告/学生が選ぶグッドティーチング賞受賞者報告会
530	English&Life ～英語と共に生きて～
531	教育方法の改善に用いられる手法について、学修行動及びキャンパスライフ調査結果 他
532	SNS等の活用に関する方針について 他
533	社会・人文科学系における地財、事業化リスクマネジメントについて
534	●●中期計画等の計画について 他
535	ティーチングポートフォリオ、シラバス作成要領 他
536	2019年度大学コンソーシアム実施状況、問題点、検討事項 他
537	教職協働による修学、免許・資格取得支援方策等についての説明会及び授業公開フォーラム
538	ICTに関する研修会
539	大学評価受審FD・SD研修会
540	【教学マネジメントの確立】学修成果の可視化、そのための学内の方針 アセスメント・ポリシー
541	【教学マネジメント】シラバスの作成方法「シラバスの書き方 良くするための・・・」
542	【教学マネジメントの確立】ティーチング・ポートフォリオへの取り組み「ティーチング・ポートフォリオ導入の必要性」
543	科研費採択される10条件
544	アセスメントポリシーと授業の到達目標の設定

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

#### A. 全学主催のFD

545	保健医療福祉系学生のキャリアアップを支援するIPE(多職種連携教育)ならびに教育の国際化について
546	FDにおける長期目標の役割について
547	授業におけるタブレット端末活用法について
548	学修ポートフォリオ活用による社会人基礎力の育成について
549	本学の教育について
550	●●大学を語る会
551	ミッションを実現する本学教員の教授姿勢
552	本学における教学マネジメントと評価指標の設定
553	看護とスポーツ ～いのちと健康を守るために～
554	顧みられない熱帯病と戦う ―日本生まれの国際NGOの活動―
555	パーキンソン病をいきいき生きる
556	喜楽力 楽しいだけで世界―
557	『マタハラ』ってなに? ―そろそろやめませんか…?こんなこと…。―
558	ノルディックウォーキング教室
559	学生を惹きつける授業とは?
560	ICT活用研修会 ～本学におけるICTを活用した授業紹介～
561	FD 2019年度 国際シンポジウム: アジアにおける医学教育と研究の展開
562	第8回 FD&SD 「教育 研究集会」
563	第7回 講演会 多職種連携教育とシミュレーション教育法: 医学教育におけるアクティブラーニングと多職種連携
564	第1回医薬看融合教育研究会
565	臨時FD 「研究活動に対する本学の取組姿勢」 ～研究活動に対する本学の取組姿勢～
566	第9回 FD&SD 「教育 研究集会」
567	第8回 講演会 多職種連携教育とシミュレーション教育法: 医学教育の課題と展望
568	第2回医薬看融合教育研究会: 医学教育の最近の話題と課題を考える ～臨床現場における医薬看合同カンファランスの在り方～
569	授業実践報告会(通年)
570	教員相互の授業参観(前期・後期)
571	授業アンケート(前期・後期)
572	●●コミュニケーションカード(通年)
573	保護者対象授業公開(11月)
574	学修成果の可視化とは? ～全学的に学生の成長や学習成果を測定することの必要性和意義について～
575	入学前準備教育の結果から読み取れる●●大学生の学力の傾向
576	学力的弱さを持つ学生の学力向上に関する学習塾の戦略
577	教職員研究発表・交流会「研究の種を探そう」
578	これからの社会で求められる力 -AI(人工知能)・ロボットは 人間の仕事を奪うのか? -
579	●●メソッド(●●独自の効果的な教育指導方法)の開発
580	対応が難しい学生の理解と心理的支援
581	秋学期EMI-SHARE
582	日本語中級学習者の学びと教師の役割
583	Learning Spaces around the world: global trends, perspectives and challenges
584	私大文系学部で国際貿易論を教えるということ
585	地球環境学研究科FDミーティング
586	Task-based Approach to Content Teaching: The Case of Intercultural Pragmatics
587	Why and how to use turnitin® for university courses
588	(EMI-Share)CLIL/EMI が中等教育の外国語教育と大学の外国語教育をつなぐ
589	“Leadership in Ignatian way of proceeding”について
590	<導入編>EMI ～英語による授業の実施～
591	Lunchtime Gatherings : Issues in our Classes
592	<導入編>EMI ～英語による授業の実施～
593	現象学的に人間を理解する(SDと合同開催)
594	大学と電子書籍サービス
595	シラバス記載内容の見直しについて(役職者のみ)
596	シラバスとその記載方法
597	Zoom操作説明会
598	「2019年度前期公開授業・授業アンケート実施結果と活用について」
599	「令和元年度 研究コンプライアンス研修会」 第1部「研究費の不正について」 第2部「研究費などの通報について」
600	「セクシャルハラスメント等のハラスメント対応について」
601	教職実践演習(養護)
602	研究倫理:科研費関係
603	事例に基づくハラスメント研修(ワークを含む。)学生に対するコンプライアンスの推進について
604	「地域共育による人と学びの再生産 ―●●大学における実践から―」

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

#### A. 全学主催のFD

605	大学ガバナンス
606	コンプライアンスの意識向上:コンプライアンス ガイドを使った研修
607	FD研修会(全3回)
608	障害者差別解消法施行後の大学教育に求められること
609	要支援学生の支援ニーズの把握及び対応について
610	発達障害のある学生の臨床医学からの支援について
611	教育効果を生み出す一貫性構築のためのカリキュラムポリシーとカリキュラムデザインからのルーブリック等による教育評価について
612	FDワークショップ「大学教員として身につけたい能力について考える」
613	今、学生に対して取り組めることはありますか？
614	学生が主体的に学ぶ授業をどうデザインし、評価するか
615	シラバス作成における留意点について
616	教育力向上を目指すティーチングポートフォリオ
617	共に学ぶ学校教育
618	私の授業デザイン
619	「重層構造の組織的な教育の仕組み」の具現化に向けて(教員の「発問力」に焦点をあてる、SDと合同開催)
620	「重層構造の組織的な教育の仕組み」の具現化に向けて(質問会議の活用による授業の質の向上に関する可能性を探る、SDと合同開催)
621	「重層構造の組織的な教育の仕組み」の具現化に向けて(リーダーシップ教育や経験学習を意図する課題解決型ゼミへの転換に向けた取組と次年度以降の教育改革の方向性、SDと合同開催)
622	2019年度教育実践力向上セミナー
623	●●FDフォーラム
624	公開授業
625	授業改善アンケート
626	教育・研究指導改善アンケート
627	(FDSDとして実施)ルーブリックについて
628	「経験学習で成長を促す教育ー学生の特徴を捉え、効果的な教育手法を探る経験から人を育てる」
629	「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」の解説
630	「専門分野別評価について」
631	「学ぶ意欲を引き出すには、何が必要か？」
632	「発達障がい疑われる学生への対応についてー本学の相談事例を中心にー」
633	FD入門
634	LTD話し合い学習法の基礎と活用
635	特色ある授業実践から学ぶ 1
636	特色ある授業実践から学ぶ 2
637	EdTechが変える大学教育
638	大学から社会へのトランジション ～データに基づく教育改善:初年次教育を動かす～
639	読解力向上につなげる教職学協働の取組み
640	心をつかむプレゼンテーションの技法
641	インストラクショナル・デザイン
642	新任教員説明会(SDと合同開催)
643	専任教員説明会(SDと合同開催)
644	前期公開研究授業合評会
645	後期公開研究授業合評会
646	第1回 FD/SD研修会(AI人材育成とデータサイエンス教育ー私情協 教育イノベーション大会を中心としてー)
647	第2回 FD/SD研修会(ディプロマサブリエメントとはなにか)
648	UNIVERSAL PASSPORT説明会
649	誰にでも起こり得る個人情報漏洩の的確な予防と対策
650	教育の質ー保障ー学習成果の可視化
651	知っておきたい規程について(出張、兼職、裁量労働 他)
652	学習成果の可視化ー他大学の事例
653	面接官の心得(聞いてはいけない質問とは 他)
654	本学の学習成果のアセスメントについて
655	新年度の時間割・シラバス・非常勤講師等について
656	大学全体のアセスメントポリシーについて(作成手順等)
657	研究活動における不正防止や研究倫理について ～研究倫理教育研修会～
658	授業(講義やゼミ)における学生理解について
659	「医療経営」特別講義①
660	「学修成果の可視化と学修ポートフォリオ」
661	「2018年度外部FD研修会等参加による報告会」
662	「PDCAサイクルから探究する組織」
663	「高大接続改革における大学教育のあり方」

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

#### A. 全学主催のFD

664	2020年度事業計画の概要および予算についての説明
665	「医療経営」特別講義②
666	科学研究費助成事業研究会及び公募説明会「科研費と私」
667	ICTが支える学びのかたち
668	トコトンできるまでの教育について
669	大学教育におけるICT(Moodle)の具体的活用法
670	アクティブラーニングの現状と課題
671	絶対誰でも分かるIPS細胞の話 ー数理データサイエンス教育強化方策を踏まえて
672	地方大学の未来に向けてその展望と将来構想について考える
673	manaba講習会(前期)
674	外国語教授法に関するFDイベント
675	教職員研究会 第一部<基調講演>『●●大学の自己点検・評価を考える』
676	教職員研究会 第二部<教員向け>『●●大学の自己点検・評価を考えるワークショップ』
677	manaba 導入による学習効果について
678	manaba講習会(後期)
679	いじめ・不登校についての公開講演会
680	心理カウンセリング学科における動画を用いた効果的な反転授業の在り方に関する検討
681	リサーチウィークスポスターセッション
682	FDフォーラム「学科・科の学習成果の可視化のために」
683	教育改革推進(学長裁量)経費予算による研究・開発の報告
684	効果的なルーブリックの作成や活用方法
685	授業改善に向けた教育学部での組織的な取組
686	カリキュラム評価とアセスメント・ポリシー策定方法について
687	入試改革に求められているもの
688	学修成果の可視化
689	良い成績へと導くための学習評価の基本
690	ティーチング・ポートフォリオの導入・活用について
691	2018年度学長裁量経費採択者による報告
692	●●大学 学修支援センターの取り組み
693	新任教職員対象研修会
694	新任教員ミーティング
695	求められる研究倫理
696	「カリキュラム評価に基づくカリキュラム開発、教育方法の工夫についての検討」
697	「各領域における講義・演習・実習と3Pとの対応、工夫点について」
698	「教育の質保証について」
699	「発達障害の理解と対応」
700	「カリキュラムマップの検討」「臨地実習における情報共有の在り方」
701	研究倫理・コンプライアンス(SDと合同開催)
702	学生の学びを可視化する ～大学の外から見た学生が成長を実感できる効果的な振り返り～(SDと合同開催)
703	発達障がい学生支援講演会「理解者が理解者をふやす ー大学における支援の広まりー」(R1.7.4 SDとの合同)
704	陸の孤島●●市に立地する●●大学、●●短期大学の生き残り戦略 (R1.9.3 SDとの合同)
705	アカデミック・ハラスメントおよびパワー・ハラスメントの対策と防止 (R2.2.14 SDとの合同)
706	授業設計のための目標と評価の設定
707	「到達目標」を達成するための「授業内容・方法」について
708	ティーチング・ポートフォリオ入門(初級:チャートの作成)
709	●●活用入門
710	授業における著作権法入門
711	「学生主体」の授業デザインと運営手法ワークショップ
712	授業設計のための知識構造理解と課題分析
713	学生の興味を喚起する授業デザイン
714	情意領域での学修にかかるディプロマポリシー実質化に向けた評価・教授方法の開発
715	PBL(Project-based Learning)の概要と実践
716	大学情報セキュリティ ～サイバー攻撃の脅威はどこまで大学に迫っているのか～
717	アセスメント・ポリシーを踏まえた成績評価について(※FD研修会)
718	講義形式の授業における改善の取り組み(※FDサロン)
719	公的研究費の運営・管理に関する取り組み
720	本学における共通教育改革の試み
721	働き方改革と女性活躍推進の潮流
722	科学研究費助成事業の動向と適切な管理
723	「職場のハラスメント基礎講座」～セクハラ、パワハラ、マタハラ～(SDと合同開催)
724	情報セキュリティにおける脅威と対策(SDと合同開催)
725	高等教育の学修支援新制度の概要と本学の対応(SDと合同開催)

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

#### A. 全学主催のFD

726	タバコに関する講演会(SDと合同開催)
727	機関別認証評価(日本高等教育評価機構)受審について
728	ティーチング・ポートフォリオ研修会
729	シラバス作成のガイドライン
730	「●●-LMS」使い方と事例報告
731	「教員の個性が輝くとき」-アンケートから自分らしい授業へ-
732	LGBTの現状と未来 ~性的マイノリティを生きて思ったこと~
733	大学の理念・目的、学部の教育目的、ディプロマポリシー
734	「看護学科及びリハビリテーション学科の教育方法」
735	就職状況と今年度の対策について
736	・補助金の役割と対応(私立大学等改革総合支援事業) ・特色ある組織的な教育研究活動・効果的な推進に向けた改善(2019年度改定 個人研究費)
737	教員と臨床現場との連携活動について
738	各学科初年次教育の紹介(今後の実施内容)
739	2019年度チーム医療論について
740	ICTを活用した双方向型授業及び自主学習支援
741	学生による授業評価アンケートの結果報告
742	ティーチング・ポートフォリオ・ワークショップ
743	春学期授業(授業期間内開講科目)に関するアンケート実施
744	春学期授業(授業期間外開講科目)に関するアンケート実施
745	FD講習会開催
746	春学期授業に関するアンケート実施結果公開
747	秋学期授業に関するアンケート実施
748	第12回アクティブ・ラーニング研究会開催
749	第13回アクティブ・ラーニング研究会開催
750	FDレポート第13号発行
751	新任教員FD(12回開催)
752	教務部FD「3ポリシー研修」「学修成果の可視化研修」「AP事業の成果発信」3件
753	学生部FD「イスラームの理解～留学生支援の観点から」「本学学生のボランティア活動の現状と課題」など5件
754	就職部FD「2019年度上半期における就職市場(IS含む)動向について」など3件
755	教学と経営の内部質保証
756	新たな時代の大学教育とは 一自ら学び続ける力を育てるために一
757	第3回Café Free Discussion
758	第4回Café Free Discussion カフェテマ「アクティブ・ラーニングの導入」
759	本学におけるグローバル教育を考える ~海外保健福祉事情/海外医療体験をとおして~
760	FD活動報告会・学生が選ぶグッドティーチング賞受賞者報告会
761	研究の品質向上を目指した未来研究支援センターの取り組み
762	科研費申請書に関する書き方セミナー(基礎研究編)
763	科研費申請書に関する書き方セミナー(挑戦的研究編)
764	臨床研究法
765	臨床研究者教育システムCREDITの紹介
766	知的保護の必要性
767	利益相反自己申告書の提出に関する留意点
768	倫理委員会への定期・終了報告の提出について
769	技術コンサルティング、共同研究・受託研究における知的財産の取り扱い・注意点
770	精神的に不安定な学生に対する教育的配慮
771	IRとEM基礎から本学への導入まで
772	3つのポリシー構築とカリキュラムマネジメント
773	カリキュラムツリーの作成と発表
774	「医療系データサイエンス教育の現状と課題」
775	「シラバス作成についてー授業方法等の留意点解説ー」
776	「シラバス作成についてー授業方法等の留意点解説ー」(ビデオ受講)
777	「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」
778	「IRを取り巻く状況と本学のIRのこれから」
779	救急救命講習
780	学校における生徒・学生のメンタルサポート
781	完成年度の教育課程評価に向けて準備すること
782	新カリキュラム導入準備と看護学教育の質保証
783	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは?
784	教学と経営の内部質保証
785	ハラスメント講演会
786	データサイエンスの基礎と授業への応用

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

#### A. 全学主催のFD

787	『研究不正を防止するための研究倫理意識の向上』及び『公的研究費等にかかるコンプライアンス教育講習会』
788	FD研修会『科研費取得を目指した研究計画書作成時の注意点』
789	FD研修会『研究データの適切な保存及び管理について』
790	第1回医学教育セミナー「ICTを用いた医学教育環境の構築 -英語教育から臨床教育まで-」
791	第2回医学教育セミナー「●●大学における教学IRセンターの取り組み・汎用的能力の指標としてのGPS-Academic®の導入」
792	第3回医学教育セミナー「新しく変わる初期臨床研修制度 -2020年度改定を巡って-」
793	第3回医学教育分野別認証評価受審に関するFD&SD
794	第4回医学教育分野別認証評価受審に関するFD&SD「医学教育評価基準が求めていること」
795	研究ブランディング事業 キックオフシンポジウム「難治性免疫・アレルギー疾患の最先端研究拠点大学としてのブランド形成」
796	科学研究費補助金説明会
797	KMULAS利用説明会
798	第1回最先端医学推進特別講演会「がんの近赤外光線免疫療法(光免疫療法)」
799	Global Symposium(全学FD)“市民の健康・スポーツ課題に対する大学のあり方” -グローバルな視点から-
800	学習成果の可視化の意義と課題 -評価指標の開発とDPの見直し-
801	大東型アクティブラーニングのすすめ(大教室における参加型授業の実践)
802	●●大学を語る会(SDと共同開催)
803	●●大学を語る会(※SDと合同研修)
804	科学研究費助成事業の概要と獲得方法に関する講演会
805	研究倫理に関する研究会
806	動物実験講習会
807	主体的に考えて行動する学生を育てるためには
808	学生の主体的な学びを引き出す教授法とは
809	新任者FD 研修会 ~前期を振り返り今後の授業改善につなげるために~
810	新学習指導要領で育てる資質・能力とは何か? 一教科・横断的な学習、幼小中の連携、高大接続改革で問われる力一
811	専門教育の場における人間形成の学び ~個に応じた人間力育成を目指して~
812	学修成果の可視化における査定基準の設定について
813	入学者の現状と背景分析
814	データサイエンス教育について
815	令和2年度シラバス作成の留意点
816	高等学校におけるアクティブ・ラーニングの実際
817	【FD・SD】初任者研修
818	「ハラスメント防止研修」
819	「私立大学をめぐる諸情勢について」
820	「ICT活用で教え方、学び方を変える」office365を教育に活用する事例紹介
821	本学の方針と課題、ICT活用をめぐる教育改革
822	パワーハラスメント最新事情-なぜ起きる、どう対処する-
823	学部の方針と課題
824	2019年度科研費申請研修会
825	学生の学びを創る教育評価・本学の7つの力の分析
826	Research map 説明会
827	IR研修会
828	授業アンケート・授業改善PCDAチェックシートの活用について・2018年度評価・点検報告書を読む
829	授業におけるG suite for Education の活用の可能性について
830	新任教員研修会
831	入学前指導プログラム報告会
832	SOGI/LGBTとダイバーシティ セクシュアル・マイノリティに関する基礎 外部講師
833	ハラスメント啓発・防止について
834	学校教育と著作権について
835	困難を抱える学生のキャリア支援を考える -大学教職員にできること-
836	●●大学におけるアクティブ・ラーニングの事例

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局員と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

## B. 全学主催のSD

1	※毎年開催している「接遇研修」が2019年度はコロナにより中止となったため、0件です。
2	次世代リーダー養成ゼミナール 4回
3	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第2回
4	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅡ)
5	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅢ)
6	SDコーディネーター(SDC)養成講座 in 東京
7	桃太郎フォーラム
8	障がいのある学生への支援
9	障害のある学生に対する支援に関するFD・SD
10	ITスキルアップ研修
11	ビジネスマナー研修「接遇講座」
12	自殺防止のための研修会
13	学生相談担当者研修会
14	新任職員研修会
15	ハラスメント防止講演会
16	事務系新任職員研修
17	事務系信任職員研修(マナー研修)
18	一般職員個人評価研修(新任評価者対象者編)(3H)
19	一般職員個人評価研修(新任評価者編)(3H)
20	●●大学・●●大学主任研修
21	未来セミナー
22	●●大学リーダーシップ研修
23	事務系職員英会話能力向上研修7カ月間(業務時間外)
24	放送大学受講研修(1学期)
25	事務系職員英語力向上研修(e-learning研修)
26	大学人、社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)
27	里親学生支援事業FD・SD研修会「本学の情報セキュリティへの取組み ー個人情報漏洩のリスクを考えるー」
28	管理職のためのハラスメント防止研修
29	ハラスメント相談員研修
30	メンター研修
31	役員・管理職研修(働き方改革による労働時間管理、コンプライアンス違反に伴う初動対応)
32	ハラスメント防止研修(アンガーマネジメント)
33	階層別研修(新採用職員:ビジネスマナー・コミュニケーション, 若手職員:問題解決, 中堅職員:キャリア形成等)
34	能力開発研修(ビジネススキルアップ研修:大学職員クレーム対応, 語学研修:TOEIC対策・ビジネス英語, 簿記研修, 労働法制研修:労働法の概要, 労働契約, 賃金等)
35	情報セキュリティ・個人情報保護研修
36	安全衛生管理・メンタルヘルス講習会
37	危機管理に関する講習会
38	2019年度 ●●大学 全学教職員研修(全学FD・SD)プログラム 「これからの医学・医療」:医学・歯学分野の発展に向けた人工知能技術の導入
39	●●大学FDは教職員対象とするため教員のみものを外したものをSDとした。
40	英会話研修
41	パソコン講習会
42	メンタルヘルス研修
43	公文書管理e-ラーニング研修
44	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修
45	情報システム統一研修
46	放送大学利用職員研修
47	●●大学ハラスメント防止研修
48	学生支援センター学生対応研修会
49	大人の発達障害について
50	ハラスメント防止研修 ～ハラスメントのない大学・病院づくりをめざして～
51	男性の育児参画のために ～育児はだれがやるものか～
52	アクセシビリティ研修会(FD・SD)
53	●●地区国立大学法人等初任職員研修
54	ユニバーシティ・アドミニストレーター育成講座
55	初任事務職員英語研修
56	初任事務職員実地研修
57	個人情報保護研修会
58	リスクアセスメント研修
59	研究活動に関する不正防止研修
60	事務職員TOEICスコアアップ研修

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局員と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

## B. 全学主催のSD

61	避難所運営訓練
62	事務職員英会話スキルアップ研修
63	情報セキュリティ及び個人情報保護eラーニング研修
64	アドビイラストレータ研修
65	今 大学に求められるICT教育とは
66	クラウド利用の心得
67	2040年の高等教育のグランドデザインにあつて自大学の改革を進める職員になる
68	障がい学生への合理的配慮について改めて考える
69	医療安全講習会
70	感染症対策講習会
71	修学支援(障害学生支援)について
72	公立大学に関する評価制度と内部質保証
73	階層別(部長・係長・中堅職員・新規採用職員)研修
74	実務系研修(OJTによる人材育成、コンプライアンス)
75	他大学との交流研修
76	公立大学協会による事務職員研修
77	語学研修(英語力向上、事務職員の海外研修)
78	コンプライアンス研修
79	交通安全講習会
80	メンタルヘルス研修会
81	財務会計事務出前講座
82	第32回全学SD・FD研修会
83	第42回●●ミーティング
84	第43回●●ミーティング
85	第44回●●ミーティング
86	令和元年度ダイバーシティセミナー
87	地域の持続可能性と公立大学の未来 ～公立大学に相応しいガバナンスとマネジメント～
88	人権啓発・ハラスメント防止研修会「事例から考えるハラスメント」
89	IRの初歩(情報の土台をつくる)
90	教育評価について:評価方法と活用
91	アクティブラーニング
92	大学におけるハラスメントとメンタルヘルス
93	「大学生の心の現状と対策」を精神科医をお招きして考える
94	アクティブラーニングにおける基本形 -高大接続をにらんで学生を育てる大学に-
95	教職員の意識変革が大学ハラスメントを防ぐ
96	令和元年度目標・計画にかかる前期説明会(H31.4.24)
97	ファンリテーション研修(R1.9.4)
98	令和元年度目標・計画にかかる後期説明会(R1.9.25)
99	情報セキュリティ研修会(R1.10.10)
100	ハラスメント防止研修会(R1.10.29)
101	広報研修会(R1.10.24)
102	産学連携・知的財産・安全保障輸出管理セミナー(R1.12.10)
103	利益相反セミナー(R1.12.11)
104	海外危機管理セミナー(R2.1.9)
105	教育の質保証と教学マネジメントの確立 -「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」答申を踏まえて-
106	働き方改革について
107	大学改革と公立大学の未来
108	コンプライアンス研修
109	倫理研修
110	障害者差別解消法に関する研修(e-learning)
111	情報セキュリティ対策について
112	“倫理的”に研究を遂行するとは ～具体的な研究例から考えてみよう～
113	SD研修報告会
114	新型コロナウイルスに係る対応について
115	新任職員研修
116	第1回法人職員研修
117	第2回法人職員研修
118	高大社接続における学びの展開 ～大学入学共通テストの実施が直前に迫った今、改めて『大学に求められる学び』について考える～
119	教育研究力の向上に資する国立大学法人改革に学ぶ市立大学の進むべき方向性
120	学生相談・学生支援の現状と課題について
121	教育改革フォーラム:新語学カリキュラムの成果・課題

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

## B. 全学主催のSD

122	教育改革フォーラム:●●大生が修得すべき能力・資質とカリキュラム
123	新任教員研修・新規採用者研修
124	Excel研修
125	Access研修
126	ハラスメント防止研修
127	メンタルヘルス研修
128	部局を横断した研究成果について「三世代近居の健康長寿学」
129	「人口減少時代」における「公立」大学「経済学」学部の展望
130	生物資源学部の現在地 一新学科開設とこれからの取組み
131	情報セキュリティについて
132	SDGsに関して●●大学はどう取り組むべきか?
133	第12回●●キャリアアップセミナー
134	令和元年度●●大学ハラスメント防止研修
135	現代の学生の傾向と対応について 一学生相談から考える一
136	●●大学障害を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領に関する説明
137	大学におけるハラスメントリスクとその防止策・対応について
138	ブロックで描く保健医療大学の未来
139	公立大学の課題と将来構想
140	選択型FD/SD サイバーセキュリティ対策について
141	選択型FD/SD アサーティブ・コミュニケーション研修 ～ハラスメント防止のために～
142	新任教職員研修会
143	大学院教育の改革方向と将来展望
144	科研費獲得と研究倫理に関する研修会
145	環境問題「地域環境保全とSDGs～岐路にある人類と地球～」
146	カナダに学ぶ持続可能な社会・経済・東京都市圏とシドニー都市圏の都市空間構造の比較
147	モラルハラスメントについて
148	事例で学ぶ情報セキュリティ
149	自己点検評価について
150	新規事務職員への講習会「●●大学とその課題解決へ向け 大学職員の基本知識等について 大学の懸案事項、今後のミッション等について」
151	キャンパスハラスメント防止研修
152	「公立大学の課題と将来構想」設置団体政策と公立大学のガバナンスを中心に
153	契約書作成研修
154	大学職員に求められる知識・能力について
155	●●県公立大学運営事務研究会
156	公立大学法人等運営事務研究会
157	契約書作成の基礎と実務
158	事例に学ぶ障がい学生支援
159	①「外部資金と大学」 ②「協働できる職員」
160	公立大学法人会計研修会
161	ダイバーシティ研修会
162	2019新規採用職員研修 “本学職員としての基本的な知識習得をおこなう”
163	2019新規採用職員研修 “フランクリン・コヴィー・ジャパン「ディスカバリー」プロフェッショナルな組織人として働くこと意識を持つ”
164	2019SD講演会 “「夢を持つな！目標を持って！」”
165	2019SD研修(自己肯定力アップ研修) “大学運営の一層の高度化に必要な知識・技能を身に付け、能力資質の向上を図る”
166	2019執行部SD “「教職員満足度調査を経営にどう活かすか」”
167	2019目標管理評価者研修 “インソース 目標管理制度評価者としての役割認識を高める”
168	2019ハラスメント研修 “「イノベーションを阻む」クラッシュアッパー”を生まない組織風土づくり”
169	SD「●●県地域医療構想について」 “地域医療構想の内容を理解し、問題意識の共有を図る”
170	2019産業医講演会 “復職者への対応及び復職の流れについて理解を深めることで休職者が復帰しやすい職場環境を醸成し、離職者の減少に寄与する”
171	障害学生の修学支援 一聴覚障害学生に対する情報保障を中心に一
172	教職員全体会(学長の運営方針、学園の中・長期計画、ハラスメントの防止等)
173	教職員全体会(「研究機関における公的研究費のガイドラインについて」)
174	合同SD研修会「令和の時代を建学の精神に立ち返り考える」～観光を通して世の中の変化に学ぶ～
175	人権問題研修会
176	キリスト教文化研究センター主催公開セミナー
177	●●大学との合同SD研修会
178	個人情報保護について SNSを利用する学生の流行やトラブルについて 全1回

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局員と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

## B. 全学主催のSD

179	発達障害学生支援とT-STEPプログラム 発達障害学生に対する支援 -●●大学における取組の紹介- 内部室保証の実質化に向けた●●短期大学のIR活動 全1回
180	創設者「●●」を知る 全1回
181	職場のハラスメント基礎講座:セクハラ・パワハラ・マタハラ 全1回
182	職場のハラスメントに対する法的規制 全1回
183	「魅力あるリーダーとして」-スクールリーダーとしての心がまえ-
184	建学の精神のいかし方 -本学でどのような教育ができるか-
185	国試教授就職等対策情報交換会(第1回)
186	国試教授就職等対策情報交換会(第2回)
187	国試教授就職等対策情報交換会(第3回)
188	国試教授就職等対策情報交換会(第4回)
189	国試教授就職等対策情報交換会(第5回)
190	国試教授就職等対策情報交換会(第6回)
191	国試教授就職等対策情報交換会(第7回)
192	国試教授就職等対策情報交換会(第8回)
193	国試教授就職等対策情報交換会(第9回)
194	2019年度新入事務職員フォローアップ研修
195	2019年度階層別研修(係長対象)
196	障害のある学生に対する合理的配慮 ~考え方と支援の実際~
197	障がい学生への支援の在り方について
198	マネジメント研修
199	テーマ別研修(PCスキルアップ・コミュニケーションスキルアップ)
200	大学職員研修「●●大学を取り巻く環境と大学職員のこれからの役割」
201	マスタープラン経営財務報告会
202	学園職員課題研修
203	アンガーマネジメント講座
204	情報セキュリティ研修会
205	利益相反に関する研修会
206	ハラスメントの法改正と対応について
207	キャンパスハラスメント防止研修
208	2030年に向けた私立大学の経営戦略/マーケティング戦略/競争戦略/ブランド戦略
209	人権擁護に関する研修会
210	大学職員のためのSDセミナー
211	中期経営計画IVについて、経営財務の状況について
212	令和元年度学園内補助金研修会
213	大学における事務職員の在り方について
214	学外研修報告及び本学の現状と課題
215	学園経営・大学運営
216	求められる役職者としての役割・行動
217	目標管理と業務改善、スケジュール管理について
218	経常費補助金と高等教育政策
219	大学における自殺防止
220	ハラスメントの考え方と職場環境づくり
221	ハラスメント防止(相手にとって嫌な言動を防止するために ~事例で学ぶ防止と対策)
222	個人情報保護・コンプライアンス(コンプライアンスの重要性の理解、個人情報保護の観点からみたSNS利用)
223	メンタルヘルス(ストレスコーピング)
224	防犯(大学における防犯対策)
225	AED講習(心肺蘇生含む)
226	メンタルヘルス研修
227	個人情報保護・コンプライアンス研修
228	防火防災研修
229	防犯研修
230	ハラスメント防止講習会
231	日本のメイヨークリニックをめざす会 第22回
232	日本のメイヨークリニックをめざす会 第23回
233	研究費不正使用防止等
234	ハラスメント
235	SD研修会「大学職員としてアクティブラーナーになる」
236	係長・師長・主任研修会 (部課長研修会と交互に隔年で開催)
237	新入職員研修会
238	事務総合職内定者研修会
239	新入職員フォローアップ研修会

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局員と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

## B. 全学主催のSD

240	主任研修会
241	国公立大学医学部・歯学部教務事務職員研修会の報告について
242	入試制度について
243	健康管理及び働き方改革等について
244	補助金(私立大学経常費補助金等)の仕組みについて
245	本学の初年次教育について
246	事務局研修報告
247	地域の「要」を目指して
248	●●学園教職員夏期研修会「開かれた公共へ～●●学園が真に目指すもの～」
249	大学ハラスメントをめぐるリスク&クライシス・コミュニケーション
250	中間管理職研修 ―パワーハラスメント研修―
251	中間管理職研修 ―スピーチ力強化研修1―
252	中間管理職研修 ―スピーチ力強化研修2―
253	AED講習
254	GSD研修(係長職以下職員向け) ―職員が考える学生満足度調査に対する回答―
255	●●大学おもてなしワークショップ with English
256	高等教育修学支援新制度に関する本学の準備について
257	学校会計・決算書の読み方(3) 財務分析・経営判断について
258	引っ掛かりやすい情報セキュリティリスク事例とその対応方法
259	「伝わる」授業のために 聞き手を引き込むトーク術 Part1:伝えるための基本、魅力ある声・話し方とは
260	「伝わる」授業のために 聞き手を引き込むトーク術 Part2:オープニングトークのすすめ、惹きつける表現力と話の組み立て
261	「伝わる」授業のために 聞き手を引き込むトーク術 Part3:人前で話すテクニック、自分の癖を知り伝わる話し方へ
262	多様化が進む学生の特徴と接し方
263	相手の立場に立って情報を伝えるカー・トラストワーク
264	聴き手に求められるカー・オーディエンス教育―
265	アンガーマネジメント
266	人はどのように判断を誤るのか ～認知バイアスがもたらすもの～
267	学習達成度評価(ルーブリック評価)のノウハウ Part1:基礎編 ルーブリック評価の考え方
268	学習達成度評価(ルーブリック評価)のノウハウ Part2:応用編 自分の授業で活用できるルーブリックの作成
269	職場のメンタルタフネスセミナー(教職員対象)
270	職場のハラスメント防止セミナー(教職員対象)
271	初期研修(事務職員対象)
272	一般職研修(事務職員対象)
273	主任研修(事務職員対象)
274	manaba course2講習会
275	情報セキュリティ講習会
276	教育の質を担保するためのポリシー策定からアセスメントまで ～授業設計からアセスメントへのつながり～
277	学修成果への挑戦 ～●●大学の事例を踏まえ～
278	メンタル面での合理的配慮の前段階でのかかわりや支援について
279	事務職員研修会
280	2019年度 公的研究費の使用ルール及び適正使用について
281	大学改革と内部質保証
282	安全保障輸出管理に関する説明会
283	キャリア教育の新たな取組について
284	プロジェクト実践活動について
285	コンプライアンス教育(営業秘密を含む)
286	学生のメンタルヘルス
287	障がい学生への合理的配慮について
288	ハラスメントについて
289	「STEPS」を意識した国際交流
290	授業力向上に寄与する講義アイデア
291	全国トップクラスの就職実績を維持するための取り組み
292	研究デザインの構築方法
293	スローラーナーに寄り添う学生支援FD
294	SD職場環境改善研修会
295	●●大学SD合同研修会(職員対象)
296	業務報告会(職員対象)
297	●●大学・●●大学短期大学部合同SD研修会(学生系、地域連携、図書・研究支援系、ICT系、教務系に分け、それぞれの担当職員でオンラインで意見交換等を実施)
298	IRの分析結果からみえる本学学生の特徴(兼FD)
299	ハラスメント防止研修(兼FD)
300	人権倫理相談員研修(兼FD)

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局員と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

## B. 全学主催のSD

301	SD伝達講習会
302	発達障害及び発達障害を疑う学生への支援についての事例検討会
303	ハラスメント防止研修会
304	内部質保証と点指評価 ～●●2年間の振り返りと今後の課題～
305	ハラスメント研修
306	2019年度 医療科学部・保健衛生学部 SD研修会 「2021年度新制度入試について」
307	医療科学部・保健衛生学部SD研修会 「ハラスメント訴訟事例から教員・研究者としての言動を再認識する」
308	●●大学「地域を支える人材育成プラットフォーム」SD研修会 「多様なニーズのある医療系学生を教職員協働で支援する」
309	「講義資料配信システム説明会」
310	大学入試セミナー(結果分析、接触状況分析、受験動向)
311	被考課者研修
312	管理者向けハラスメント防止セミナー
313	一般職員向けハラスメント防止セミナー
314	令和元年度 大学方針説明会
315	令和元年度 後期大学方針説明会
316	建学の精神に基づくブランドステートメントの実現に向けて
317	令和元年度 決算報告会
318	管理職研修会
319	教学改革に向けて(授業改善に向けて)
320	事務職員向けIT研修会
321	調査委員会報告に基づく業務の見直し
322	教育と教学マネジメントの改革と確立を目指して
323	私立大学を取り巻く法令等について
324	コンプライアンス研修
325	入職者オリエンテーション
326	医学教育講習会
327	ELNEC-J
328	医療安全管理者養成講習会
329	BLSプロバイダーコース
330	ICLS
331	大学・部課長級SD研修
332	内部質保証セミナー
333	ファミリー&フレンズCPRコース
334	ハートセイバーCPR AED
335	知的財産講習会
336	認知症疾患患者の理解と看護実践プログラム
337	「教育の質」の保証を目指して 一大学評価の結果から、私たちにできることを考える一
338	「ガバナンス改革、教育の質向上、SD 一直面する高等教育政策の根幹と大学の対応の在り方」
339	「大学の意思決定や質保証におけるIR活動」
340	新入職員研修(接遇・ビジネスマナー)
341	新入事務職員業務研修
342	新入事務職員業務研修報告会
343	事務職員研修「効果的な発信力」
344	事務職員研修「自己成長と後輩育成に必要な考え方・進め方」
345	人事評価における評価者訓練
346	外部派遣研修
347	所得税の確定申告における副収入と寄附金控除の取扱いについて
348	ハラスメント研修
349	情報セキュリティ研修
350	ハラスメント研修会
351	学ぶ意欲を引き出すには、何が必要か
352	最近のハラスメント事情と予防対策について
353	学校ハラスメント研修 -あいまいな知識と当事者意識の欠如が招く被害-
354	予測困難な時代に選ばれる学校作り -アイデンティティの構築からブランディングへ-
355	私立大学の運営課題 -国の高等教育政策の動向を踏まえて-
356	「ストレスについて」「決算書の読み方および本学の財務状況と分析」
357	ハラスメント防止研修「アンガーマネジメント研修」～怒りを上手にコントロールするために～
358	グローバル化対応研修
359	キャリア相談にみられる学生の困り感と対応 ～乳幼児から大学生までの発達障がいを持つ人との関わりのなかで～
360	危機管理ケーススタディによる学生支援体制の構築
361	「男女(ひととひと)が築く参画社会」～ともに輝くために～
362	経営・財務状況の把握・分析についてのSD研修

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局員と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

## B. 全学主催のSD

363	リスクマネジメント研修
364	働きやすい職場づくりのためのハラスメント防止研修会
365	本学における合理的配慮に関する現状報告と課題について
366	現在の就職環境について
367	大学評価受審FD・SD研修会
368	障がい学生支援2019 ～新年度の始動状況報告と支援手続きの実際～
369	本学の強みを活かした学生支援 ～「医療系」で「小規模」であることを有効活用するには～
370	学園の財務状況報告、第二期中期計画及び教学マネジメントに関する中教審での審議動向について
371	ハラスメント防止研修会
372	メンタルヘルス・メンタルタフネス講習会
373	教学マネジメント指針と本学の対応、教育の接続としての高大接続改革、発達障がいのある学生の理解と支援についてなど
374	学生募集にも繋がる教育力の可視化(FDと合同開催)
375	若手教職員が考える教職協働の可能性(FDと合同開催)
376	「大学を取り巻く環境変化と大学改革について」 一高等教育政策、高大接続、そしてガバナンスー
377	事務職員研修会
378	●●大学を語る会
379	2019年度運営方針
380	基本方針について
381	実学主義教育について
382	GPS-Academicの概要について
383	ハラスメントのない大学環境をつくるために
384	大学における就職支援について
385	学園ハラスメント防止講演会
386	他大学訪問調査報告会
387	第1回 RDCセミナー: 科学的根拠に基づくがん対策に向けて
388	第3回 医療統計セミナー: リアルワールドデータによる臨床疫学研究のススメ
389	第15回 全体集会: 学校法人●●大学の現状と展開
390	2019年度公的研究費の不正使用防止のためのコンプライアンス教育研修会
391	第4回 医療統計セミナー: 傾向スコアによる交絡調整入門
392	臨床研究教育研修会: 研究倫理指針の改正とこれからの医学研究
393	医療統計レクチャー: バイオマーカー情報を活用したがん臨床試験のデザインと統計解析 ～基礎から最近の動向まで～
394	ハラスメント啓発講習会
395	ハラスメント研修会
396	学修状況調査結果報告会
397	私立大学をめぐる国その他の補助金や助成金制度を知る
398	教職員研究発表・交流会「研究の種を探そう」
399	2019年度夏季職員全体研修
400	新規採用事務職員研修
401	管理職研修
402	SDフォーラム
403	第52回新任教職員研修会
404	第15回事務職員研修会
405	2019年度初任者研修会
406	2019年度夏季SDプログラム
407	JMA大学SDフォーラム
408	科研費獲得の方法とコツ: 申請書作成の重要なポイント10
409	平成30年度研究助成者報告会
410	本学における教学マネジメントについて
411	新入職員研修
412	東南アジア・東アジア カトリック大学連盟研修
413	イエズス会四校合同研修会
414	インドサービスラーニング研修
415	カトリック学校法人リーダー研修会
416	リールカトリック大学研修
417	大学基準協会スタディ・プログラム研修
418	職員英語能力向上研修
419	IR研修
420	大学と電子書籍サービス
421	シラバス記載内容の見直しについて(役職者のみ)
422	シラバスとその記載方法
423	Zoom操作説明会
424	「2019年度前期公開授業・授業アンケート実施結果と活用について」

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局員と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

## B. 全学主催のSD

425	「令和元年度 研究コンプライアンス研修会」 第1部「研究費の不正について」 第2部「研究費などの通報について」
426	「セクシャルハラスメント等のハラスメント対応について」
427	研究倫理:科研費関係
428	事例に基づくハラスメント研修(ワークを含む。)学生に対するコンプライアンスの推進について
429	「地域共育による人と学びの再生産 ―●●大学における実践から―」
430	大学ガバナンス
431	コンプライアンスの意識向上:コンプライアンス ガイドを使った研修
432	「見える化」「見せる化」情報共有会(全4回)
433	大学を取り巻く環境の変化(高大社の観点で)について
434	高等教育と大学経営
435	コンプライアンス研修
436	学校法人●●学園との合併推進にあたって
437	「合併・統合を成功させるために、私たちに求められているもの」
438	「経験学習で成長を促す教育 ―学生の特徴を捉え、効果的な教育手法を探る経験から人を育てる」
439	「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」の解説
440	「専門分野別評価について」
441	「学ぶ意欲を引き出すには、何が必要か？」
442	「発達障がいと思われる学生への対応について ―本学の相談事例を中心に―」
443	キャンパスハラスメント防止研修
444	職場のメンタルタフネスセミナー(教職員対象)
445	職場のハラスメント防止セミナー(教職員対象)
446	初期研修(事務職員対象)
447	一般職研修(事務職員対象)
448	主任研修(事務職員対象)
449	manaba course2講習会
450	情報セキュリティ講習会
451	誰にでも起こり得る個人情報漏洩の的確な予防と対策
452	教育の質―保障―学習成果の可視化
453	知っておきたい規程について(出張、兼職、裁量労働 他)
454	学習成果の可視化 ―他大学の事例
455	面接官の心得(聞いてはいけない質問とは 他)
456	本学の学習成果のアセスメントについて
457	新年度の時間割・シラバス・非常勤講師等について
458	大学全体のアセスメントポリシーについて(作成手順等)
459	働き方改革に係る本法人の取り組み
460	サイバーセキュリティ研修会
461	ICTが支える学びのかたち
462	トコトンできるまでの教育について
463	コミュニケーション入門
464	働き方改革
465	ハラスメントとモンスターペアレンツ対応
466	ハラスメント防止研修
467	働き方改革研修
468	教職員研究会 第一部<<基調講演>>『●●大学の自己点検・評価を考える』
469	教職員研究会 第二部<<職員向け>>『●●大学の自己点検・評価を考えるワークショップ』
470	障害者平等研修
471	大学職員(学園の今を知る)研修
472	改正法令研修
473	SD取組成果報告会
474	リサーチウィークスポスターセッション
475	新役職者研修
476	採用面接者研修
477	新採用者研修
478	LMC研修 vol.2 マネージメント
479	LMC研修 マネジメント
480	スタッフポートフォリオ研修
481	コーチング研修
482	セクシュアルマイノリティの学生への対応と配慮
483	私立大学等改革総合支援事業について
484	私立大学等改革総合支援事業が求めるもの
485	学校法人●●大学 教職員FD・SD研修会(基調講演2、分科会5を実施)

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局員と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

## B. 全学主催のSD

486	発達障害(傾向)を有する学生への理解と対応(人権委員会主催の講演会)
487	新入職員研修「2019年度 ●●を知る」
488	情報セキュリティ研修
489	個人情報保護法研修
490	中途採用者・新卒採用者研修(6日間)
491	推薦型派遣研修
492	通信教育(約90講座から自身の希望にて年間2講座まで受講可)
493	管理職のためのパワーハラスメント研修
494	「令和2年度科学研究費助成事業」
495	学生募集における現状と課題について (R1.9.11)
496	教務事務について (R1.10.16)
497	奨学金制度について (R2.1.21)
498	●●大学内の就職サポート (R2.2.19)
499	「健康医療科学部」学部・学科改組再編の趣旨と進捗状況および今後の予定
500	平成30年度以降の●●大学内部質保証・教学マネジメント体制
501	平成30年度事業報告と平成31年度(令和元年度)事業計画
502	学校法人会計について
503	高大接続改革
504	エンロールメント・マネジメントと学生本位主義
505	キャリア就職課による就職斡旋
506	本学の学生サポートについて
507	多様な性について考えよう
508	メンタルと危機管理能力の向上(教職協働連携強化)
509	公的研究費の運営・管理に関する取り組み
510	働き方改革と女性活躍推進の潮流
511	科学研究費助成事業の動向と適切な管理
512	本学における共通教育改革の試み
513	学園各校の動向(特色・トピックス)に関するSD研修会
514	教職協働が拓く大学の未来 -改革の目的・本質と手順を問い直す-
515	次代を担う職員の育成について -目標管理と適正な考課の実現を考える-
516	これからの大学職員に求められる役割 -ミッションを実務にどう反映させるか-
517	キャンパスハラスメント防止研修
518	SD研修の原点に立ち返る ～仕事とモチベーション～
519	民法改正
520	「しんか」のための「情報編集力」
521	大学および短大の直近アンケート調査結果について
522	私学法改正
523	高大接続改革と入試制度改正
524	大学運営における事務職員の役割について
525	入試業務における現状と課題 -Web入学手続の導入に向けて-
526	新島襄に学ぶ ～●●大学職員のIdentity～
527	情報セキュリティ研修 サイバーセキュリティの実態と今日からできる対策
528	新任教員SD(12回開催)
529	学生部SD「イスラームの理解 ～留学生支援の観点から」「本学学生のボランティア活動の現状と課題」など 5件
530	入試部SD「大学入試センター試験業務説明会」など 2件
531	就職部SD「Uターン就職支援に関する同窓会、ブロックセンター(BC)・サテライトなどとの協力について」など 3件
532	学生指導における教員の行動基準
533	管理職対象ハラスメント講習
534	一般職員対象ハラスメント講習
535	個人情報保護・コンプライアンス研修
536	法人の全体像について
537	職員の意識改革や行動改革の向上を図る
538	「医療系データサイエンス教育の現状と課題」
539	「シラバス作成について 一授業方法等の留意点解説一」
540	「シラバス作成について 一授業方法等の留意点解説一」(ビデオ受講)
541	学校における生徒・学生のメンタルサポート
542	攻めの大学経営研修 組織の視点から今後の大学を考える
543	コミュニケーションの力で生産性と大学力を高めよう 学内の関係性向上と学外へ向けての印象アップ
544	教学と経営の内部質保証
545	高大接続改革の現場から 一「持続可能な社会」を支える人材育成 これからの高等教育に期待される役割一
546	キャンパスハラスメント防止研修
547	事務職員研修会(3月)

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務職員と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

## B. 全学主催のSD

548	事務職員研修会(9月)
549	事務職員研修(9月)
550	事務職員研修(3月)
551	●●大学・●●短期大学SD研修会「SDGsと地方大学」
552	研究不正及び研究費に関するコンプライアンス研修会
553	私学法・民法改正に伴い大学がすべきこと
554	海外危機管理セミナー
555	大学における教職員間のハラスメントについて
556	専門教育の場における人間形成の学び ～個に応じた人間力育成を目指して～
557	研究費の適正使用について
558	新たな人事評価制度の概要について
559	【FD・SD】初任者研修
560	ハラスメントと相談員の業務研修(新任者)
561	入試センター及び広報センター研修
562	情報セキュリティセミナー
563	「メディアが伝えない本当の防災知識」
564	「●●大学における高大接続の取り組みについて」
565	「教職員の健康管理について」
566	メンタルヘルス講演会
567	応急対応ミニ講習会
568	各教職員が目標を定め、目標を達成したかどうかを5段階評価で自己評価する。
569	春学期職員会議
570	コミュニケーション促進研修
571	三大学SD研修
572	学生相談
573	建学の精神
574	IR研修会
575	セキュリティ基礎研修
576	リサーチマップ
577	ハラスメント講習会
578	業績報告会
579	ハラスメント啓発・防止について
580	「学校教育と著作権について」「専門的職員育成に向けた外部研修報告」「人事制度改革の推進について」「学園財務状況報告・財務分析について」
581	困難を抱える学生のキャリア支援を考える ―大学教職員にできること―
582	令和元年度●●地区国立大学法人等新任課長補佐研修
583	ハラスメント相談員等研修会(2H)
584	メンタルヘルス(ラインケア)研修
585	放送大学受講研修(2学期)
586	民間企業実地研修
587	ライフプランセミナー
588	発達障害について

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

C. 看護系の学部・学科、大学院主催のFD

1	LGBTの学生への対応について
2	アクティブラーニングを効果的にすすめるために(基礎編)①
3	アクティブラーニングを効果的にすすめるために(基礎編)②
4	アクティブラーニングを効果的にすすめるために(実践編)
5	AI(人工知能、ロボット)の今、そしてこれから
6	「精神症状のみ・か・た ～関わり方と薬の使用について～」
7	2019年度●●大学医学部実習指導検討会主催研修会(全3回)
8	2019年度看護学科研究交流会(全2回)
9	2019年度看護学科ハラスメント防止研修会(全2回)
10	2019年度カリキュラム部会FD研修会
11	2019年度実習情報交換会
12	2019年度授業科目参観型FD研修
13	新任教員FDプログラム ①採用時オリエンテーション
14	新任教員FDプログラム ②看護実践基盤技術Ⅰ
15	新任教員FDプログラム ③基礎看護学実習Ⅱ
16	ハラスメント防止研修会
17	桃太郎フォーラム
18	アクティブラーニング研修会
19	看護学科入試に関するFD(2回実施)
20	保健学科入学者選抜における面接試験を考える
21	パワ・ハラ防止のためのアンガーマネジメント
22	アクティブ・ラーニングとその学習評価
23	保健学類 ●● Web セミナーコンテンツの供覧
24	アクティブラーニングとは？
25	「健康寿命延伸のためのフレイル対策」(3月に開催予定だったかコロナ感染予防のため中止)
26	教育における安全の指針 ～学外活動編～
27	「大学教育の質保証」
28	「●●大学のFD ー●●大学の教育を、語り合うー」
29	「学修成果可視化システム●●」講演会
30	Pavia大学(イタリア)での研究活動報告(講演会)
31	他職種連携の教員向けセミナー
32	看護方法論Ⅱ(授業参観)
33	輸血検査学(授業参観)
34	平成30年度「授業改善のためのアンケート」実施報告
35	授業参観の実施報告・意見交換セミナー
36	シラバスチェックの実施報告
37	「教育の内部質保証に向けて」をテーマとする学内講師による講演
38	ベストティーチャー賞受賞者による公開模擬授業を実施
39	医学部FD講演会「研究を通じて看護管理と経営を学ぶ」
40	医学部防災FD/SD講習会
41	医学部FD講演会「学生を評価する」
42	メンタルヘルス研修会(FD研修会)「大学生のうつ状態の理解と対応」～双極Ⅱ型障害を中心に～
43	「コーピング特性簡易評価尺度(BSCP)の開発と応用普及の過程」
44	医学部FD/SD講習会『令和元年度の防災訓練について』
45	看護学科実習運営協議会
46	令和元年度看護学実習運営協議会講演「平成30年度卒業生の教育成果の概要」
47	海外でボランティア
48	実習指導について語り合おう
49	カリキュラム検討委員会WGの経過報告をもとにした統合カリキュラムの在り方や教育法論等に関する意見交換会
50	臨地実習における電子カルテの活用と情報管理
51	●●大学主催の教育ワークショップの報告会
52	カリキュラム改正に向けて大学の独自性、両機の枠組、保健師教育課程等に関する意見交換会
53	成績評価
54	シラバス作成
55	シラバス点検
56	教員による相互授業見学
57	●●IPEステップ2の実習指導担当者への研修会
58	●●IPEステップ1の指導教員への研修会
59	●●IPEステップ3の演習指導担当者への研修会
60	●●IPEステップ4の演習指導担当者への研修会
61	学習支援スキルを見直そう 学習者の学びと成長を助けるコツ 第1回 ハーバードから学ぶ!効果的なディブリーフィング方法

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

C. 看護系の学部・学科、大学院主催のFD

62	学習支援スキルを見直そう 学習者の学びと成長を助けるコツ 第2回 学習者に対する違和感への対処
63	学習支援スキルを見直そう 学習者の学びと成長を助けるコツ 第3回 ファシリテーターの基本的態度の再確認 T3の一部を体験しよう
64	学生の学習時間の向上について
65	心の健康セミナー
66	情報セキュリティにおける部局内研修
67	医療接遇:看護のプロフェッショナルに欠かせないマナー
68	台湾と日本の看護交流 ～教育と研究のコラボレーション～
69	看護研究における倫理 -研究計画書作成のポイント-
70	PPIについて
71	研究を看護に応用する
72	「キャンパスハラスメントにどう取り組むか」
73	アクティブラーニング(教育技法開発チームが作成した非同期型FD)
74	今後の看護教育動向について 令和元年度日本看護系大学協議会総会の報告より
75	令和元年度●●県看護師等学校養成所専任教員研修会
76	看護学教育 ●●大学ワークショップから学ぶ看護教育のあり方
77	看護学専攻の将来構想および教員配置について
78	医学部FD講演会「臨床解剖教育研修センター開設と運用に関するFD講演会」
79	医学部FD講演会「遺伝カウンセラー認定養成課程の設立と遺伝カウンセリングの臨床・教育・研究」
80	看護学における学習者のパフォーマンス課題と評価
81	●●大学の禁煙実践基本方針について
82	本学における安全保障輸出管理について
83	本学における安全保障輸出管理について
84	臨床研究法について
85	認証評価に向けたシラバスの記載方法について
86	カンファレンスの進め方
87	講演テーマ 自大学の強みや使命を活かす CQI(Continuous Quality Improvement)モデルによる看護学教育ワークショップ 講師 ●●大学大学院看護学研究科附属 看護実践研究指導センターケア開発研究部 准教授●●先生
88	ハゲタカオープンアクセス出版社にご用心
89	「EBMの概念」と「情報検索実践」
90	「量的研究:調査研究の基礎」
91	「量的研究:因子分析について」
92	「Frailty and Physiotherapy(フレイルと理学療法)」
93	「ニューロリハビリテーションの新しい流れ」
94	「夢をかなえる自分になる」
95	「脳卒中患者だった理学療法士が伝えたい、本当のこと」
96	「直立二足動物としての脳と股関節」
97	「生きること、諦めないこと」
98	医師国家試験の傾向と対策
99	看護学教育分野別評価に関するFDワークショップ
100	診療参加型臨床実習の評価としてのPost-CC OSCEの現状, 課題について
101	主体的な学習を促すためのアプローチ
102	大学院生の教育・研究の進め方
103	個人対応が必要な学生への指導
104	令和元年度第1回 ●●大学医学部看護学科FD研修会「がん患者のQOLに関する研究・教育・今後の展望」
105	令和元年度第2回 ●●大学医学部看護学科FD研修会「次世代を担う若手看護研究シンポジウム:シーズの開発と共有に向けて」
106	国際交流や国際貢献に関する情報・実績の情報共有
107	客観的看護実践能力試験の成果と課題
108	地域活動の取り組みを活かした研究・教育～ひきこもり支援と共生のまちづくり～
109	パワーハラスメントの防止に向けて
110	英語プレゼンテーションの技法
111	Research Seminar; Quality and Qualitative Research in Healthcare
112	FDの目的と意義を再認識するためにー改めてFDとはー
113	学生の特性に応じた支援を行うためにー看護学を学ぶ上で配慮を必要とする学生への支援の実際ー
114	学生の特性に応じて『つながる教育』を行うためにー看護学を学ぶ上で配慮の必要な学生に行う計画的な支援, 情報共有のありかたと方法ー
115	災害支援について(活動報告) 4件
116	研究活動の紹介
117	地域完結型看護をベースとした臨地実習の取り組み
118	新入職員オリエンテーション

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

C. 看護系の学部・学科、大学院主催のFD

119	動機付け面接
120	新任臨床教員研修
121	セクハラ・パワハラ研修
122	英文誌を通じた研究成果の海外発信 ―その意義と実際―
123	ベストティーチャー受賞者による「教育法の工夫」
124	講師を対象とした交流会「問題解決能力の向上」
125	助教を対象とした交流会「実習指導能力の向上」
126	科研費獲得に向けての説明会
127	査読のしかた、査読のうけかた
128	研究倫理審査申請書の書き方のポイント
129	Moodleの使い方
130	看護に活かすアクションリサーチ
131	実習指導について語ろう!
132	カリキュラム評価のための学習会(看護学科)
133	看護学教育を評価する(看護学科)
134	地域の公衆衛生人材育成に資する大学院のあり方 ～公衆衛生大学院の新たな可能性と課題～(研究科)
135	科目間連携によって実現するカリキュラムの実質化
136	教育評価にかかわるデータの紹介と今後の教育課程の在り方について
137	教育課程改定のための勉強会
138	看護学研究科FD「看護研究の問いの立て方・看護研究のブラッシュアップのために」
139	第1回●●病院との合同勉強会
140	実習カフェ(2回)
141	看護学臨地実習指導に関する臨地・大学合同勉強会
142	看護研究の問いの立て方 ―看護研究のブラッシュアップのために
143	看護技術教育検討会・●●県看護教員継続教育事業(3回)
144	「若手教員研修のための教育活動の振り返り」・「新カリキュラム実施に向けた準備」(3回)
145	「若手教員(助教)の教育力(実習・授業)および研究力の向上」実施報告(6回)
146	学長訓示
147	科研費説明会・研修会・ピュアレビュー
148	教育に関する研修「学習の可視化」
149	学生理解に関する研修「大学における学生指導へのヒント」
150	人権に関する研修「部落差別の現状と未来 ―部落史の視点から―」
151	授業評価(全教科)
152	アニュアルミーティング(学内研究者による研究ポスター発表)
153	看護研究における実践的質的研究法 M-GTAとは?
154	経済学研究科招へい教員との懇談会
155	メディアサイトのデモ&説明会
156	どう使うの?●●
157	研究倫理教育セミナー
158	ハラスメント防止研修会
159	障害者差別解消法 ―大学での取り組みを考える
160	教育評価について学ぶ
161	教育実践に関する基礎知識を学ぶ
162	新カリキュラムの実施に向けたFD①看護学教育における倫理
163	新カリキュラムの実施に向けたFD②臨床推論の教育
164	新カリキュラムの実施に向けたFD③アカデミックスキルについて
165	学生のメンタルヘルス 学生理解と学生―教員関係理解に視点をあてて
166	新任教員研修
167	1年次生学習に関するガイダンス
168	外部研究資金応募に向けた研修会
169	共同研究事業の課題解決に向けた具体的な方策を考える研修会
170	学士課程教育の充実に向けた研修会 ―DPを担保する段階的到達目標の明確化―
171	●●県立看護大学における教養教育の特性
172	研究倫理教育プログラム
173	国際交流スタートアップカフェ報告会
174	大学院博士後期課程におけるコースワーク
175	初年次教育の最新動向と本学の初年次教育改革
176	災害看護
177	大学における利益相反マネジメント
178	授業公開・授業参観を通じた教員相互の授業設計の点検
179	パフォーマンス評価と評価指標(ルーブリック)の作成方法に関する学修:抄読会
180	令和元年度保健福祉学部FD研修会(学生のヘルスサポーターマインドの育成)

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

C. 看護系の学部・学科、大学院主催のFD

181	南海地震に備える
182	AI時代における看護について
183	FDマザーマップ「教育」について
184	FDマザーマップ「研究」について
185	レポート作成の指導
186	看護・教育・セルフケアに活かせる認知行動療法
187	看護を語る会①
188	看護を語る会②
189	英語論文作成上のピットフォール
190	看護学教育と本学の教育についての理解を深める (2回)
191	臨床実習における教員と実習指導者の役割と学生の反応を理解する (2回)
192	実習指導における対応困難な学生への支援を考える
193	シミュレーション教育やICTを活用した教育方法について学ぶ
194	公的研究費使用に関するコンプライアンス研修
195	ハラスメント防止と働き方改革
196	障害のある大学院生の支援について考える
197	研究テーマとの出会いが勝負を決めた? ~科研費獲得を本気で目指した1年
198	●●市の保健医療政策について 一政策に貢献する研究を考える
199	保健医療分野研究の計画と解析
200	2019年度国際交流事業の成果報告と課題
201	効率的に研究を進めるために 一 便利なソフトの活用方法
202	2018年度サバティカル研修の実施報告
203	アクティブ・ラーニンググループ学習を効果的に導入する一
204	看護学教育ワークショップ報告
205	量的研究研修会「リサーチクエスションの構造化からデザイン化」
206	第1回英語論文に関する研修会
207	看護学教育講座(第1回)
208	第2回英語論文に関する研修会
209	看護学教育講座(第2回)
210	専門基礎科目(基礎健康科学実習)の内容を看護専門科目にどう活かすか
211	どうなる? 指定規則 ~10年後の社会を見据えた看護学教育の方向性(看護学教育学会講演会報告、他)
212	高大接続改革と入学者選抜の変更について
213	トランジションに向けた学生の学びと成長 一 枠を押さえて枠を超える
214	学修成果の可視化に向けた効果的な部局FD活動の推進
215	翻訳ツールを使ってアブストラクトを書こう!
216	若手教員への研究支援
217	新任教職員オリエンテーション
218	教員相互による授業参観
219	●●県看護大学研究会
220	看護教育における効果的なシミュレーション教育
221	チームとして教育力を高める
222	授業検討会
223	「学究肌を醸成する組織」プレゼン、質疑応答
224	「学究肌を醸成する組織」自由参加型セッション
225	対応困難な学生の事例から学ぶ具体的な対応方法について
226	おとなの発達障害の理解 ~適切な関わり方を学ぶ~
227	発達障害を持つ学生への関わり方
228	看護学部FD
229	2020年教育改革とアクティブラーニングの意義
230	研究倫理についての動向(研究・教育コロキウム)
231	まちづくりのために今、専門職・企業・住民ができること/高齢者見守りネットワーク(みまも)の取り組み
232	●●県立看護大学研究倫理審査要領の改正及び留意点(第2回研究・教育コロキウム)
233	看護学群におけるICT活用教育の可能性
234	“●●大学大学院看護学研究科博士前期課程 主な年間スケジュールと修士論文作成までの道のり”の効果的な活用について
235	LMSスキル基礎研修 ~●●を使ってみよう~
236	FD(教育)研修会(カリキュラム教科の基礎知識)
237	FD(教育)研修会(働き方改革と裁量労働制について)
238	第1回研究集談会(4回)
239	統計研修会
240	研究不正防止研修会
241	学生の主体的学びを引き出す教育方法
242	研究倫理に関する研修:オーサーシップについて(SDと合同)

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

C. 看護系の学部・学科、大学院主催のFD

243	看護学部の国際化を考える
244	2018年度共同研究費助成研究成果発表
245	新カリキュラムに向けた検討会
246	混合研究法について
247	リハ栄養で何が出来るか
248	科研費採択のための工夫
249	瞑想の効果、統計ソフトJMPプロ導入法と活用法
250	科研費の使い方
251	保健看護学部のディプロマポリシーとカリキュラムポリシーを考える
252	若手研究者のための科研費セミナー
253	How to get 科研費セミナー
254	検討会「保健看護学部のディプロマポリシーとカリキュラムポリシーを考える」に関する報告
255	共同研究助成報告
256	山東学術交流の報告、共同研究助成報告
257	共同研究助成報告
258	国際交流
259	2019年度FD総括
260	End Noteのセミナー
261	大学における学内試験と成績評価
262	卒業研究倫理について
263	ネットワーク分析の研修会
264	個人情報保護から考える実習記録の取り扱い(看護学科)
265	看護学生セキュリティーワークショップ(看護学科)
266	●●ヘルスプロモーションスタディ ―アルコール感受性遺伝子と健康―(看護学研究科)
267	看護・看護学の進展・発展に向けた看護研究への取り組み
268	入試環境に関する研修
269	ケースメソッド教授法:看護学教育への活用
270	なぜ老いる?ならば上手に老いるには ―フレイル予防を通じた健康長寿のまちづくり―
271	ないものはない! 離島からの挑戦
272	障がい学生支援の現状と課題
273	令和の時代を助産師の力で健康に
274	大学教員の教育力向上を目指して -実習指導に焦点を当てて- 第1回目
275	大学教員の教育力向上を目指して -実習指導に焦点を当てて- 第2回目
276	外部研修伝達報告会:ルーブリック~学習成果の可視化は可能か~
277	本学建学の精神と今後の展望について(FD、SD合同開催)
278	大学認証評価説明会(FD、SD合同開催)
279	情報セキュリティの最新動向、●●市地域防災情報システムの概要、マイナンバーカードの健康保険利用の概要(FD、SD合同開催)
280	ユマニチュードに関する研修会
281	ルーブリックを活用した学修評価
282	若手教員教育セミナー①
283	若手教員教育セミナー②
284	授業改善プロジェクト
285	学生の意見を踏まえた授業改善検討会
286	アセスメントポリシーに基づく成績評価について
287	シラバスの作成方法について
288	実践的メタ分析入門:メタ分析の概要~実践導入まで
289	看護学科新規採用教員研修会
290	「学修成果の点検・評価をどうする?」
291	実習指導における学生理解と実習場面の教材化
292	本研究科の教育における教授法の工夫とコツについて共有しよう(看護学研究科)
293	看護学研究科のさらなる充実・発展に向けて(看護学研究科)
294	学生-教員間の信頼関係の構築:望ましい学習環境の提供のために
295	第1回若手教員の臨地実習指導能力の向上を目指した学習会
296	第2回若手教員の臨地実習指導能力の向上を目指した学習会
297	新カリキュラムの効果的な授業運営に向けた学習会
298	第3回若手教員の臨地実習指導能力の向上を目指した学習会(自己の教育力の変化と特徴、今年度の自己目標の達成度評価と次年度の課題:ワークシート報告)
299	公開授業および公開授業検討会
300	Teacher of the year の教員による授業の工夫点等の紹介
301	AI・データサイエンス時代の大学教育改革:STEAM × アクティブラーニング
302	アクティブラーニング実践編

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

C. 看護系の学部・学科、大学院主催のFD

303	”英語論文の顔”を書くコツを身につけよう
304	卒業時技術到達目標と教育実践技術チェック表の検討
305	夏季集中検討会(Vsim説明会)
306	ピアレビューの開催
307	教育評価の実施
308	大学院教育の質向上に向けての研修会
309	アクティブラーニングの推進
310	科研費獲得セミナー
311	看護師養成カリキュラムを考える
312	研究倫理と倫理申請
313	学生の主体的活動をすすめるための講義の工夫とは
314	科研費獲得のための研究計画書をどう書くか
315	どのような学生を育てたいか ～私たちができること、やらなければならないこと～
316	科学研究費に採択される応募テーマについて
317	看護学科「学生の対応で困難だったこと」
318	看護学研究科「看護研究論文のクリティーク」
319	化学的・物理的環境要因と健康影響
320	不妊について考える
321	発達障害のある学生への対応に関して
322	科研費審査システムの改革と看護学の展望
323	FDワークショップ「学びの過程をアセスメントする-eポートフォリオとは-」
324	大学院FD講演会「初めての英語論文の投稿に向けて」
325	実習指導者研修会
326	臨地実習指導者研修会
327	FD講演会「研究の倫理性を確保するために」
328	アクティブラーニングICT講習会
329	学生の看護研究の発展性
330	ベテラン教員による教授法のコツについて
331	質的研究の進め方
332	看護師になるうとするモチベーションをあげる工夫について
333	病院で勤務する教育職員を対象とした教育ワークショップ
334	活動性を高める授業づくり
335	学科専門科目のDP到達に向けて
336	学びの可視化を目指して 一看護学科カリキュラム分析結果と課題一
337	アメリカの医学教育／看護教育
338	教育の質保証に向けた学修支援について ～学生および学外者が参画するFD～
339	画像医療の進歩
340	ティーチング・ポートフォリオを作成する
341	アセスメント・ポリシーを踏まえた成績評価
342	大学教育の質的転換と教職員力
343	授業公開(計7回)および自主的な講義聴講推進
344	次期に向けた検討会 ～他委員会との連携～
345	DPルーブリックとWebclassでの総合評価方法について
346	改訂授業評価について 変更点を中心に
347	新カリキュラムの新科目について 展開の状況
348	webClass授業設計の活用事例
349	現在の研究活動について:●●准教授
350	現在の研究活動について:●●教授
351	がん患者のセルフマネジメント:●●准教授
352	現在の研究活動について:●●准教授
353	現在の研究活動について:●●教授
354	看護師学校等の指定申請について【SDと合同開催】
355	Introduction to Implementation Science
356	達人に学ぶ EndNote VS. Mendeley
357	英語を母国語としない学生に英語で教える
358	学習障害の特徴がみられる看護学生への理解と支援【SDと合同開催】
359	カリキュラム2020に向けたワークショップ
360	アカデミック・ハラスメントの現状と対応【SDと合同開催】
361	教えるを考える研修会&成績評価FD① ～総合実習どんなことしていますか?～
362	教材作成のための著作権講座
363	教材作成のための『国家試験Web』活用ガイド
364	教えるを考える研修会&成績評価FD② ～レポートの評価をどのようにしていますか?～

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

C. 看護系の学部・学科、大学院主催のFD

365	APAIに学ぶ論文執筆のルール ～適切な文献利用(引用・転載)の方法、他～
366	実習指導に活かす評価3 -まちの保健室実習レポート評価の悩みを解決！-
367	看護学科FD研修会 看護学実習の評価
368	保健医療学部FD研修会 研究発表会
369	看護現場の生き生きとした経験を探求するプロセスで出会った現象学の思考
370	領域横断授業構築の可能性を考える
371	海外交流からの学び
372	授業を作る(授業設計を中心に)
373	職場内研修(FD)「米国の看護End-of-Life Care」
374	職場内研修(FD)「ルーブリック評価とコアカリキュラム」
375	倫理、生きがいのある幸福な人生と驚嘆の探求
376	医療・福祉における死生観
377	職場での喜びに火をつける、職場の燃え尽き方を減らす
378	新任教員からの研究活動の紹介①
379	新任教員からの研究活動の紹介②
380	18カリにおける教育上の工夫 -母性看護学領域
381	18カリにおける教育上の工夫 -小児看護学領域
382	18カリにおける教育上の工夫 -老年看護学領域
383	モザンビークにおける国際緊急援助隊での医療活動報告
384	当事者の語りを対象理解につなげるための教育上の工夫
385	当事者の語りの教育への応用を考える
386	看護学科FD研修 春 夏 2回開催
387	実習指導におけるヒヤリハット場面の教材化の課題と方策の検討
388	拡大カリキュラム情報交換会
389	質的研究におけるシステムティックレビューの方法
390	入試分析検討会
391	学生、教学委員、学生委員、カリキュラム委員合同FD・SD
392	新任教員FD「本学の目指す看護教育-大学教育を基礎から考える」
393	FDカンファレンス「アルバーノ大学研修報告」
394	FDカンファレンス「本学で育成するNPIについて」
395	大学院FDセミナー「日本のNPの教育にむけて」
396	学生の学習における課題とその解決策
397	大学院生とともに研究について考える
398	授業評価の高い教員による研修①
399	授業評価の高い教員による研修②
400	新カリ3年時の授業案の構想を深める
401	新任教員FD(看護学科運営、教育方針、カリキュラム、学外実習、卒業研究など)
402	卒業時到達度調査報告
403	新任教員(教育経験初任者)FD(目標設定)
404	看護の日講演会「看護のためのフィジカルアセスメント」
405	教員海外派遣研修(フレスノ)報告
406	ベトナム国際交流事業・アメリカ国際看護論研修報告
407	科研費申請書の検討
408	新任教員(教育経験初任者)は、看護教育学(大学院科目)受講をFDとして実施
409	新任教員(教育経験初任者)FD(振り返り・目標設定)
410	科研費成果報告
411	看護教員としての災害対策
412	新任教員(教育経験初任者)FD(振り返り)
413	看護系大学単科につきAに同じ。
414	防災研修 机上訓練
415	ハラスメント防止研修会
416	科研費申請に関する研修会
417	防災研修 搬送
418	著作権法に関する研修会
419	カリキュラム改正・アセスメントポリシー・ルーブリック評価に関する研修会
420	防災研修 三角巾
421	利益相反・研究倫理に関する研修会
422	参与による研修会
423	次期大学承認評価に向けた準備と今後の課題
424	ディプロマポリシーに基づく学習成果の可視化
425	本学のカリキュラム改正について
426	研究助成金(科研費等)獲得に向けた研修会

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

C. 看護系の学部・学科、大学院主催のFD

427	IR研修会報告
428	ティーチングポートフォリオ(TP)の基本とTPチャートの作成
429	2030年に選ばれる大学になるために
430	コンプライアンス研修
431	大学生の特徴に合わせた支援
432	「教える人としての私を育てる」報告会
433	ワークショップ「アセスメント・ポリシーの成績評価について」
434	令和2年度 科学研究費助成事業応募説明
435	発達障害傾向・パーソナリティ障害を抱える学生・スタッフの適切な対応
436	「大学における教育を問い直す(第1弾) ～学びをデザインする授業の創造～」
437	「大学における教育を問い直す(第2弾) ～ジョン・デューイの教育理論における問題解決学習の本質を考える～」
438	①論文投稿セミナーについて(11月27日)
439	②論文投稿セミナーについて(12月17日)
440	科研費申請ノウハウ -採択になる申請書とは-
441	看護・福祉領域の研究におけるエスノグラフィ
442	新カリキュラム実施に向けての意見交換会
443	地域における大学生の学びの意義と課題 ～オリンピック・パラリンピックは共生社会実現の契機となるか?～
444	令和元年度 授業評価アンケート結果を基にしたDP達成状況の検討
445	看護学科における教育の情報化・スマート化に向けて ～データサイエンス学科の教育・実践事例を通して～
446	シュミレーション教育を考える
447	看護における研究倫理3.0
448	研究計画書の書き方 ～観察研究の進め方
449	ハラスメント全般防止対策
450	看護学実習におけるルーブリックとパフォーマンス評価
451	大学院を担当する教員の研究成果報告会
452	本学における看護学教育の現状と課題の明確化(教員宿泊研修会)
453	新任の研究紹介
454	FD研修会「汎用的能力の指標の導入とその活用」GPS-Academic
455	共同研究費による学外研究費助成報告会
456	共同研究費(若手領域)成果報告書
457	ピアレビュー
458	ティーチング・ポートフォリオ
459	【大学院】組織における人材育成 -教員の教育力向上を目指した組織運営-
460	【大学院】ケアイノベーション -ケアにおける技術革新-
461	【看護学科】第109回看護師国家試験合格に向けて
462	【学部】授業科目ごとの「事前の学習」や「事後の学習」の充実策 -授業アンケートを踏まえた現状と課題-
463	【学部】履修体系図及び履修モデルの共通理解
464	学修成果の可視化と質保証
465	実習指導を通して伝える看護
466	看護系大学院教育の役割について
467	第1回看護学科FD研修会 -新カリキュラム3年次前期における他領域連携科目について その2-
468	第2回看護学科FD研修会 -新カリキュラムの科目について その3-
469	第1回看護学科・看護各研究科FD研修会 看護基礎教育におけるシュミレーション教育の概要とその実際
470	看護実践能力評価について
471	横断的科目の構築とICTを利用したシュミレーション教育
472	看護学における大型研究費獲得への取組と支援
473	看護学教育に活かすルーブリック評価
474	科研費審査改革の経緯と申請戦略
475	キッズカレッジの取り組み
476	人間的魅力のある教育者であるために ～学生と円滑な人間関係の構築を目指して～
477	教育を振り返って思いを共有する『ティーチング・ポートフォリオ』を学ぼう
478	看護師養成課程における看護情報教育
479	公開授業「循環器系疾患の周手術期看護」
480	公開授業「公衆衛生看護疫学・保健統計」
481	公開授業「健康障害と看護 厳格・妄想と無為・自閉」
482	公開授業「複合的な看護実践 コミュニケーション・観察」
483	公開授業「母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と看護」
484	「ポートフォリオを活用した教育 -ルーブリック評価の実際と課題-」
485	初学者のための量的研究:多変量解析を使えるようになるう!
486	ティーチング・ポートフォリオ
487	相互授業参観
488	アドバイザー会議

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

C. 看護系の学部・学科、大学院主催のFD

489	ゲーグルクラスルーム説明会
490	遠隔授業関連学習会 CLEVAS
491	遠隔授業関連学習会 google classroom
492	遠隔授業関連学習会 zoom
493	遠隔授業関連学習会 MOODLE
494	「発達障害児への介入研究」について
495	実習の到達度と評価についてワークショップ
496	看護教育実践のリフレクション
497	「研究倫理」について
498	「アクションリサーチの方法と実際」について
499	職位ごとに考える各職位に必要な能力とは何か？
500	学習困難学生の指導
501	診療看護師の役割と実際
502	看護教育の基本1:カリキュラムの考え方・構成
503	科研費獲得へ向けた研究計画書などのポイント(基盤研究C)
504	効果的なアクティブラーニングについて -実習指導のあり方の観点から-
505	看護教育の基本2:授業展開・教育方法・シラバスの作成について
506	新採用教員対象「大学教員の役割」
507	効果的な看護師国家試験対策の方法
508	基礎看護学実習指導案の立て方
509	全教員対象「大学教員の役割(マザーマップの活用)」
510	学生の主体性を育む看護教育を考える
511	学生の主体性を育む看護教育の実践 ~実例を通して考える~
512	大学生活スタートアップセミナー(初年次教育「自己の探究」事前体験会)
513	シミュレータ(ナーシングアン)学習会
514	ルーブリック評価導入初年度の成果と課題
515	「これから大学生となる世代の現状と教育上の課題、その対策」
516	「授業や実習において特に配慮を必要とする学生への対応」
517	看護過程に関する研修会
518	ロイ適応理論の理解
519	看護診断の理解と実践
520	アセスメントポリシーを踏まえた成績評価
521	持続可能な大学運営について考える
522	「科研費申請書の書き方」について
523	より効果的な教育を実施するためのシラバスの作成方法
524	成績評価の可視化・成績評価基準の適切な運用に向けたルーブリック評価
525	●●大学とティーチングポートフォリオの作成・評価とメンターの役割
526	学習支援タスクフォースについて
527	「●●看護学部について ~教員としての心得~」
528	「実習評価の基本と実際」
529	「●●大学紀要について」
530	「テキストマイニングについて」
531	新カリキュラムの具体化に向けた検討
532	カリキュラム改正の検討過程とその成果
533	質的研究の技を磨く -修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチに焦点をあてて-
534	教育の質向上のためのティーチング・ポートフォリオ簡易版の作成
535	教育の質向上のためのティーチング・ポートフォリオ簡易版の作成 (実践編)
536	授業研究学習
537	ルーブリック評価について
538	学生にわかりやすい授業とは何か? -良い授業と悪い授業どこが違うの?何が違うの?- 第1部:授業の基本スキル編 第2部:教材活用編:DVD・PPの効果的活用
539	障害学生の理解
540	学生指導の在り方を考える ~看護学部における教育力の向上を目指して~
541	学生を主体とする抗議・演習づくりについて
542	基礎看護学教員 教科目演習後FD
543	平成30年度学生授業アンケート結果の検討
544	平成30年度学生授業アンケート結果の検討
545	2019年度前期授業評価アンケート結果に関する改善策の検討
546	2019年度前期授業評価アンケート結果に関する改善策の検討
547	MCメディア出版「疾患と看護」シリーズ刊行記念セミナー「臨床判断能力を養うために必要な「知」とは
548	日本私立看護系大学協会主催「2019年度大学新任教員のための研修会」報告
549	日本私立看護系大学協会主催「2019年度大学新任教員のための研修会」の報告会

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

C. 看護系の学部・学科、大学院主催のFD

550	成人看護学(急性・慢性)・老年看護学教科目FD、マトリックス作成
551	2020年学生領域実習アンケート結果の検討
552	研究公正について ～利益相反と不正防止を中心に～
553	研究倫理講演会
554	(科研費)ファンドライティング講座 第1回
555	(科研費)ファンドライティング講座 第2回
556	高度実践看護教育のこれまで、現在、これから
557	研究交流会
558	臨地実習報告会
559	ICT教育の看護学部での活用法 -manabaの使用方法を通して-
560	科研費申請・獲得方策
561	コンプライアンス推進 看護学部の取り組み
562	働き方改革:ワーク・ライフ・バランスと研究時間確保を考えよう
563	学生の主体的な学びを地域で育てる-社会人基礎力に着目して-
564	FDワークショップ「大学教員として身につけたい能力について考える」
565	研究計画をクリティークする(1)
566	研究計画をクリティークする(2)
567	他職種連携の時代における看護の専門性を考える
568	学習指導者との教学の合同研修会
569	教員向け国試対策指導セミナー
570	対応の難しい学生への関わり
571	卒業研究の学生指導について
572	より良い看護基礎教育のためのDP・CPの再検討
573	看護教育の場における研究倫理と組織倫理
574	学術論文の査読の受け方・査読の仕方
575	授業改善に向けた実践報告
576	看護学研究会として年6回程度、教員持ち回りで開催。自身の研究テーマや教授法をテーマとしている。
577	第109回看護師国試合格に向けて《傾向と対策》ゼミ
578	第109回看護師国試合格に向けて《これからの国家試験対策》セミナー
579	インシデント・アクシデント再発予防を目指したFD研修会
580	e自主自学の活用方法
581	脳をだませ「Stereotype threatと教育」 -脳は思い込みの塊-
582	インストラクショナルデザインに基づく授業設計
583	学生のこころを理解する-学生対応に必要な心理的配慮・学修支援について
584	ハワイ大学の学術教育の現状と最近の研究について
585	夢を叶えるコツ
586	経営学部のFD活動について
587	科研費申請書作成についての研修会
588	成績が伸び悩む学生への学習指導及び低学年からの学習の動機付け
589	本学カリキュラム構築の経緯(AP,CP,DP)
590	基礎看護方法論Ⅰ演習
591	シミュレーター(シナリオ、ふりかえ朗)説明会
592	教員研究紹介
593	大学新任教員のための研修会2019「看護系私立大学とは 私学の特性と教育課程」
594	看護学部R学修成果の高度化に向けて -4年間の学修成果の現状と課題および次年度の教育改善-
595	救急看護師の臨床判断の実際の育成について
596	訪問看護職、訪問介護職、居宅介護支援事業所の介護専門職のチーム活動について
597	発達障害の理解
598	伝わるコミュニケーション
599	臨地実習におけるハラスメント防止
600	シラバスについて
601	ハラスメントについて
602	身近なハラスメントと対応
603	授業改善を図るための新たな取り組みを考える ～学生との対話を通して～
604	職業教育 ～医療者に求められるFitness to Practice
605	授業改善のためのアンケート結果に関する学生FD委員インタビュー
606	2019年度前期授業参観における評価の共有
607	2019年度後期授業参観における評価の共有
608	授業改善のためのアンケート結果に関する学生FD委員インタビュー
609	私立大学における教育のあり方:国家試験対策
610	専門領域における臨地実習の教育的試み
611	看護学教育モデル・コア・カリキュラムについて

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

C. 看護系の学部・学科、大学院主催のFD

612	新任教員研修 ～高機能シミュレーターを用いた実践的な技術教育に向けて～
613	シミュレーション教育研修会
614	授業設計 一気品と実践力を備えた凛とした看護職の育成に向けて
615	Nursing now2020 イギリス看護研修
616	看護学部研究助成研究成果報告会
617	看護学教育におけるFDマザーマップを活用して自分を知ろう
618	●●大学看護学部に必要なFD研修を考えよう
619	学びのグループゼミ
620	新人教育から見た基礎教育への課題
621	発達障害の概要及び具体的な事例への対応について
622	若手教員研修会
623	アカデミック ハラスメントの防止と対応
624	看護学4年間の振り返り 経営面の立場から
625	看護学科FDマザーマップ研修会
626	看護学部FD講習会「看護学士課程教育におけるコアコンピテンシーと卒業到達目標の活用について」
627	科研費の応募について
628	アセスメントポリシーを踏まえた成績評価
629	これからの看護教育の動向について
630	シラバス作成について
631	教育研究報告会
632	新任教員FD(3回開催)
633	教育実践力の向上FD(1回開催)
634	研究環境の整備と研究活動の推進FD(2回開催)
635	科学研究費補助金に関する説明会(スタートアップに関する説明会)
636	大学で研究をするということ
637	科研費獲得のコツについて考える
638	女性研究者として私の歩んだ道
639	科学研究費補助金説明会
640	文献検索研修
641	臨地実習地における災害対策
642	国家試験対策に関する外部研修で得た情報の共有
643	看護師指定規則改正等に関する外部研修で得た情報の共有
644	カリキュラムに関する FD:看護学部教員がカリキュラムについての知識を獲得する
645	統合失調症を持つ人の理解
646	TBL という教育方法
647	留学生の日本語教育について
648	GPA について
649	臨地実習指導検討会
650	2019年度学科卒業生学修成果評価:看護学部教員が考える「本学科卒業生のディプロマポリシーに照らした入学時と卒業時の資質の変化」
651	●●看護学部における授業ピアレビューの実践
652	臨地実習教育の質の担保・向上のため非常勤実習助手(助教も一部含む)に対するFD(8回シリーズ)((①大学教育入門、②臨地実習の科学、③看護学教育、④看護学実習指導、⑤看護学における倫理、⑥医療安全とリスクマネジメント、⑦看護過程、⑧実習指導の実際)
653	教員研修会
654	学生との懇談会
655	科学研究費獲得申請書の書き方
656	科学研究費不正防止に関する説明会
657	ゼミナール指導のためのポートフォリオ評価法
658	情報セキュリティ対策
659	学生による授業評価結果を活用した授業改善について
660	国家試験対策に係る研修会
661	アクティブラーニングを用いた授業設計
662	科学研究費補助金獲得に向けてのFD研修会 1.科学研究費補助金に採択されるために 2.科学研究費申請のための研究計画書の書き方について
663	成績不振の学生に対する対応
664	一次救命処置講習会
665	第1回「ケア・スピリット」研修会 1.「ケア・スピリット」について 2.ケア・スピリット研究プロジェクト 結果報告
666	第2回「ケア・スピリット」研修会 1.「ケア・スピリット」を本学でどのように涵養していくか 2.「ケア・スピリット」について 3.グループワーク「ケア・スピリット」について理解を深める・「ケア・スピリット」を授業に活かすには
667	●●大インタラクティブ・ティーチング 計10回 各回所要時間:1時間
668	総合教養演習 I～Vの共有

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局長と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

### C. 看護系の学部・学科、大学院主催のFD

669	ipadの活用・ICT教育
670	ティーチングポートフォリオ入門 -教育実践のリフレクション-
671	看護教育における新カリキュラム構築の基礎
672	年度末開催予定の講座が新型委コロナウイルス感染防止対策により次年度に延期
673	新任教員対象FD
674	臨床実習教育の留意点について
675	各分野の臨床実習の展開方法について
676	口腔医学を取り入れた看護学教育実践の現状と課題の明確化について
677	研究活動上の不正行為への対応について
678	若手教員に向けた能力向上への支援1「職場での働き方」
679	若手教員に向けた能力向上への支援2「経験型実習教育(理論)」
680	若手教員に向けた能力向上への支援3「経験型実習教育(実践)」
681	教育評価
682	●●大学看護学教育のすすめ
683	『科研費獲得に向けた具体的なポイントとコツ』
684	『研究FD理論と現象と研究』
685	「看護研究することの楽しさを学ぶ」
686	『あなたの日々のもやもやを形にしてみませんか』看護研究マッチング 3回開催
687	『看護学部教員の研究テーマを知ろう』
688	『看護教員のためのストレスマネジメント -ヘルシーワークプレイスを目指して-』
689	ルーブリック評価を中心としたアクティブラーニングにおける学修評価の在り方 -臨地実習に焦点をあてて
690	ナーシング・アン説明会
691	ナーシング・スキル日本語版説明会
692	●●大学で研究をスタートするためのノウハウ
693	千葉看護学部における看護教育の継続的質改善
694	広いフィールド観を持つ学生を育てるための教育
695	看護学部が学生に求める広いフィールド観を育てる看護ビジョンを考える
696	近年の看護の活動を踏まえて広いフィールド観をとらえなおす
697	大学教員の在り方を考える
698	文献検討について
699	大学における授業設計の在り方について
700	大学の実習の在り方について
701	概念分析
702	SPSSについて
703	テキストマイニングについて
704	臨地実習指導能力向上のための研修
705	研究FD(第1回目)
706	大学のDPを反映したカリキュラムマップ/ツリーの作成に向けて～効果的な授業運営を目指して～
707	「moodle講習会」(基礎編)(応用編)
708	E-Learning研修会
709	Zoomを使用した遠隔授業
710	看護学部SWOT分析
711	外部資金獲得の促進・方法・研究倫理研修・科研費説明会
712	新任教員オリエンテーション・研修
713	「身につけよう!乳がん自己検診法」
714	「看護教育を経済学で考えてみる。」
715	研究資金獲得に向けての申請書の書き方
716	コミュニケーションについて
717	シミュレーション機器の操作
718	シミュレーション教育の実際
719	シミュレーション教育の展開
720	シミュレーション教育におけるシナリオ作成
721	「学習経験を創る大学授業」にみる「学習コーチング」
722	「臨床コーチング」と評価
723	カリキュラムの全体像と概念学習の関係性
724	概念学習カリキュラム(実習)における臨床コーチングの関連づけ
725	概念学習の講義・演習・実習の展開
726	領域別特有の講義・演習の課題
727	2019年度FD取り組みのまとめ
728	シミュレーション教育講演会
729	災害教育におけるシミュレーション教育の実際
730	地域包括ケア学習会

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局員と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

C. 看護系の学部・学科、大学院主催のFD

731	教育目標共有化学習会
732	超少子高齢化での私立大学の使命
733	看護教員として実習における学生の学びを支援するとは何か
734	看護系私立大学とは
735	看護教育の変遷
736	第5次カリキュラム改正
737	指導案の作成
738	看護基礎教育における概念学習の方法
739	多職種連携教育
740	学修eポートフォリオの目的と活用
741	SOGI/LGBTとダイバーシティ セクシュアル・マイノリティに関する基礎 講演会を受けて
742	「教員評価制度に関する研修」「大学教員としての心得」
743	「異文化コミュニケーションワークショップ-日本文化の中にも存在する異なった文化間のコミュニケーション技術を学ぶ」
744	「医療人類学からみる健康や他者理解」
745	「各領域モデル図の発表とグループワーク」
746	「多様な文化の理解と看護・コミュニケーション-各国の医療事情や行われている看護について知りその国で生活する人々とのコミュニケーションの取り方、生活習慣や価値観を学ぶ①」
747	「多様な文化の理解と看護・コミュニケーション-各国の医療事情や行われている看護について知りその国で生活する人々とのコミュニケーションの取り方、生活習慣や価値観を学ぶ②」
748	各看護領域の演習内容の紹介
749	保健師教育の現状
750	各領域の看護過程を中心とした演習内容の共通理解と課題の検討
751	グローバル人材育成に向けた取り組みへの検討
752	GPS-Academicによる本学学生の傾向と今後の活用方法
753	研究倫理審査は何のため? ー倫理審査の留意事項ー

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局員と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

D. 看護系の学部・学科、大学院主催のSD

1	EMS概要について、平成30年度EMS活動報告及び令和元年度EMS目的・目標及び実施計画
2	子ども(幼児・学童)とのコミュニケーション
3	子どもと遊び ~遊びは子どもの不安や痛みを軽減する~
4	災害が発生したら ~BCPにおける初期に取るべき行動は?~
5	コマンド&コントロール ~災害時の指揮命令システムを知ろう~
6	個人情報保護のための教育研修
7	安全衛生研修会(AEDの使用に関して)
8	マインドフルネス講習会
9	教員懇談会(年8回)
10	●●大学看護学部 教育アセスメントの基礎資料 2016~2019
11	新任教職員研修
12	コンプライアンス研修
13	不審者侵入対策について~さすまた等の使い方~
14	研究者情報及びホームページの更新について
15	Office365の活用方法について Formsを活用
16	Office365の活用方法について SharePointを活用
17	研究倫理研修
18	公立大学の課題と教職協働
19	新採用教職員研修会
20	ハラスメント防止研修会
21	避難所開設支援初動対応シュミレーション研修会
22	情報セキュリティ研修会
23	入試環境に関する研修
24	ないものはない! 離島からの挑戦
25	障がい学生支援の現状と課題
26	本学建学の精神と今後の展望について(FD、SD合同開催)
27	大学認証評価説明会(FD、SD合同開催)
28	情報セキュリティの最新動向、●●市地域防災情報システムの概要、マイナンバーカードの健康保険利用の概要(FD、SD合同開催)
29	教育の内部質保証の可視化について
30	ハラスメントの防止について
31	キリスト教概論Ⅰを学ぶ
32	ロイ理論を本学に導入した経緯
33	society5.0と特色ある教育展開について
34	高等教育の修学支援新制度について
35	業務効率化のための環境整備
36	大学事務に関する研修会
37	教職員のメンタルヘルス・セルフケア
38	情報リテラシー「情報セキュリティの動向」
39	職場のハラスメント防止について
40	2030年に選ばれる大学になるために
41	コンプライアンス研修
42	大学生の特徴に合わせた支援
43	「教える人としての私を育てる」報告会
44	ワークショップ「アセスメント・ポリシーの成績評価について」
45	高い意識を持って日々業務にあたるためには
46	認証評価の結果による看護栄養学部・看護学研究科の課題の共通理解
47	「看護栄養学部における『合理的な配慮を必要とする学生』への対応」
48	第1回看護学科FD研修会—新カリキュラム3年次前期における他領域連携科目について その2(2019年8月21日開催)
49	第2回看護学科FD研修会—新カリキュラムの科目について その3—(2019年11月20日開催)
50	第1回看護学科・看護各研究科FD研修会 看護基礎教育におけるシミュレーション教育の概要とその実際(2019年7月31日開催)
51	職位別研修(管理監督職)
52	職位別研修(課員)
53	ハラスメントに関するDVD視聴による研修会(全教職員対象)
54	アカデミックハラスメントを法的側面から考える(事例から)2020.3.16 (全教職員対象)
55	大学生活スタートアップセミナー(初年次教育「自己の探究」事前体験会)
56	持続可能な大学運営について考える
57	ハラスメント防止対策研修会
58	データサイエンスについて
59	HIVについて
60	本学情報ネットワークシステムユーザーの教職員に知ってもらいたいこと

Q19. 貴大学の看護系の学部・学科、大学院のFD(ファカルティ・ディベロップメント)及びSD(スタッフ・ディベロップメント:事務局員と教員も含んだ共通の教育)の状況について伺います。2019年度内に開催されたFD及びSDの件数とテーマをご記入ください。

D. 看護系の学部・学科、大学院主催のSD

61	成績評価の可視化・成績評価基準の適切な運用に向けたルーブリック評価
62	建学の精神
63	職務規程の見直しについて
64	受験生確保について
65	低学力者支援について
66	チューター制度見直しについて
67	保健師養成コースについて
68	新カリキュラムについて
69	危機管理対策(風水害)について
70	学生のこころを理解する 一学生対応に必要な心理的配慮・学修支援について
71	入試について
72	AED講習会
73	食物アレルギーとエピペン注射
74	シラバスについて
75	ハラスメントについて
76	身近なハラスメントと対応
77	高齢者の簡易栄養状態評価表による評価結果と角質水分量との関連
78	高校生に対する家庭内性教育における保護者の意識と行動
79	看護系大学生における自己調整学習方略の実態と学年及び自己効力感、内発的価値との関連
80	特別支援学校に勤務する看護師の困難と課題
81	都市の違いが血液透析患者のQOLに与える影響
82	「寝たきり状態の在宅療養者に対する看護の実態調査」報告
83	自閉スペクトラム症(以下 ASD)のある子どもへ特性・診断名をどのように伝えるか ～母親へのインタビューから～ 学会ポスター発表 報告
84	基礎教育におけるICTを用いた在宅医療演習後レポートのテキストマイニング分析 報告
85	入学前準備教育について
86	看護学部教員対象、機関別認証評価(日本高等教育評価機構)受審について
87	認証評価と学修成果について
88	効率的な仕事の進め方
89	マナー教育について
90	業務をめぐる多様なリスクと危機管理について
91	大学運営において重要な「リーダーシップ」や「フォロワーシップ」を発揮するために必要なコミュニケーションスキルを促進する研修会
92	2019年度 大学新任教員のための研修会報告
93	(FDと同じ)一次救命処置講習会
94	(FDと同じ)第1回「ケア・スピリット」研修会 1.「ケア・スピリット」について 2.ケア・スピリット研究プロジェクト 結果報告
95	ティーチングポートフォリオ入門-教育実践のリフレクション-
96	看護教育における新カリキュラム構築の基礎
97	「moodle講習会」(基礎編)(応用編)
98	看護学部のキャリア教育
99	アカデミックリテラシーにおける学習
100	各看護領域の演習内容の紹介
101	保健師教育の現状
102	各領域の看護過程を中心とした演習内容の共通理解と課題の検討

Q20. 2019年度における貴大学の看護系の学部・学科、大学院の取り組みについて伺います。

D. GPA制度は何に活用していますか。〔当てはまるものすべてに○〕

7その他FA	
1	助産師コースの選抜
2	成績優秀者の選出、海外留学助成金制度、保健師・助産師選択者選考要件
3	学生自身による履修状況の客観的把握 卒業研究配属決定時の参考資料
4	保健師課程の配属、学生表彰
5	卒業判定
6	大学での表彰
7	保健師コース履修者選抜に利用
8	活用していない
9	表彰者の選考
10	優秀学生賞の表彰
11	授業料免除の選考、卒業時の総代等の選考
12	学生がそれぞれのニーズに応じて活用
13	学生の推薦
14	学部生が大学院授業科目を早期履修する際の基準として、GPA値を設定している。
15	卒業判定
16	学長表彰
17	2年次後期に行われる、公衆衛生看護専攻科目履修生(保健師課程)の選抜。
18	個人の学習状況の理解
19	授業料免除の選考、国の就学支援制度の選考
20	学生表彰
21	成績優秀者表彰に使用
22	授業料の減免の判定
23	教職課程(養護教諭一種免許)履修生の選考
24	授業料減額免除の選考
25	学生表彰の判断基準として活用
26	専門領域の選考
27	学生に自分の成績の位置を示す。
28	学生の表彰制度
29	保健師養成課程選択の際の審査
30	卒業・進級についての判定材料として使用している。
31	教職課程の履修条件、保健師課程の選考条件
32	学業優秀賞
33	保健師・助産師選抜試験実施時の参考
34	「養護実習」履修時の基準
35	学長表彰「GPA賞」
36	特待生選考
37	成績優秀者の表彰、授業料減免のための一基準
38	保健師・助産師課程の選抜試験対象者の選考、履修上限単位数の緩和対象者の選考
39	卒業判定、履修登録単位数の上限
40	導入はしているが具体的に活用はしていない
41	コース選考、退学勧告、就職先への推薦
42	学習到達度の目安値、CAP上限緩和、選択履修課程の出願基準および合否基準
43	成績優秀者判定、退学の勧告、教育・運営に係る検討
44	特待生選考
45	保健師課程履修者選考
46	保健師課程選抜時の基準
47	主席選定、保健師コース選抜材料
48	GPA奨励金の給付
49	保健師コース選抜
50	進学・就職の大学推薦基準
51	保健師および助産師科目履修者選考
52	卒業時、表彰者の選定(成績優秀者として)
53	成績優秀者に対する表彰制度
54	保健師課程履修者の選考、助産師課程(別科)推薦者の決定
55	国家試験対策
56	保健師選択コース、助産師選択コースの選抜試験に利用
57	保健師コース選抜
58	在籍管理(退学勧告)
59	保健師・養護教諭課程選抜の際に活用
60	保健師過程の選考 卒業時の勉学表彰選考

Q20. 2019年度における貴大学の看護系の学部・学科、大学院の取り組みについて伺います。

D. GPA制度は何に活用していますか。〔当てはまるものすべてに○〕

7その他FA	
61	卒業判定・学生表彰
62	保健師選択コースを希望する学生の選抜基準
63	卒業判定、助産師課程選考、保健師課程選考
64	現状では直接的には活用していない。
65	保健師 助産師 看護グローバル専攻 選抜要件
66	公衆衛生看護学課程履修者選抜の一時審査
67	特待生の選考／卒業判定
68	保健師課程、助産師課程の選抜試験対象者の選考、履修上限単位数の緩和対象者の選考
69	指導、注意警告、退学勧告の基準に活用
70	保健師・助産師養成課程の選考要件
71	退学勧告、保健師課程選抜試験
72	保健師養成課程の選抜
73	保健師・助産師国家試験受験資格取得学生の選考
74	選択科目履修者選考の際の一要素として
75	保健師課程履修者の選抜試験
76	教員間の成績評価基準の平準化のため
77	保健師課程履修学生の選考における出願要件
78	保健師養成課程の選考材料として
79	学長賞の選考
80	海外研修の受講
81	保健師コース選択
82	卒業時の成績優秀者表彰 保健師教育課程選抜

Q21. 貴大学には、看護関連の研修事業がありますか。[いくつでも○]

その他	
1	看護職のためのフィジカルアセスメント講座や看護カフェなど
2	看護協会が実施する実習指導者講習会の講師として事業に参加している
3	全国の看護系大学教員対象のFD
4	全国の病院等施設における看護管理者対象のSD
5	若手看護研究者セミナー
6	医療スタッフ研修センター①在宅医療推進のための看護師育成事業②看護師特定行為研修
7	教員免許状更新講習会(養護教諭)
8	特定行為研修
9	認定看護管理者は大学院博士前期課程にコース設定している
10	・病院での看護研究等への講師派遣
11	・地域のニーズと教員の研究テーマがマッチした研修
12	新人看護職員研修
13	地域連携推進センターの中で「メンタルヘルス研究会(精神看護)」「訪問看護学●●塾(在宅看護)」を実施している
14	看護実践研究指導事業
15	がん看護を推進する看護師養成研修
16	看護師特定行為研修課程
17	①●●県●●地域等訪問看護師育成講座 ②新任及び中堅保健師研修会 ③喀痰研修会 ④がんプロフェッショナル養成プランによるリカレント教育事業
18	新人職員研修、中堅職員研修
19	卒業生対象「シヤトル研修」、卒業生インストラクターによる在学生対象「卒業前スキルアップトレーニング」
20	助産学専攻科
21	特定行為研修、地域貢献事業
22	専門看護師教育課程
23	看護師特定行為研修
24	看護人材育成支援室において研修事業を実践している
25	地元ナース養成プログラム
26	キャリアアップ研修(3件)
27	1の認定看護師教育課程については、2019年度は休講
28	看護師特定行為研修
29	卒後教育(●●SIM)
30	認知症看護エキスパート養成プログラム
31	看護師特定行為研修センター
32	高度実践看護師(専門看護師)教育課程
33	看護師特定行為研修
34	産後ケア研究センター従事者研修
35	女性医療人形成センター
36	実習指導者研修会(本学独自のプログラムによる)
37	看護職、福祉(介護職)に対する継続教育、シミュレーション研修
38	看護師特定行為研修
39	地域交流センター事業(看護師・保健師向け講座、看護研究)
40	●●県実習補完事業
41	シミュレーション教育指導者研修
42	特定行為に係る看護師の研修制度(大学院修士課程で実施)
43	●●大学附属在宅ケア研究所(2019.4開設)
44	放射線看護研修センター①がん放射線看護認定看護師課程②看護教員・臨床看護師に対する放射線看護研修
45	キャリアアップ講座
46	日本私立看護系大学協会の会員校であり、その他外部の各研修に随時参加している。
47	実習教育研修会
48	「●●市看護職能力向上・定着確保研修」「新人看護職員教育プログラム」
49	実習教育会議、実習調整会議
50	特定行為教育課程
51	看護師の特定行為に係る研修
52	地域看護研究研修センター

Q22. 貴大学における、看護関連の附属施設・研究機関について伺います。

C. 財政基盤について [いくつでも○]

その他	
1	自己収入
2	寄付金
3	自己収入(受験生からの授業料、受講料)
4	附属病院の助成
5	セミナー開催に伴う収入、認定看護師教育課程受講料の収入
6	国・自治体の補助金、受託事業
7	職能団体との共同事業費
8	感染管理認定看護師教育課程の授業料等
9	自治体等による受託事業費(感染管理認定看護師フォローアップ研修、介護職員等研修)
10	学校法人の予算内
11	受講生及び研修生からの受講料助成
12	競争的基金の獲得、科研費などの研究費、有料の研修会開催
13	センター長の個人研究費
14	受講料

Q22. 貴大学における、看護関連の附属施設・研究機関について伺います。

D. 活動内容について [いくつでも○]

その他	
1	研究支援
2	1. 専門学校・短大卒業の看護師への大学院進学支援 2. 臨床判断能力・教育指導力強化のための教育プログラム開発・支援 3. 教育効果測定研究
3	学部臨地実習での連携
4	認定看護師教育課程、子育て支援事業
5	認定看護師教育課程
6	インターネットジャーナル「看護科学研究」の発行
7	看護職者の研究活動支援 等
8	受託研究、公開講座(専門職向け)、知的財産、地域からの協力依頼、その他研究推進、地域貢献関連活動
9	認定看護師教育課程
10	特定行為研修
11	感染管理認定看護師教育課程
12	小中学校の福祉体験学習受入・タウンミーティング・看護職のための研究支援・認定看護師教育課程 等
13	学生消防団活動
14	認定看護師教育課程、認定看護管理者教育課程
15	認定看護師教育課程
16	認定看護師教育課程
17	医師・歯科医師があらかじめ作成した手順書(指示)によって、特定行為を実施することができる看護師の養成
18	看護実践能力プログラム開発、卒後教育(大学院生修了者のサポート・学部卒業者の進学サポート)、臨床教育病棟の開発、本学の教育目的のサポート
19	認定看護師教育課程
20	復興支援活動(福島県いわき市に避難している浪江町民に対する健康支援事業)
21	教員のための教育スキルアップ
22	附属訪問看護リハビリステーションの運営
23	認定看護師教育課程の開講
24	自治体の政策づくりへの関与
25	研究活動、研究倫理に係るコンサルティング、公的研究費を用いた研究。
26	産後ケア
27	認定看護師教育課程, 特定行為教育課程
28	研究指導
29	JBIのImplimatation Centerを設置し、Systematic Review Rereaech研修の実施

Q23. 2019年度における貴大学の看護系の学部・学科、大学院の国際交流の状況について伺います。

H. 海外からの学生・教員の受け入れ、海外への学生・教員の派遣における大学独自の経済的支援の有無とその内容を教えてください。

	学生受け入れ	学生派遣	教員受け入れ	教員派遣
1	奨学金支給(月額3万円)	留学又は語学研修に関する支援(最大20万円)		研究の遂行を目的とした短期海外派遣にかかる旅費を支給
2	宿舍	交通費についての経済的支援を行っている		
3		●●大学会議阿派遣学生支援事業奨学金		宿泊代、旅費
4	開講20周年記念基金(Ⅲ外国人留学生奨学援助事業)奨学金	医学部●●国際交流助成金、医学部後援会、医学振興助成金事業、開講20周年記念基金(Ⅰ外国へ留学する学生援助事業Ⅱ医学部及び医学系研究科海外研究発表援助事業)奨学金	開講20周年記念基金(Ⅳ外国人研究者等招へい援助事業)渡航費、滞在費	医学部●●国際交流助成金、医学振興助成金事業、開講20周年記念基金(Ⅴ国際交流活動援助事業)渡航費
5	大学間または学部間学術交流協定を締結し、学生交流の覚書のある海外の大学に在籍する学生に、渡航費、奨学金を支援する。	長期で留学する学生に、留学先機関における授業料相当額(学費・登録料)、奨学金、往復渡航費、保険料等の経費を支援する。修士課程レベルでは、University College Londonで学ぶ学生に、ロンドンへの渡航費、滞在費、授業料等を支援する。	大学の外国人研究者宿泊施設があるが有料。	年に1～2回、若手教員が海外へ研修に行く際の渡航費・滞在費を支援する事業あり(申請者の中から各部局1名程度を选考)
6	奨学金, 授業料免除	奨学金		
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>●●大学では交換留学生に対して奨学金による支援は実施していない。</li> <li>交換留学生には、留学期間中キャンパス内にある留学生寮「●●大学国際交流会館」の単身室が用意されている。(宿泊費・光熱費は学生の個人負担)</li> <li>交換留学生の入学検定料、入学料、授業料は協定に基づき原則、不徴収。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>短期留学(派遣)奨学金:学術交流協定を締結している外国の大学へ留学する学生(交換留学)を対象とし、月額4～5万円を給付</li> <li>短期海外研修奨学金:外国の高等教育機関等で6か月未満の短期研修を行う学部学生を対象とし、1件10万円を上限に給付</li> <li>バロー・Vドラッグ 海外研修奨学金:海外の大学、研究機関及びこれに準ずる機関において単位取得又は専門の研究を行う大学院生を対象とし、授業料・登録料・渡航費(上限30万円)及び滞在費(月額8～12万円)を給付</li> <li>交換留学の留学期間が●●大学の学期を超える場合、当該学期の授業料を免除している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人研究者用の宿舍の提供</li> <li>外国人研究者の受入を行う教員への経済的支援(助成金)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本学との協定校に渡航する教員を対象にした経済的支援(助成金)</li> <li>本学若手・中堅教員の海外渡航を対象にした経済的支援(助成金)</li> </ul>
8	寄付金の活用	渡航費の一部		
9		学生の海外派遣支援として主に院生に海外学会参加の旅費を支援		
10		●●大学学生海外派遣支援事業奨励金、●●大学基金による「留学・派遣経費補助事業II」による奨学金		
11		派遣プログラムに参加する学生に対し、奨学金を6万円支給している。		

Q23. 2019年度における貴大学の看護系の学部・学科、大学院の国際交流の状況について伺います。

H. 海外からの学生・教員の受け入れ、海外への学生・教員の派遣における大学独自の経済的支援の有無とその内容を教えてください。

	学生受け入れ	学生派遣	教員受け入れ	教員派遣
12		●●大学基金による留学費援助	【外国人研究者招へい支援】旅費を支給	【ダイバーシティ事業における女性研究者派遣プログラム】・採択された女性研究者には、渡航費、滞在費を補助・採択された女性研究者が所属する部局には、非常勤講師の雇用費を補助
13		学生後援会と同窓会から一部援助あり		
14	宿泊(国際交流会館)の提供(有償)	公益財団法人●●医学国際協会の海外渡航助成事業		
15	交換留学や海外研修等に参加する本学学生に対して奨学金を支給している	●●県での就職を考えている私費留学生にインターシップの機会および奨学金を提供している		
16	宿舎	SEEDS基金により渡航費の一部補助、後援会費により留学生危機管理サービス費用の補助		
17	学費免除(条件等あり)、宿舎の提供	留学等海外へ渡航する学生を対象とした支援制度	宿舎の提供	
18	日本学生支援機構による奨学金制度、申請に基づく学費免除、留学生への宿舎提供(戸数制限あり)	学部学生・大学院学生を対象とした海外研修奨学金制度および日本学生支援機構による奨学金制度		大学のグローバル推進のための予算
19	アスパイア奨学金:期間、地域別に、専攻により、一人4-7万/月の奨学金の支給	●●大学卒業同窓会留学生支援制度 ●●交流資金による奨学金制度		
20	国際交流基金による外国人留学生奨学援助事業	国際交流基金による学生海外派遣援助事業	国際交流基金による外国人研究者招へい援助事業	国際交流基金による教職員海外派遣(短期)援助事業
21		●●大学海外留学奨学金制度		女性教員海外派遣制度、研究休職制度
22	学科長裁量経費(2名、●●大 学校(韓国)より、80,000円/ 人)	学科長裁量経費(3名、●●大 学校(韓国)へ、70,000円/ 人)		
23	借上宿舎の提供			
24	一人当たり2万円を大学運営資金より支給している。	一人当たり2万円を大学運営資金より支給している。		
25		●●大学医学部保健学科国際交流支援金		
26	●●大学受入留学生等支援金、国際交流会館	●●大学学生海外派遣支援金、●●大学医学部奨励金、●●大学後援会補助金	国際交流会館	引率経費補助、海外旅費
27	宿舎の提供(有料。抽選の場合もあり)、入学料・授業料免除(免除不可の場合もあり)、総長奨励金(学費免除・奨学金支給)、私費外国人留学生特待プログラム(学費免除・奨学金支給)	国際交流基金にて、学生の学会発表に係る旅費の一部を補助。文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」の採択構想「●●ユニバーサルキャンパス・イニシアチブ(HUCI構想)」の施策に合致する本研究の取組みによる学生交流プログラムに対して学生一人当たり25,000円を補助。		
28	留学生宿舎、授業料免除(日本人学生と同様)	●●奨学金	・交流実績を有する海外機関等の教員を対象とした渡航費等の支援 ・外国人教員・研究者向けの宿舎(有料)の整備	

Q23. 2019年度における貴大学の看護系の学部・学科、大学院の国際交流の状況について伺います。

H. 海外からの学生・教員の受け入れ、海外への学生・教員の派遣における大学独自の経済的支援の有無とその内容を教えてください。

	学生受け入れ	学生派遣	教員受け入れ	教員派遣
29	協定により、学内宿舎利用の際は、宿舎費不徴収	協定校へ派遣される学生を対象に、学内での助成金を支給。協定により、学内宿舎利用の際は、宿舎費不徴収	協定により、学内宿舎利用の際は、宿舎費不徴収	協定により、学内宿舎利用の際は、宿舎費不徴収
30		●●大学基金による学生の海外派遣等支援事業として「～はばたこう！●●から世界へ～」と称する奨学金制度がある。学生が海外留学する計画で、要件を満たし、当該年度中に開始する学生個人又は学生グループに、地域・派遣区分に応じ、3万円～15万円を支給する。募集人員は、●●大学全体で230名程度		
31		本学協定校または本学が実施する海外研修プログラムに参加する学生に対し、海外留学の費用を助成している		39歳以下の教員が海外で研究活動をする際の旅費を助成している
32	本学卒業生の寄付を財源として、グローバル人材育成や学生の国際交流支援を目的とした本学独自の奨学金制度を整備しており、交換留学生として受入れている外国人留学生への支援を行っている。	本学卒業生の寄付を財源として、グローバル人材育成や学生の国際交流支援を目的とした本学独自の奨学金制度を整備しており、交換留学生として受入れている外国人留学生への支援を行っている。	外国人研究者用の宿舎に入居可能。また間接経費を活用した学内の競争的研究資金である「戦略的研究推進経費」から旅費の支出が可能。	間接経費を勝代した学内の競争的研究資金である「戦略的研究推進経費」から旅費の支出が可能。
33		学部奨学金による補助		
34		在学中に1回、20,000円を支給		申請により海外研修に渡航・滞在費を助成
35				渡航費、滞在費、現地通信費等の支援
36	奨学金	奨学金		
37		●●医学大学に派遣する研修生に対し1人当たり25,000円を助成		
38		渡航費の負担		渡航費、研究費の助成
39		協定校への海外研修の渡航費補助		
40	学業優秀と認める者で、やむを得ない事情により授業料の納付が困難な場合には、授業料を減額または免除する制度がある。	複数の制度を実施しており、短期派遣プログラムに対してはプログラム代金の一部、長期派遣については渡航費・生活費の一部支援を行っている。	外国人招へい教員事業：外国の大学・研究機関等から優秀な外国人教員を2週間以上1ヶ月間以内招へいし、本学学生に対して英語による専門教育、セミナー等を行う。旅費・宿舎費・謝金を支給。	在外研究員派遣制度：教員の海外における長期研究活動を支援。旅費・生活費等の一部を支援。
41	奨学金、学費免除			奨学金
42		・派遣先大学において本学学生が受講する講義に対する受講料等の支援。 ・後援会より、派遣に係る経費に対する助成。		
43	留学生と日本人学生との交流推進を目的とした「●●県立大学国際交流基金」において、新規受け入れ留学生に対して、生活準備金を支給している。また、交換留学生用の宿舎を準備している。	海外語学研修、交換留学を行う学生に対し、助成金を支給している(支給要件あり)。	ゲストハウスを宿舎として提供する。	旅費および研修費用を予算の範囲内で支給する。

Q23. 2019年度における貴大学の看護系の学部・学科、大学院の国際交流の状況について伺います。

H. 海外からの学生・教員の受け入れ、海外への学生・教員の派遣における大学独自の経済的支援※の有無とその内容を教えてください。

	学生受け入れ	学生派遣	教員受け入れ	教員派遣
44	2019年度は受け入れについて大学から100万円の補助			
45				旅費、宿泊料、日当、保険料、郵便料、通信費、消耗品費、大学施設利用費
46	●●医科大学からの留学生へ、無料で借上げアパートを提供	協定大学への留学について、授業料を免除		海外大学等派遣研修生として、対象者に旅費・活動費を支給する
47	宿舍の提供、滞在費、学費免除	旅費(一部支援)	宿舍の提供、滞在費	旅費
48	「国際交流事業促進支援制度(短期)」相手国との国際親善・相互理解を深める機会を促進することを目的とし、一カ月以内の短期受入に対し、要領に定める額を支給	「国際交流事業促進支援制度(短期)」相手国との国際親善・相互理解を深める機会を促進することを目的とし、一カ月以内の短期受入に対し、要領に定める額を支給	「国際交流事業促進支援制度(短期)」相手国との国際親善・相互理解を深める機会を促進することを目的とし、一カ月以内の短期受入に対し、要領に定める額を支給	「国際交流事業促進支援制度(短期)」相手国との国際親善・相互理解を深める機会を促進することを目的とし、一カ月以内の短期受入に対し、要領に定める額を支給
49	私費留学生に対する授業料減免制度を設けている。	交換留学生には奨学金し、派遣留学生および認定留学生には授業料の一部を助成している。		
50	学部研究推進費		学部研究推進費	学部研究推進費
51		派遣留学生経済支援制度(部局短期分)		
52		渡航費用の一部を補助		
53	留学生が比較的安価な家賃で入居できる留学生宿舎を用意	海外の協定校へ派遣される学生に対して●●大学後援会より渡航費等を補助	特別研究奨励費より渡航費・滞在費等を支給	特別研究奨励費より渡航費・滞在費等を支給
54		交通費、宿泊費及び実習費の一部を助成		・代替教員なしの場合、基本給を支給 ・若手研究者国際学会発表助成事業(100千円×10/年) 看護短期研修(米国)、学術交流(中国)
55	看護短期研修	看護短期研修	学術交流(中国)	看護短期研修(米国)、学術交流(中国)
56	交換留学生の場合、学費は免除。住居の準備、生活面のサポートあり。	交換留学生は、学費が免除。本学より給付型の奨学金が付与される。		
57			JICA青年研修 母子保健管理コースの実施(対象:アフリカ英語圏より助産師など11名)	
58		短期海外派遣奨学金(1ヶ月程度 2名)		
59				国内外の大学、大学院又は公的機関に一定の期間(最長1年以内)派遣して研修に従事させ、その成果を本学の教育研究活動に還元させる滞在研修について、希望者を募集し、学長が派遣者を決定する。派遣に係る必要経費(滞在費等)について支援するもの。
60				旅費等
61	全学の留学生を対象とした経済支援制度を設置。優秀な留学生に毎年授業料の1/2～1/4の奨学金を給付	海外留学・研修に参加する学生に1.5～100万円の返還不要の経済支援		

Q23. 2019年度における貴大学の看護系の学部・学科、大学院の国際交流の状況について伺います。

H. 海外からの学生・教員の受け入れ、海外への学生・教員の派遣における大学独自の経済的支援の有無とその内容を教えてください。

	学生受け入れ	学生派遣	教員受け入れ	教員派遣
62	授業料相互免除制度:協定校との学生交流協定(覚書)により、受入留学生の授業料を免除する。	海外協定大学派遣留学奨学金:本奨学金は、「国際社会で活躍できる人材育成」という本学の使命を果たすため、学業成績が優秀で、かつ、海外協定大学派遣留学を希望する経済的に困難な学生を支援することを目的とする。		
63		学則で定められた協定に基づく留学の場合、奨学金の給付あり		
64		・学生の短期留学に係る助成金(航空運賃の一部)		・海外出張に係る旅費の交付 ・研究交流派遣に係る経費(旅費、宿泊費、日当)の全部又は一部
65		海外旅行保険掛金の負担		
66	私費外国人留学生授業料減免制度 本学に在籍する私費外国人留学生を援助するため当該年度授業料の30%が減免される。	在学留学学納金免除制度 在学留学期間中、授業料を除いた学納金を免除。ただし在学留学生のうち特に優れた者に対しては在学留学期間中の授業料の納入も免除することがある。		教育職員研修規程により、長期国外研修(6ヶ月以上1年以内)と短期国外研修(3ヶ月以上6ヶ月未満)に研修費を支給する。
67	学生寮の居住費用	・助成金の支給。・手荷物破損対応により、最終便に乗り遅れた延泊費用の負担。・新型コロナウイルス感染拡大により研修日程の変更に伴い、滞在先から現地空港までの送迎費用の負担。		医療福祉研修費(教員の研究費)による旅費負担
68		講義や施設見学等の通訳費を支援している。		
69	在留資格(留学)の学生において、経済的に困難な学生に対する授業料減免制度	ハワイ大学ヒロ校奨学留学(授業料相当額免除)1セメスター		
70	本学に在籍する外国人留学生のうち、学業、人物ともに優れ、かつ、留学生生活を続けていくために経済的援助が必要であると認められる者に対して、授業料の2分の1の額を免除する制度		協定を締結した外国の大学から教員を受け入れる際は、覚書に基づき、滞在費用を負担する。	外国の大学等との学術交流協定等の規定に基づき、協定等締結校に職員を派遣する場合は派遣手当を支給する
71	交換留学においては本学の授業料を免除	交換留学においては留学先大学の授業料を免除		
72	宿泊費	交通費、海外留学奨学金		
73	授業料(年間)の40%を免除	語学研修費用の補助(補助額は派遣先によって異なる)		
74		本学が許可した研修プログラムに対して費用の4分の3(上限20万円)を補助する(在学中1回限り)。		
75		●●記念●●大学看護医療学部研究奨励基金:1件につき10万円から50万円の範囲で支給し、旅費・滞在費をはじめとする学習・研究活動に必要な経費に使用する。		

Q23. 2019年度における貴大学の看護系の学部・学科、大学院の国際交流の状況について伺います。

H. 海外からの学生・教員の受け入れ、海外への学生・教員の派遣における大学独自の経済的支援の有無とその内容を教えてください。

	学生受け入れ	学生派遣	教員受け入れ	教員派遣
76	●●奨学金制度（主にアジアの途上国のための奨学金制度。授業料、住居費、生活費を支給）			
77		教育後援会(保護者会)からの費用支援		
78		大学の国際交流プログラムで一人あたり10万円を上限に8名まで補助金を支給		海外出張補助として一人あたり10万円を上限に10名まで補助金を支給
79	外国人留学生に対する授業料減免制度	海外での留学・研修・研究発表等に関する育成推進奨学金制度		研究を目的とした教員の海外派遣に関する旅費補助
80		指定校入試の入学者で所定の条件を満たした学生への補助		
81	奨学金を支給している。宿舍を無償提供している。	奨学金を支給している。	宿舍を無償提供している。	給与相当額の一部を支給している。
82	正規課程の私費外国人留学生を対象とした授業料減免制度あり。本人の申請により、審査を経て採用されると年間授業料50%免除。毎年申請可。	留学を開始する前年度GPAが3.0以上の学生を対象にした学納金減免制度あり。留学期間中の本学の授業料は75%、実験実習料と施設充実費は100%免除。		
83	宿舍提供	現地交通費支援(移動時の車両料金負担など)	宿舍提供	現地交通費支援(移動時の車両料金負担など)
84	私費外国人留学生への授業料減免			
85	学生の受入・派遣に合わせて、年間3,000万円程度、寄付金を財源とする学生国際奨学金制度を整え、海外渡航に係る経済的負担をサポートしています。		同窓会からの寄付を財源として、年間150万円程度、(1)教員の海外研修のため、(2)海外からの大学の教授および看護専門職者の招聘のため、費用援助をしております。	
86		費用の半額を大学が援助		渡航費、宿泊費は大学が援助
87		長期：海外派遣留学奨学金、海外長期研究奨学金。短期：海外短期研修奨学金、大学院進学者短期研修奨学金		海外研究員、サバティカル制度
88	「●●大学私費外国人留学生授業料減免制度」 ●●大学に在籍する私費外国人留学生の授業料の一部を減免し、経済的負担を軽減することにより、修学の援助をすることを目的とする制度。	「短期留学生奨学金貸付制度」 留学プログラムに参加する学生に50万円を上限として貸付を行うことを目的とする制度。		
89		学部学科海外研修補助金		学科予算
90	渡航費、宿舍提供	渡航費、宿舍提供		
91	交換留学生の宿泊代	交換留学生の宿泊代	引率教員の宿泊代	旅費・宿舍代
92		●●記念基金奨学金より、支出される。		
93	受け入れ期間の学費、宿泊費、屋食代、交通費(市内移動)全学負担	旅費の一部補助	受け入れ期間の宿泊費全学負担	派遣に係る経費負担
94	日本滞在にかかる交通費および屋食費用を大学負担とした(朝・夕食はホームステイ先から提供)。		夕食費用を大学負担とした。	

Q23. 2019年度における貴大学の看護系の学部・学科、大学院の国際交流の状況について伺います。

H. 海外からの学生・教員の受け入れ、海外への学生・教員の派遣における大学独自の経済的支援※の有無とその内容を教えてください。

	学生受け入れ	学生派遣	教員受け入れ	教員派遣
95	交流協定提携校の学生を受け入れた際は、平日の昼食代、宿泊代を本学が負担する。	アジア、オセアニアに研修等で渡航した場合は30,000円までの渡航費の補助 ヨーロッパ、北アメリカ、南アメリカ、アフリカに研修等で渡航した場合は50,000円までの渡航費の補助 (ただし、スイス連邦の国際交流提携校に派遣した場合、条件を満たせば200,000円までの渡航費の補助となる)		
96		派遣学生に対し、一人当たり2万円の支援金を給付		
97		学生の海外留学研修の促進の一環として補助金(15,000円)を支給している。		
98	タイ国コンケン大学の短期留学	タイ国コンケン大学の短期留学 ベトナムハノイ医科大学の学生:入学前に日本語教育、住宅支援、アルバイト(附属病院)を行っている。		
99	(協定により)一部協定校に宿舍を提供	後援会より補助金を支給		海外研修引率の教員に滞在中の旅費交通費を支給
100	奨学金制度(成績優秀者、家計急変)、学費減免などの制度あり	長期留学時の学費減免や、短期・長期留学共に奨学金制度あり		
101	宿舍の提供	「医学教育海外交流基金奨学金」支援	宿舍の提供	旅費の支給
102		特定の入学試験で合格・入学し、かつ入学後一定の成績を満たす学生に対し、海外研修費用の一部または全学を給付(金額上限あり)		
103	学納金を正規性より低く設定している。	往復の航空運賃を支給することがある。		
104				在外研究員制度
105				年に2回申請できる特別研究費を活用できる。
106	経済的に就学困難な私費外国人留学生を対象に本学の規程に基づき、審査のうえ授業料を減免している。	留学期間に応じて、奨学金の給付および授業料と施設設備費の減免措置を講じている。		
107	奨学金、学費免除			
108	外国人留学生修学支援奨学金:年間1人につき20万円、年回に分けて給付	留学生貸与金:長期留学する者には上限1,000,000円を、短期留学する者には上限250,000円を貸与する 長期留学生給付金:別途選考基準により50万円を上限として給付する	交換教授:受け入れ期間中の給与、健康保険代、研究費、交通費の支給及び住居の無償提供	交換教授:派遣期間中の給与、渡航費、海外旅行保険代、研究費(準備金等)の支給
109		・長期語学留学奨学金制度:1年の留学期間で30万円の補助 ・中期語学留学奨学金制度:半年の留学期間で20万円の補助 ・短期語学留学奨学金制度:1か月の留学期間で15万円の補助		

Q23. 2019年度における貴大学の看護系の学部・学科、大学院の国際交流の状況について伺います。

H. 海外からの学生・教員の受け入れ、海外への学生・教員の派遣における大学独自の経済的支援※の有無とその内容を教えてください。

	学生受け入れ	学生派遣	教員受け入れ	教員派遣
110	研修にかかる諸費用は、受け入れ側の大学負担			出張扱いとして、交通費・宿泊費・日当等諸費用を全額大学負担
111				教員の短期海外派遣の費用については、大学の特別研究費で負担している。
112	研修期間中の昼食代等生活費の一部、研修に際して移動が要する場合の交通費		●●国際医学医療交流センター海外交流支援(奨学金)制度	●●国際医学医療交流センター海外交流支援(奨学金)制度
113	交換留学協定による受入交換留学生生活援助費(奨学金)など	海外留学奨励費(奨学金)、各種篤志家奨学金など	短期教員交換協定を締結している大学からの受入教員への支援(宿舍提供) 海外招聘客員教員受入制度による招聘教員への支援(渡航費、生活費、等)	短期教員交換協定を締結している大学への派遣教員への支援(渡航費)
114	私費外国人留学生在が経済的理由により修学が困難となった場合、選考基準に基づき、授業料の30%を減免するもの			
115	全体費用の一部負担	全体費用の一部負担	全体費用の一部負担	全体費用の一部負担
116	国際交流奨学金、授業料免除	国際交流奨学金、授業料免除、往復渡航費支給		
117	奨学金など	奨学金など	宿舍の提供など	滞在費など
118	「●●大学私費外国人留学生授業料減免制度」 ●●大学に在籍する私費外国人留学生の授業料の一部を減免し、経済的負担を軽減することにより、修学の援助をすることを目的とする制度。	「短期留学生奨学金貸付制度」 留学プログラムに参加する学生に50万円を上限として貸付を行うことを目的とする制度。		
119		海外演習時に添乗員経費及びその他の雑費を教育予算より支出		海外大学視察時に大学予算から出張費を支出
120	学費減免	海外留学奨励費		
121		学科独自の学生短期海外研修については、旅費及び滞在費を一部補助。	研究に要する経費、滞在費及び旅費の全部又は一部を支給。「(客員研究員受入規程)」	旅費及び滞在費を一部補助。「(海外研修員規程)」を適用
122				教員海外研究活動の出張規定があり、経費の一部を支援している。
123	国際交流協定校からの受入学生については、授業料を免除する制度がある。	国際交流協定校への派遣学生については、授業料を免除する制度がある。	国際交流協定校からの受入については、宿泊費、食事2食、宿舍から大学までの交通費を免除する制度がある。(3ヵ月未満の場合)	国際交流協定校への派遣については、宿泊費、食事2食、宿舍から大学までの交通費を免除する制度がある。(3ヵ月未満の場合)
124	宿舍の提供	英語技能検定2級またはこれに準ずるものに奨励金を支給		
125		●●大学留学支援奨励金規程に基づいて、奨励金の給付を行う。		
126	経済的理由により修学が困難であると認められた私費外国人留学生を対象に授業料減免をおこなっている。			旅費等の経費について、一部又は全部を大学で負担
127	●●奨学金	●●奨学金		
128	翻訳等のアルバイトによる経済支援			

Q23. 2019年度における貴大学の看護系の学部・学科、大学院の国際交流の状況について伺います。

H. 海外からの学生・教員の受け入れ、海外への学生・教員の派遣における大学独自の経済的支援※の有無とその内容を教えてください。

	学生受け入れ	学生派遣	教員受け入れ	教員派遣
129	学費減免・留学生寮の提供	奨学金(授業料の一部)、航空運賃一部補助(成績上位者のみ)		
130	授業料は半額免除 本学の留学生別科から入学した場合の入学金は免除。また、別科に1学期のみ在籍し、大学へ入学するものについては、入学金を100,000円減額する。			
131	132 宿舎、移動のための車両借入 留学生の学費減免制度	宿舎、移動のための車両借入	宿舎、移動のための車両借入	宿舎、移動のための車両借入
133		海外研修生には期間に応じて大学が助成金を給付することがある。		学術研究及び教育の充実・向上を期する目的で、40歳以下の教員が外国において研究に従事する場合、留学(研修を含む)先から給与が支給されない者に対し留学費用を助成する。
134	授業料減免制度、●●奨学金、温故知新奨学金	●●大学奨学金留学、協定校派遣留学	教員交流協定に基づく助成	海外研究員派遣制度
135	授業支援を行った留学生に対する謝金	成績の優秀な学生への留学支援金		
136	日本語能力に応じた学費減免			
137	姉妹校に宿泊施設があり、本学部生が利用できる大学の学生が本学に来た際は、大学負担で宿泊施設を準備する。	留学支援奨学制度を設け、海外臨地実習を履修するにあたり家庭事情により経済的支援を必要とする学生対象に募集を行う	国際看護研究所を開設し、大学からの予算を確保している。主に姉妹校からの受け入れ時には予算を決めて文化交流などを行っている。	国際看護研究所の予算を使用して、教員がJBI本部の国際会議や欧米諸国との国際看護研修集会に参加する際は、1人当たり平均10万程度補助をしている。
138	外国人留学生授業料減免制度		国際交流費支給制度(往復の航空運賃のみ)	

Q24. 2019年度における貴大学のハラスメント防止、コンプライアンスの推進への取り組みについてお伺いします。

C. 看護系の学部・学科において、発生したハラスメント事例に該当するものを選択してください。[いくつでも○]

その他	
1	詳細はハラスメントセンター内で情報管理される。
2	非公開
3	ケア対象者から学生へのハラスメント
4	HP窓口への相談のため、詳細は不明。
5	患者から学生へのハラスメント
6	発生の有無や内容について、原則非公開となっている。

Q25. 2019年度における貴大学の学修支援等についてお伺いします。

C. 大学入学前教育の対象者についてお答えください。[いくつでも○]

その他	
1	一般入試合格者のうち生物4単位を履修していない者
2	高等学校において「生物」を未習の入学予定者
3	社会人等特別選抜入学予定者
4	指定校推薦入試、特色入試(専願制)からの入学者
5	推薦入学予定者のうち、希望者のみ受講
6	一般入試(後期)入学予定者を除く入学予定者
7	併設校からの入学予定者
8	同窓生子女入学予定者
9	複数のプログラムを用意しており、プログラムごとに対象者が異なる。
10	指定校推薦入試の入学予定者対象
11	社会人
12	社会人入試
13	一般入試以外での入学者
14	社会人入学予定者
15	教育提携校入学試験による入学予定者
16	AO入学予定者(AOⅣ期入学予定者)
17	一般入試前期における入学予定者
18	看護学部特別選抜
19	全入学生対象としているが、受講は任意である。
20	希望者

Q25. 2019年度における貴大学の学修支援等についてお伺いします。

D. 学習形態についてお答えください。〔いくつでも○〕

その他	
1	大学入試センター試験を受験し、自己採点結果を提出
2	理科系科目の学習手引きとして参考となる書物を紹介し、化学・生物学を中心に学習に取り組むことを薦めている。
3	スクーリング1回実施
4	外部委託プログラム
5	DVD学習
6	学外にてDVDもしくはテキスト学習後、課題提出や確認テストを実施
7	併設校からの進学予定者には、課題図書3冊(レポート提出)の他に予備校作成のアプリを使用可を認めている
8	「生物」「化学」の復習として、高校教科書や教科書に準じる参考書を用いて自主学習
9	普通救命講習会の受講
10	DVDとテキストにより学習し、定められた期限までに確認テストを郵送で提出する。
11	事前事後のテストによる効果測定
12	スクーリング
13	業者委託による通信教育
14	DVD講座の受講。
15	DVDによる講座受講
16	DVD講座(任意で受講)
17	学校推薦型選抜・社会人選抜は課題アリ提出アリ。一般選抜・共通テスト利用選抜は課題アリ提出ナシ。
18	看護に特化したテキスト教材
19	英語テスト
20	業者の学力テスト
21	DVD

Q25. 2019年度における貴大学の学修支援等についてお伺いします。

F. 費用負担についてお答えください。〔1つだけ○〕

その他	
1	特別に費用は発生しない
2	特に費用は発生していない。
3	費用負担は発生しない
4	費用は発生しない
5	負担なし
6	一部教材(1,300円程度)自己負担
7	費用は発生しない。
8	希望者のみ全額自己負担にて実施
9	費用負担の按分は特に設定していないが、課題の設定・評価については教員が行い、成果物の作成・提出については入学予定者の個々が負担する。
10	全学部共通で実施しているものは全額大学負担。これに加えて別途看護学習準備教育を案内し希望者が全額自己負担で受講している。

Q26. 2019年度における貴大学の実習施設等との教育連携についてお伺いします。

B. よろしければ支援の内容等について、具体的にご記入ください。

1	附属病院の新人研修。実習指導者研修会講師(附属病院)。
2	研修会の講師派遣
3	臨床実習指導者に対し、実習指導のあり方や現代学生の特質などに関する研修を年に2回実施
4	・附属病院看護部とのユニフィケーション活動として、実習指導検討会を定期開催 ・●●県等の新任保健師研修への支援 ・実習指導者研修(3回/年)
5	大学病院における新人看護師を対象とした新人研修の支援を行っている。
6	大学病院へは看護師研修会の講師として教員を派遣している。また、大学病院の方からは、看護技術演習の講義には、臨床3年目を過ぎた看護師に演習に来てもらい支援を得ている。
7	実習施設である医学部附属病院の臨床実習指導者の育成を毎年実習前に6回コースの実習指導者研修を看護部と協働で実施している。内容は、1.実習指導の原理と学生の理解、2.学習環境の整備と看護学実習における教授案、3.実習指導の評価、4.在宅を見据えた実習指導方法、5-6.実習指導の方法
8	大学病院看護部主催講習会での講義実施
9	研修会の講師
10	・臨床実習指導者研修の講師として講義を行っている。 ・研究に関する講義や、実際に研究指導等を行っている。
11	研究指導
12	看護学研究科・医学部附属病院看護部連絡会議において、技術研究支援、教育プログラム企画アドバイス、研修講師等の取り組みを企画・実施している。
13	・臨床実習指導者研修 ・看護師研修 ・セクションリーダーの研修講師
14	新人研修、臨床実習指導者研修の講師となる。
15	・大学病院の実施している教育担当者の研修の一環として、大学の教育機関で、担当者を受け入れて学部教育に関わっている。授業の担当、演習、実習の補助をしながら、指導教員から指導を受けている。 ・●●県新任保健師研修については、企画・実施まで現場の方と一緒に担当している。
16	大学院の教育学関連の科目の聴講
17	大学病院看護部(看護部長、副看護部長、実習指導担当部長等)と看護学専攻教員(3人)が、1回/月の定例会議を行い、実習指導や指導者研修会等について協議している。指導者研修会や看護部の研究指導について看護学専攻教員が講師等を務めている。
18	講習会の講師等を担当
19	●●市保健師新任者および指導者研修、●●県内市町村等新任保健師研修・指導者研修・リーダー研修、●●県●●保健所管内保健師業務研究会、●●県●●保健所管内保健師業務研究会
20	臨地実習指導者会議の開催、倫理研修
21	実習病院における看護師の卒後研修での事例検討会に大学から助言者として出席している。
22	①臨床での看護研究支援 ②現任教育研修会
23	看護学実習指導者研修の企画会議の委員を引き受けています。また、その講師も多くの教員が引き受けています。また県や市町村保健師の研修(新任期、中堅期、管理期)の企画や研修講師を引き受けています。
24	実地指導者、教育担当者、研修担当者など新人指導に関わる看護職を対象として、新人看護職員指導のための知識、技術を学ぶことを目的とした新人看護職員研修事業を行っている。
25	関係機関と連携し保健師新人教育研修・プリセプター・リーダー・スキルアップ研修について企画・実施・評価まで担当。臨地実習指導者研修会の企画・運営・講師の実施
26	臨床実習指導者の研修計4回及び指導案作成を県立病院に実施。
27	臨床講師、臨床教授等の称号付与
28	看護研究の支援
29	●●県保健師助産師看護師実習指導者講習会の講師を担当している。
30	大学組織としての体制はないが、科目担当者としてあるいは教員個人として施設での研修講師や院内研究会講評などを担当している。大学の付置機関である実践教育センターで現任教育を実施しており、そこでの講師を兼任している。
31	県内の主な実習施設の管理者と新任者の定着及び人材育成に関する意見交換を行い、職場定着支援及び看護実践能力の育成支援に努めた。
32	OSCEの支援、看護研究の支援
33	・臨床教授等の実習指導者を対象にした指導に関する研修会 ・病院の新人研修など新人に対する指導に関する支援
34	臨床実習指導者の研修参加費用を助成している(1人/年)。
35	看護協会から依頼を受け、新人看護師研修(フィジカルアセスメント)を年1回実施している
36	1施設と大学との包括的連携事業で、複数の病棟で新人看護師や中堅看護師対象の1時間程度のシミュレーション勉強会の企画と運営支援を、6回/年程度行った。新人看護師研修実地指導者リーダー研修への支援、新人看護師研修への講師派遣を行った。
37	年1回、臨地実習教育協議会開催。小児看護学領域では、全教員で主要な実習施設において、こどもセルフケア看護推進協議会を共同で実施。看護師への教育、事例検討カンファレンスの実施、理論を取り入れた電子カルテシステムへの変更、記録プロセス監査表の作成、記録監査の実施など、活動の成果の共有・評価を実施。成人看護学領域では、実習指導や後進育成の能力を向上させる目的でEducation Nurse研修を看護部とコラボして企画・運営。
38	講師派遣

Q26. 2019年度における貴大学の実習施設等との教育連携についてお伺いします。

B. よろしければ支援の内容等について、具体的にご記入ください。

39	実習先施設との連携協定に基づき、研修等を実施
40	看護研究の講義と研究指導、新人研修における臨床判断能力向上(フィジカルアセスメント)、リーダー研修における看護研究の講義・演習、研究指導、問題解決技法の講義、看護倫理研修等
41	研修会、院内研究指導等
42	新人・中堅看護師の現任教育への参画、附属病院の看護師研修にて講義を実施している。
43	大学附属病院(実習施設)の入職2年目の看護師を対象としたヘルスアセスメント研修の講師 附属病院所属部署の看護職員・学生への教育指導および実習指導者研修の企画・運営を役割とする上級指導者育成プログラム(1年間のプログラム、年間5名程度)への協力と支援
44	医療機関や行政機関における新採用看護師(保健師)研修会のプログラム作成支援と講師の受託
45	臨床実習指導者研修に教員を派遣
46	学内の教員と臨地実習指導者の合同の研修会を開催している
47	施設の課題・ニーズに対応した講師派遣 実習指導の連携・方法に関する教授
48	共同研究の実施、学術集会の合同企画運営
49	・附属病院における新人看護職員研修及び継続教育研修の一部にファシリテーターとして教員が参加 ・附属病院実習指導者とのワーキング活動の実施
50	実習施設が企画する臨床指導者研修会にメンバーとして参加したり、教員が教育講演を行ったりしている
51	看護学科主催の臨地実習施設連絡会議を開催し、研修を通じて指導者間の交流の場としている。また、教員と指導者との連携の場とし、実習環境の調整および大学と実習施設の双方向による質の向上に努めている。
52	実習指導者養成研修の企画～運営スケジュールの検討について協議し、講師派遣を行った。
53	基礎看護学実習、領域別看護学実習等における実習説明会・報告会の場を活用し、実習受け入れ施設の実習担当者とともに、学生指導の課題、方法等についての検討を行っている。
54	大学病院が実施している臨床実習指導者研修の講師を派遣している。
55	講義に出向く、指導マニュアルの作成に協力する。
56	実習施設で開催されている院内看護研究の講師や保健所等で実施される保健師等研修会の講師として教員を派遣している。
57	看護研究指導等を行っている
58	●●県からの委託事業として「実習指導者研修会」を実施。
59	看護研究への支援
60	研究支援(老年I)、大学における看護学教育の現在、精神看護学実習について(目的、スケジュール、実習方法)、活用する理論と看護過程、認知行動理論を活用した援助技法、プロセスレコードとカンファレンスについて、病院・病棟オリエンテーションの方法について(精神)、組織での教育内容や研修計画の相談及び講師の選定など(小児)、新人看護師研修・看護師研修・研究の支援(成人)
61	実習施設である●●市立病院や●●病院と「教育研究に関する包括協定」を締結し、本学教員と実習指導者との間で、臨床教育合同研修会の実施、看護の室向上を目的とした継続教育に関する取組を実施している。
62	臨床実習指導者研修(講義・ワーク)を支援している。
63	・実習指導者研修会開催時講師を担う。 ・年に一度、教員と主任全員で集合学習を支援している。 ・臨床指導者と情報交換する。
64	臨床実習指導者研修
65	病棟で看護師および学生の教育的役割を担う臨床指導ナースの育成プログラムにおける講義、演習を学部教員が担当している。 ・指導者講習会を開催し、講師として支援している。
66	・附属病院4年目看護職対象の看護研究講義 ・卒後2年目の看護師に対して「看護理論を看護過程に活かす」というテーマで講義 ・コーチングの研修
67	大学グループ病院の実習指導者の研修会講師を担当している
68	院内看護管理者コース、実習指導者研修
69	大学が看護師との人事交流を行い、新人看護師研修を実施。 臨地実習指導者に対して、実習運営委員長(大学教育)が講義を実施。
70	本学看護学部の教育の理念を踏まえつつ、臨地実習の場において臨地実習指導者との協力により一貫した指導を提供できることを目的として「臨地実習指導者研修会」を年1回(2日間)実施している。
71	実習指導者研修会(年1回)および臨地実習指導者研修会(年3回)を実施しており、指導体制および協力体制の強化を図っている。
72	実習施設と大学がグループ法人であり、看護実践・教育に対する基本理念を等しくしていることより、実習施設で行われている現任教育の一部を大学教員が担っている。臨床実習指導者研修においては、本学「臨床看護実践学」「スキルラボ臨床レベル3」(オスキー)に参加することにより学部教育の理解に繋がっている。また、新人看護師研修については、大学の演習室を定期的に開放し、本学教員による看護技術支援と共に卒業生のメンタルフォローを実施している。更に、臨床と大学の協働による看護基礎教育における最適な臨床教育/学修環境と学修モデル構築を平成29年度より施設側(看護部)と検討を開始し、令和元年度に2病棟を教育モデル病棟に指定し、今後も教育モデル病棟を増やしていくことを目標に、臨床看護教授や臨床看護講師を付与した実習指導者を中心に実習指導体制を構築中である。
73	FNFP(フューチャー・ナース・ファカルティ育成プログラム)を実施している。このプログラムは、研究力に優れた研究教育者と、実践力に優れたクリニカル・ナース・エデュケーター(CNE)を育成し、両者の協働により、質の高い看護系大学教育を目指すものである。
74	FD研修

Q26. 2019年度における貴大学の実習施設等との教育連携についてお伺いします。

B. よろしければ支援の内容等について、具体的にご記入ください。

75	「看護セミナー」と称する教育セミナーを、年間2～3回程度開催し、主に実習先の看護職者に案内を発送している。(受講料・聴講料は無料)
76	臨地実習指導者研修
77	院内の看護研究の基礎講義および研究指導
78	9月中旬～12月中旬、40名対象。240時間以上の講義・演習・実習指導場面見学を実施している。
79	女性医療人キャリア形成センターにおいて、自己学習支援プロジェクト、キャリア/メンタルヘルス相談プロジェクト、変革推進力育成プロジェクト、働き方支援プロジェクトなどを行っている。
80	看護キャリア支援センターによるキャリア支援
81	臨地実習指導者研修会
82	院内研修への講師派遣
83	施設での新人研修にあたり、当大学の研修施設(メディカルシミュレーションユニット)を使用されている。 上記研修の内容や実施について、相談にあっている。
84	病院の指導者を臨地実習指導者講習会に参加できるようにしている。 大学病院と大学の合同教育担当者会議を定期的で開催し、話し合いの場としている。 ・臨床実習指導者研修 ・研究研修
85	・重症心身障害児者施設の看護職を対象とした障害児看護に関する研修 ・看護管理者との定期的な学習会
86	定期的に教員と指導者合同の研修会を実施している。
87	看護師への教育指導
88	2019年度●●県実習指導者講習会に教員5名を講師として派遣した。
89	臨地実習指導者会議を開催し、実習施設との連携を図り、臨地実習における効果的な学生指導及び教育方法について話し合い 実習指導に活かしている。
90	教室・実習室・シミュレーターの使用等、研修環境の提供、講師の派遣。
91	看護研究指導や介護職員研修
92	ラダー(看護研究)支援
93	本学のシミュレーション教育センターを活用し、新人看護師のシミュレーション研修を実施している。
94	大学から講師を派遣している。
95	一部の施設での新人看護師研修へ教員等を派遣している
96	学内:FD研修、臨床実習指導者との合同研修 学外:実習病院等における看護師研修講師 ・実習指導に関する研修会 ・看護理論と看護過程に関する研修会
97	・実習指導に関する研修会 ・看護理論と看護過程に関する研修会
98	実習室や機材の貸し出し、講師派遣
99	・実習施設の院内研究(新人実習指導者研修会)において講師として協力している。 ・毎年1回(9月)に全領域対象の臨地実習指導者研修会を実施している。
100	看護部主催の研修会に講師として派遣。年1回、看護師を対象とした人材育成セミナーを開催。
101	連携・実習施設等への講師派遣 実習指導者会議を使った指導者研修
102	院内の看護研究に対する研究指導
103	施設の看護研究指導
104	看護師を対象とした意思決定支援の研修会に、教員が講師として行っている。
105	●●県実習指導者講習会
106	臨床実習指導者研修会を行った。
107	保育園の園長、看護師に対しての技術教育。講演を行っている。 ・新人看護師研修に使用する備品の貸与 ・実習指導者への事例検討へのコメンテーター
108	施設利用(附置図書館)および施設貸し出し(スキルスラボ)
109	指導者連絡会での講義
110	保健所管内保健師研修講師を担当している。
111	看護研究の指導に講師を派遣。
112	臨床実習指導者研修の講義担当
113	熟練者と看護管理者にも対応できるプログラム(年間計画)を作成
114	臨床実習指導者研修会の開催
115	本学教員が実習施設看護師の研究指導を行っている
116	新人看護師研修、シミュレーション研修時の実習室及び備品の貸与
117	看護研究、倫理に関する研究の支援 実習施設等の研修会への講師派遣
118	講義を演習に教員が参加している
119	臨床実習指導者研修コースの講師、ファシリテーターとして、コースプログラムを支援
120	院内研修講師
121	実習指導者講習会の開項
122	研修会の参加について、参加してもらいやすいように推薦等した。
123	看護師を対象とした研修会の講師を教員が行っている。

Q26. 2019年度における貴大学の実習施設等との教育連携についてお伺いします。

B. よろしければ支援の内容等について、具体的にご記入ください。

124	認定看護管理者研修と研究指導について、実習施設からの依頼を受けて講師を派遣している。
125	大学教育課程と実習指導のあり方
126	研究指導 講演
127	研修部において、「看護研究」、「院内教育」、「フィジカルアセスメント研修」、「看護における倫理的課題と解決の方法」等、計11コースを実施した。また、実習施設の実習指導者等を対象として保健師助産師看護師実習指導者講習会を開催し、臨床系の教員の殆どが担当講師として役割を担った。
128	看護倫理、看護診断の基礎、看護学生指導者の役割
129	実習施設からの依頼により、新人研修や看護研究の指導などは積極的に学部全体の方針として実施している。
130	年2回(5月・9月)に実習施設の担当者を対象とした研修会を実施している

Q26. 2019年度における貴大学の実習施設等との教育連携についてお伺いします。

D. よろしければ制度・取り組みの内容等について、具体的にご記入ください。

1	●●大学医学部看護ユニフィケーションシステム推進委員会を組織し、定期的に看護部と看護学科で会議を開催している。 ・看護職キャリア支援センターを開設し、附属病院の人材育成、地域貢献事業の企画・実施・評価及び臨床研究支援を行っている。
2	大学病院のキャリアアップ教育者コースでは、保健学科との人事交流として、3年間助教として勤務しながら、修士課程に進学し、修士を修得する。1名在籍中。
3	年に1回、臨地実習施設の指導者との指導者会議を開催し、交流を図っています。
4	ダブル・アポイント制度
5	病院の看護師が大学の演習科目へ参加。大学の講義を病棟スタッフや看護管理者が実施
6	基礎看護学の技術演習に実習指導者が参加する
7	・学内の演習に、実習施設の看護師に何名か入ってもらっている。 ・病院にある看護臨床教育センターを通して、看護教員が臨床勤務をしたり、看護師が学内での授業で演習などを行っている。
8	附属病院の看護師を特命助手として研究科へ配置している。
9	・実習施設の指導者による講義・演習 ・実習施設における研究の支援
10	大学病院看護部との交流により、大学病院の看護師を社会人入試により大学院生として受け入れている。
11	学部の実習指導、臨床指導者による講義、人事交流
12	定期的に委員会を開催し、他の案件とともに人事交流も含め、常々検討している。
13	県立精神科病院の看護師を精神看護学実習の非常勤講師として、学生の指導を依頼している。
14	臨床教授制度：大学病院から看護師を看護教員として派遣される。
15	連携推進室を設置し、病院の看護師が教員として異動
16	看護学科と附属病院看護部との人事交流を基盤として、看護学科教員が病院で専門領域に係る実践研修を実施することにより教育に必要な看護実践能力、マネジメント能力、実践に貢献する研究能力を高め、また、看護師が看護学科で教育及び実習指導を行う教育実践研修を実施することにより教育力を高めるシステムを確立することを目的としている。
17	ユニフィケーション対象施設と各教員の専門領域で取り組みが実施されている。2019年度はがん看護に関連する支援とリンパ浮腫ケアの外来における実践である。
18	附属病院の管理・教育担当者を大学職員が兼務(看護管理支援監、教育担当副看護部長)。病院や看護部の委員会活動に大学教員がメンバーとして参加。
19	附属病院看護部から教育・研究を行う臨床特任講師として受け入れている。
20	県立病院から大学に講師として出向(2年)、大学から臨床への長期研修制度(6ヵ月～1年)がある。
21	大学としての制度はないが、実習施設の看護師に大学での演習科目のチューターや演習指導などへの参加を依頼している。
22	大学所在地の自治体から保健師を2年ごとの交代で助手として派遣してもらっている。 包括連携事業の一環として、次のような取り組みをした。
23	①基礎教育・継続教育・大学院教育における相互協力(ナーシングカフェ、教員によるキャリア・サポート研修、シミュレーション教育学習会、看護師研修への講師派遣) ②教員によるコンサルテーションの実施(QCサークル、マネジメントリフレクション) ③臨床実践能力および実践モデル等の開発・検証に関する共同研究 ④県民・市民の健康づくりに資する活動の共同開催(赤ちゃん同窓会の企画・運営への教員、学生の参加)
24	学内講義や演習において、施設等の職員を特別講師として参加いただいている。 また、実習病院を定年退職後、再任用職員が大学職員として異動(保健室・キャリア支援室)
25	実習教育協議会を設立して、臨床実習充実のため交流会や各種企画運営を行っている
26	研修会、研究指導等
27	実習施設の看護師を演習指導者として委嘱している。
28	附属病院看護部との間で人事交流の制度がある。
29	医療機関の職員が研修生として約7か月にわたり大学に籍を置き、講義・学内演習や実習における指導に参加している。
30	教育と現場の交流促進及び看護・教育の実践力向上を目的に、県病院局と人事交流を行っている。
31	医療者が授業の非常勤講師、特別講師として講義を担当。教員が病院の研修会講師。院内での研修実施。
32	附属病院との間で人事交流を実施
33	主たる臨地実習病院と基本協定をむずびユニフィケーション事業を展開している。人事相互交流として、看護教員の臨地での研修及び、看護師の看護基礎教育への参画、相互に行う学習会及び研修会の企画・運営を行った。給与システムの違いから、人事交流は行えていない。
34	実習が円滑に進むように、年度の実習開始前に各担当教員が病棟での研修を兼ねて、スタッフ間との調整をはかっている。
35	大学病院看護師に看護学部の講義・実習の講師を依頼している。 また、看護学部教員がリカレント教育、実習教育支援、看護研究支援などを行っている。
36	臨地実習前の学生の実践能力の評価と支援 卒業前の学生の実践能力の評価と支援
37	実技演習に実習病棟の看護師に指導者として加わってもらい、臨床の視点からの助言・指導を得ている。2019年度は成人、老年、小児で行った。
38	本学大学病院からの派遣による教員受入。
39	看護研究指導、倫理審査委員、演習補助(精神)
40	本学教員身分としての出向受け入れ
41	学部教員を医学部における兼任教員と位置づけ、大学病院内で臨床活動に参画している。
42	就職した卒業生との交流会

Q26. 2019年度における貴大学の実習施設等との教育連携についてお伺いします。

D. よろしければ制度・取り組みの内容等について、具体的にご記入ください。

43	H30年度より、看護部より1名が大学に来て、大学内の講義・演習・実習に参加。臨地実習指導者研修(大学教員参加)。病院看護部との人事交流(新人研修参加)。
44	「●●大学看護学部・看護学研究科および●●病院看護部連携会議」(＝大学側からは学部長、研究科長、教務部長、学生支援センター長、実習担当教授が出席。実習施設(病院)側からは、看護部長、副看護部長、病棟責任者が出席。)を毎月定期開催し、実習での課題・評価などの情報共有を行い、連携強化を図っている。
45	看護職・人材育成センターによる「●● NURSING FESTA」の開催
46	臨地実習前の打ち合わせや反省会、実習中のカンファレンスなどを頻回に行い人事交流を行っている。また、施設によっては実習調整委員会などで、実習に実施している大学等の教育機関と人事交流を図っており、その折には、必ず、参加している。
47	●●大学看護研究会の活動(教育・研究・年1回の学術集会・キャリアパス)
48	・実習教育連絡会開催 ・●●キャンパス看護交流会(看護学科、附属第三病院看護部、●●看護専門学校)
49	臨床講師制度を設けている。
50	臨地実習指導者研修会、非常勤講師(講義)、学内演習講師
51	人事交流協定の締結
52	本学基礎看護学領域への専任教員での受け入れを公募している。
53	老年領域において、3年次の老年看護学演習に実習施設の職員複数名を迎え、技術演習指導(高齢者のポジショニング)を受けた。
54	希望する教員には臨地での研修を実施している。
55	教員がCNSとして実習施設の業務を行っている。
56	制度としてはないが、母性の実習施設の母乳育児支援の専門家(国際ラクテーションの資格)である助産師に母性看護学援助論の科目の中で演習を依頼している。
57	実習施設において、大学教員と兼任で外来を担当するなどの取組を行っている。(実践能力の維持等も含めて)
58	演習の指導
59	今年度はコロナのため臨地実習が学内になった科目が多く、実習施設の指導者を招いて、看護技術の直接指導を得る運営をするなど、工夫を行った、また、従前から実施している統合実習の学内発表会(倫理発表会)に実習施設の指導者を招き、実習指導・学生理解の共通認識を持つ機会は継続している。
60	実習病院の看護部長や専門看護師による講義、演習など。
61	実習施設(国立病院機構)から1名(2～3年)、本学の教員として従事する。
62	臨床教授(講師)として、科目担当
63	実習施設における臨床看護師の研究支援として、各看護単位に教員1名がそれぞれ支援を行っている。
64	大学講師を実習病院へ出向
65	・研究指導 ・授業でのゲストスピーカー
66	・学部教育における演習担当者、OSCE評価者として実習施設より協力を得ている。 ・学部教育において、施設の専門看護師、認定看護師に専門領域の講義を依頼している。
67	演習科目(特に、技術習得に関する内容)に実習施設の臨地実習指導者に入っていただいている。
68	実習施設の臨床看護師が非常勤講師として講義の一部をご担当頂いている
69	実習施設の職員が、人事交流として授業や実習に研修目的で参加している。
70	学部・大学院への非常勤講師派遣
71	大学病院の指導者を大学へ1年間助教として出向する制度がある。
72	定期的の実習評価会議を開催。ゲストスピーカーとして講義を、非常勤講師として技術演習指導を依頼。
73	学内演習に実習病棟の実習指導者が指導に参加している。
74	実習施設の看護職者に対する実習指導
75	実習施設からの本学大学院看護学研究科への入学希望者の学費の取扱いにおいて、「実習施設推薦書」に基づき、優遇措置を行っている。
76	年1回、臨地実習に関する意見交換会を実施。
77	客員教授として招聘
78	学生の講義や演習時に看護師を、看護師の教育研修に教員を派遣している。
79	実習連絡協議会を年2回実施
80	日常生活援助論演習において、実習施設の看護師が模擬患者役として学生の教育の一部を担当している。
81	期間2年にて、実習病院所属団体より看護職を1名受け入れ、助手として大学に勤務。
82	実習施設の看護師等を臨床教員として任命し、学内及び実習施設での教育を教員と共に行っている。
83	看護学科の看護部とのユニフィケーション委員会の開催 臨床看護師の教育研修、看護教育の臨床看護実践研修
84	臨床指導者研修の実施を年に1回、実施している。その際に、臨床指導者が望む講演内容も入れてる。

Q26. 2019年度における貴大学の実習施設等との教育連携についてお伺いします。

F. よろしければ制度・取り組みの内容等について、具体的にご記入ください。

1	附属病院の看護研究指導
2	臨地実習指導者と教員による実習指導のあり方に関する合同研修会を年に1~2回実施している。テーマは毎年、その時々課題に合わせて決定している
3	・実習施設等の看護スタッフとの共同研究、研修会講師 ・看護職キャリア開発支援センターでの共同研究
4	退院支援研修
5	実習施設での勉強会等に参加している。
6	保健学科で開催される研修会、講演会、FD研修、国際フォーラムなどについては、実習施設へ案内状を送り、参加を呼びかけています。また、主要な大学病院とは、看護部看護学専攻とで、合同委員会を設置し、相互に人事交流、研修・研究支援、就職に関する事項の推進を図っている。
7	市町村の広報誌に健康教育関連の連載を持っている。
8	大学病院看護部が保有するデータの分析、助産師のキャリアラダー
9	FDについては合同で行っている。
10	・実習環境をよりよくするためにFD研修会を合同で行ったり、研究活動を一緒に行っている。 ・年一回の実習指導者会での実習ふり取りと勉強会の企画。 ・県が主催する公衆衛生看護実習打ち合わせ会、全市町・保健所・全大学が一堂に会し、実習および新任期の保健師の状況についての情報交換、意見交換を行う。
11	発達障害のある学生に対する実習について、合同研修会を開催したり、実習病院の臨床看護研究のアドバイザーの取り組みをしている
12	病院や施設との研修会
13	実習施設の看護部と本学の教員で構成する連絡会議に研究支援部会を設置し、研究シーズの発掘や研修会を実施している。
14	●●大病院との共同研究
15	・合同研修会 ・共同研究
16	・実習まとめの会として、年1回大学病院看護部と大学とで話し合いを行っている。 ・在宅看護学実習実習協議会(1回/年)、公衆衛生看護学実習協議会(1回/年)も実施している。 ・糖尿病教室の開催の実施し、継続的に、病棟看護者と研究活動を実施している。他分野により実施。
17	看護学専攻教員が看護部スタッフに対し、研究支援を行う場として「看研カフェ」を行っている(1回/月)。また看護部職員の研究ニーズと看護学専攻教員の研究ニーズのマッチングを、上記Q26-Bの協議会を通じて行っている。
18	年に1度、合同でFDを開催している。(年度の事情により0回、2回の場合もある。)
19	大学病院看護部と保健学科看護学専攻の間で共同研究支援委員会が設置されている。大学病院との共同研究や大学病院看護部との研究を支援する委員会であり、研究支援の形態(共同研究、スーパーバイザー等)を決め教員との調整を図り研究を遂行している。
20	研修会の企画・運営、研究指導
21	実習施設の各病棟や部署からの看護研究支援依頼が計画的に年に1回程度あり、研究計画から実施、学会発表、論文投稿までを支援している。
22	看護教育合同研修会(1回/年)、看護教育検討会議(病院看護部と;6回/年)
23	実習施設の学生指導で関わっている共同研究
24	実習施設を対象とした教育講演等を年2回程度、大学として予算化し実施している。そのほかに、各実習領域ごとに共同研究や研修を実施して。附属病院の実習指導者委員会について、病院スタッフとともに企画運営を行っている。
25	附属病院看護部との看護研究ユニフィケーションがあり、看護部の看護研究に関わっている。年3~4回の集合検収と各病棟の看護研究を各教員が受け持ち、計画づくり、倫理審査申請書作成、研究実施、分析および研究発表まで支援している。
26	3年目の看護師を対象とした「臨床における看護研究指導」について、修士をもつ助教5-6名が担当となり、GWを通して、計画立案から、データ収集・結果考察・PP発表までの一連のプロセスを学ぶ取り組みである。
27	実習指導者に臨床教授等の称号を付与 臨床教授等との交流会を行い、実習指導が効果的になるよう意見交換を行っている。
28	教員が附属病院看護部の教育委員会のメンバーとして活動しており、学科全体で一連の研究・教育活動を協働する。実習担当部署と個別に連携して共同研究や研修会を行う。
29	主たる実習施設である●●病院と合同勉強会を実施している。
30	教員の研究の共同研究者として研究実施
31	実習指導者と看護教員の学びと情報交換を目的とした交流会の開催
32	実習施設との共同研究を行う場合は、研究費をつけている
33	大学の研修・研究委員会主催での「助産実習 実習指導力向上のための研修会」開催、実習施設から実習指導にかかわる臨床指導者が参加し、学内教員を交えて実習指導に関するディスカッションを行なった。また、年度末に実習指導に関する評価と課題についての研修会開催予定である。
34	大学としての制度はないが、科目担当者としてあるいは教員個人として実習施設との共同研究や大学・施設双方で研修を開催し交流する等の取り組みを行っている。
35	本学教員と現場看護職者が対等な関係で研究的な手法で看護現場の課題に取り組む共同研究を実施している。また、共同研究の経過を振り返り、研究成果を広く共有するため、年1回の「共同研究報告と討論の会」を実施している。
36	看護交流会
37	実習施設と包括的連携協定を締結して、共同研究や研究指導を行っている。

Q26. 2019年度における貴大学の実習施設等との教育連携についてお伺いします。

F. よろしければ制度・取り組みの内容等について、具体的にご記入ください。

38	看護大学教授と●●市民病院群看護部長・教育担当副部長との会を、年4～5回開催し、臨床共同研究制度がある。臨床指導者研修会を年1回開催している。 ●●大学と市民病院機構との連携研修のシステムがあるが、今年度は活動見合わせとなっている。
39	年1回、臨床指導者研修会開催。小児看護学領域では、科研(基盤C)を取得し、上記Bの取り組みを行っている。
40	実習施設からの研究協力依頼に協力している
41	看護コンソーシアムによる意見交換会を定期的に行っている
42	実習施設に限らず、付属施設において共同研究を行っている。
43	年に1度ではあるが、実習施設が一同に介して、実習の取組報告や課題を検討している。2019年度末に企画予定であったが、コロナ感染症拡大の影響から、資料の配布のみとなった。
44	大学教員が研究代表者となっている研究課題に、実習施設の看護職が研究協力者として参加している。
45	実習FD等
46	共同研究の推進。临床上の問題を科学的に探究することを目的に共同研究を行っている。
47	看護実践・キャリア支援センターが企画・運営している共同研究において、看護師を対象とした研修の効果に関する質的研究を実施している
48	併設の看護研究交流センター事業の「地域課題研究」において、実習施設等の看護師等と共同研究を行っている。
49	「臨床看護研究センター」を設置し、病院等が取り組む臨床看護研究を支援する。
50	臨床研究指導に教員派遣又は共同研究を実施している
51	1年に1回、実習運営部会主催の臨床指導者及び臨床教授・准教授・講師の方々を対象に、学部教員と非常勤講師による研修会を実施している。研修テーマは年度ごと異なる。
52	毎年度末に臨地実習教育会議を開催し、実習施設と実習の現状を共有・討議し、より良い連携・協働のあり方を検討している。
53	看護人材育成支援室における研修事業、講師派遣事業を通じて、共同研究や研修会に参加する機会がある。
54	本学の「看護研究・研修センター」における事業の一環で、地域看護職等連携事業において、合同研修、協働研究を様々な形で行っている。例：精神科病院新人看護職員への臨床実践力育成事業、助産師の仕事研究会など。
55	実習施設から出された研究テーマに対して、共同研究者として参加する教員を募って、共同研究を実施。実習施設と大学での研修会を公開して、自由に参加できるようにしている。
56	・附属病院実習指導者との合同学習会 ・実習施設との共同研究助成事業
57	実習施設が企画する臨床指導者研修会にメンバーとして参加したり、教員が教育講演を行ったりしている
58	共同研究のための勉強会や、スタッフに対する研究活動のサポートを行っている
59	看護学科が実施している研修会や看護研究発表会に実習施設からも参加できるように事前にお知らせし、実習病院からの看護研究の研修や発表の機会となるように取り組んでいる。
60	看護実践教育研究センター企画での合同研修会(看護研究方法、事例検討会、トピックのテーマに沿った研修会等)や病院からの看護研究の指導を定期的または不定期で実施している。
61	ユニフィケーション事業の一環で、発達障害等を有する学生への教育的支援について研修会を企画し、合同で開催した。
62	大学の地域在宅ケア研究センターを中心に、実習施設における看護研究指導、および共同研究を実施している。
63	実習施設からの共同研究や研究指導の依頼があった際に受けている。教員の研究等を紹介するシンポジウムを実施している。
64	1. 研修会での講義、研修会企画の助言 2. 研究グループへの助言・指導
65	毎年、実習施設との連絡協議会を開催して、実習指導について検討を行っている。
66	共同研究、研修会、病院の行事に参加(町の保健室等)
67	実習連絡協議会において、「OSCEや臨地実習における実習指導者との連携」についての情報提供および意見交換
68	臨地実習に関するFD研修に実習施設の指導者に参加してもらった。また、研修会・講演会についての情報提供を双方向で行っている。実習施設の看護師と共同研究を実施している教員もいる。
69	新人看護研修等
70	実習施設である●●市立病院や●●病院と「教育に関する包括協定」を締結し、本学教員と実習指導者との間で、臨床教育合同研修会の実施、看護の室向上を目的とした継続教育に関する取組を実施している。
71	施設スタッフと共同研究や専門看護師と事例検討会等を実施している。
72	年に1回実施 講師を招き、学生との関わり、実習指導について教員、指導者と共に学び理解を深める。
73	・実習指導者研修会開催時講師を担う。 ・年に一度、教員と主任全員で集合学習を支援している。 ・研修や講義、講演のアナウンスをしている。 ・事例検討会を主催している。
74	実習施設での看護研究のサポート勉強会に講師、アドバイザーとして参加している。
75	基礎：次年度(2020)新規実習施設看護部との実習受け入れ準備に伴う勉強会を計5回実施した。 老年：老年看護CNSの方との共同研究(教員の科研への参画)。施設から資金を得ての活動(分野に限定されていない)
76	訪問ケースを対象とした共同研究を実施
77	院内看護研究発表の講師。4年目研修(看護研究の講師)。認知症ケアの講師。看護過程の講師。
78	研究推進委員会所管の「●●大学看護学部の教員と臨地実習関連施設の看護職等との共同で行う看護実践に寄与する研究(臨地実習関連施設との共同研究)」が該当する。毎年学部内で公募を行い申し合わせ事項に基づき委員会で採択の可否を審議する。研究機関は採択通知のあった日から翌年2月末日までである。2019年度は予算総額250万円、採択件数8件。
79	実習指導者研修会(年1回)および臨地実習指導者研修会(年3回)を実施しており、指導体制および協力体制の強化を図っている。また、教職員ワークショップや大学院FD講演会、研究発表会等を実施しており、本学附属病院の実習指導者も参加している。

Q26. 2019年度における貴大学の実習施設等との教育連携についてお伺いします。

F. よろしければ制度・取り組みの内容等について、具体的にご記入ください。

80	学則附置の組織として、2つの組織を置いている。1つは、「連絡協議会」という組織であり、主たる実習施設との間で教育・研究等の連携に関する協議を行い、双方間の教育研究活動における協働的取組体制の推進に資する活動を行っている。もう1つは、「ロイアカデミア看護学研究センター」という組織であり、看護教育と看護実践の探求・看護学の発展に寄与することを目的とし、臨床看護教授等もメンバーに含め、教育プログラム開発・卒後教育・継続教育を主軸とし事業を展開している。上述の他、年1回、実習施設を含むグループ法人全体による学会・学術集会を開催している。
81	実習を依頼している病院・施設等との連携強化もしくは本学周辺地域の保健福祉医療の向上を目的とし、実習先もしくは本学周辺の病院・施設等の職員を研究分担者とした共同研究をおこなっている。
82	①看護教育会議(年3回開催。大学教員全員と看護師長全員が出席する)の開催 ②●●アカデミア(大学と病院が共催で行う学内学会)を毎年実施。研究や業務改善の発表を行っている。
83	看護職・人材育成センターが窓口となって、看護研究指導等を施設職員と大学教員が協力し合っている。
84	臨地実習指導者研修会
85	●●大学看護研究会教育委員会:2回/年の講演会、研究委員会:看護研究基礎コース、アドバンスコース、個別研究指導
86	共同研究、共同指導、勉強会など
87	・実習教育連絡会開催(附属病院、学外実習施設) ・●●地区共同研究(看護学科、附属●●病院看護部、●●看護専門学校)
88	各看護領域で共同研究を行っている。
89	臨地実習指導者研修会、病院看護部の看護研究指導
90	実習施設指導者を交えた領域別の研究会等を開催するほか、大学と実習施設の共催で実習指導者研修会を開催している。施設の指導者との会議の中では、実習で起こったエピソードを基にディスカッションを行い学生への理解を深める努力を続けている。
91	大学主催で年に1回、実習施設の指導担当者や管理者の方と教員が、昨今の動向を踏まえた臨床及び学内での指導方法など検討する会議を設けています。2019年度は「看護実践の場で学びを育む発問」のテーマで実施し、実習施設から52名の方にご参加いただきました。
92	合同研修(会議)は、2019年度に開催を決めていますが、コロナの感染拡大により、現在のところ、開催が延期になっています。精神領域において、各病棟で毎年研究に取り組んでいる。教員2名で7病棟を担当し、研究内容や方法、分析方法等、研究発表までの助言等を行っている。コロナ禍での研究指導のためできるだけ対面にならないような指導を行っている。また、年度末に施設内での研究発表にも講師等として参加している。
93	老年領域において、①看護協会からの依頼を受けて病院に勤務する看護師を対象に研究指導を行っている。②実習病院が定期的に開催する研修会に参加し、臨地実習指導者や他大学の教員とともに、実習指導に関する課題の検討や情報の共有を行っている。
94	学園内医学会への共同研究、病院主催の看護研究会における司会、演者として教員が参加している。
95	・Zoomによる高齢者看護の勉強会 ・看護部研修(年間で1つのテーマ)の講師を務めている。 ・合同研修として高齢者看護に関する勉強会を実施している。 ・実習先の職員の学会発表のためのサポートをしている。
96	制度として成立しているわけではないが、学生実習の学びに必要な事業企画・評価(施策化)などについては、実習施設の指導者等と共有するために研修を企画していただくことがある。
97	領域によっては、合同で研究を行ったり、看護方式等学習会を開催している。
98	研究指導に向向している領域がある。また、学内講義を公開講座制にして広く臨床のスタッフに周知している取組みがある。
99	・本学教員による看護研究指導 ・領域ごとに実習事前打ち合わせ会議を実施している。その際、領域によっては「看護過程勉強会」を行うことがある
100	看護教員と臨地実習指導者との合同研究会の開催(招聘講演)
101	提携病院を中心とした実習指導者連絡会に実習指導ワーキンググループを組織化し、実習の評価研究を行っている。
102	シミュレーション指導者育成プログラムや、スキルアップ研修を年に2~3回程度実施している。さらに研究指導等も行っている。
103	病棟看護師と教員との共同研修
104	臨地実習指導者研修セミナー及び指導者カンファレンスを開催している。
105	実習施設との研究支援の中で、協同研究として取り組むケースもある。
106	研究サポート、講義
107	大学院主催で、臨床現場の方や院生と共に、年に何回かテーマを決めて「ケア検討会」を実施
108	実習先からの依頼により研究補助や研究方法の研修などを行う準備がある。
109	附属病院及び実習施設との共同研究あり
110	実習指導に関する研修会
111	実習施設とのより良い連携強化を図るため、定期的の実習連携会議を開催している。
112	エキスパート研修や中堅スタッフ研修の講師、研究プログラムの検討
113	共同研究、合同での公開講座を開催している。
114	共同研究を実施している。
115	・実習施設の指導者を招いてコミュニケーションが困難な学生への対応について合同研修を行っている。 ・指導者と大学との情報交換を実施している。 ・施設側からの依頼に対応し、学部長と学科長の承認を得て教員を派遣している。 ・共同研究は、研究倫理審査において承認された後に学部長と学科長の承認を得て、教員ごとに実施している。
116	専任教員が実習施設へ職員研修の講師として赴く
117	毎年6月に研修会の実施(大学主催)

Q26. 2019年度における貴大学の実習施設等との教育連携についてお伺いします。

F. よろしければ制度・取り組みの内容等について、具体的にご記入ください。

118	連携施設の院内看護研究の指導 共同研究希望者は大学組織を通して連携施設に相談できるシステムがある。年に一度全施設を対象に実習指導者協議会を開催しているが、特別講演や領域とのディスカッションを行っている。
119	臨床研究
120	実習施設の看護師との共同研究を実施し、施設を利用している家族へインタビューを行った。
121	毎年、合同で研究発表会を実施している。 疼痛スケールに関する共同研究を行っている。
122	定期的な臨床指導者との研修会 共同研究
123	実習指導者会という「勉強会」を行った。
124	学生への指導方法等
125	本学共同研究助成募集要項の対象として主たる実習病院等学外者との共同研究とする。と記載している。
126	臨地実習指導者と本学教員との臨地実習での指導方法の研修
127	年に1回、実習施設と合同で実習中のインシデントなどの課題を設定して話し合いを行っている。
128	毎年度、実習指導者研修会を開催し、実習指導に関する講演会、グループワークを実施している。
129	実習施設の院内研究発表会への参加 実習施設との共同研究
130	授業・演習の協力、研究会参加、研究指導を行った。
131	年1回臨地実習連絡協議会を開催
132	看護研究と本学の紀要投稿のサポート
133	学内演習における実習施設の看護師参加、看護師の図書館利用、合同研修など
134	「看護実践連携研究会」で共同研究等を行い、「看護実践連携研究発表会」を実施している。
135	実習教育研修会
136	共同研究者として研究に参加してもらっている。
137	実習協議会を開催し、教育講演・交流会を開催している。
138	VR教育の研究を共同に進めている。
139	看護過程の展開研修など
140	《共同研究》病院からの申し出により、該当領域の教員が取り組む体制を整えている 《合同研修》毎年3月に企画実施している
141	本学教員が実習施設看護師の研究指導を行っている
142	臨地実習の振り返りと今後の課題について意見交換を行い、学生の学びを支援・促進するための実習指導の在り方を考えるため、臨地実習指導者研修会を開催している。
143	病院と大学間の包括協定に基づき、共同研究や講師の派遣等を実施
144	臨床指導者研修会を年1回開催、実習施設の指導者、スタッフを対象に実施。 また、卒業直前の臨床看護技術教育の共同開催を今年度から計画も感染症のため中止し実施に至らず。
145	定期的な合同研修が計画されている
146	研究指導、リーダー研修
147	実習施設からの要請により、研究指導および特定のテーマに基づき講師として勉強会に協力している。
148	2019年度臨地実習指導者研修会「学生と共に育つ臨地実習指導 一実習指導者が成長を実感できる看護学実習のあり方を考える」
149	本学は開設4年目の年であったため、その年より本学と臨地実習施設の方々との合同の連絡協議会を通して、実習指導についての振り返りや今後の課題について検討する機会をもった。
150	本学特別研究助成費において、実習施設の指導者と協同による緩和ケア病棟看護師の療養生活を支える臨床判断の特徴に係る研究を行った。
151	臨地実習協議会の開催
152	①終末期高齢患者の在宅療養支援に関する実態調査 ②成人看護学(急性期)技術演習および実習におけるユニフィケーションシステム構築に関する研究 一看護教員と臨床指導者によるユニフィケーション実現に向けた課題検討
153	「実習指導者会議」:実習施設の実習指導者を招き、意見交換をしている。
154	主たる実習病院との連携協議会の規程に共同研究、合同研修の項があります。
155	実習連絡協議会を年2回実施
156	2019年11月、第5回JCHO地域医療総合医学会(パシフィコ横浜)にシンポジウム参加 テーマ:これからの看護師育成～臨床と教育の連携のあり方～
157	実習協議会を開催し、実習に関連したテーマの講演等を行っている。また、実習協議会とは別に、大学教員、実習施設の看護職を対象に教育・研究に関する研修会を年に一度開催している。このほか、臨床研究に関する研修にも協力している。
158	院内での看護師指導
159	看護研究講座の実施、実習施設の研究支援。
160	臨床看護研究推進センターにおいて、国立高度専門医療研究センター看護部における臨床看護研究の推進・発展に寄与するため、看護研究に関する講義・講演・個別指導等を実施している。
161	JBIのImplitation Centerにおいて臨地との共同研究を実施している。合同研修会については前述したとおりである。
162	実習指導者研修会(2019年10月19日(土)実施)
163	本学の实習受入施設の実習指導者を対象に、看護学実習協議会を年1回実施し、実習に関する講演会や研修会を実施している。また、分科会において各実習施設と情報交換を行っている。

Q26. 2019年度における貴大学の実習施設等との教育連携についてお伺いします。

H. よろしければ制度の内容等について、具体的にご記入ください。

1	優れた医療人を育成するために、本専攻及び学科の臨床教育に協力する学内外の医療機関等(以下「教育協力機関」という。)の豊富な臨床経験を有する優れた医療人に対し臨床指導教授等の称号を付与する制度
2	実習指導者や演習の指導、講義科目の講師について、大学病院の看護職には学内特別講師とし、学外の実習施設の実習指導者については臨床教授の称号を付与している。
3	臨床教育に協力する医療機関等の優れた医療人に対して称号を付与するもの
4	臨床教授等の称号付与を行っている。
5	臨地実習に協力していただける病院や老人保健福祉施設、または地方公共団体の保健行政部門に勤務する優れた看護職者に称号を付与し、実習先の指導体制の充実を図っている。
6	大学病院においては、基準を決め、看護師経験年数、役職に応じ、臨床教授、臨床准教授、臨床講師に任命し、実習指導にあたってもらっている。
7	臨床教育に協力する学内外の医療機関等の優れた医療人に対して照合を付与し、臨床教育の指導体制の充実を図る
8	授業科目履修規則に定める臨床実習等の指導に協力する医療機関等に所属する医療人に、選考の上、付与する。また、医療機関等における豊富な臨床経験を有し、優れた臨床能力及び教育能力を有するものとする。称号の種類は、臨床教授、臨床准教授、臨床講師とする。
9	看護部や実習指導者に対する称号付与。
10	臨地実習の指導にかかわっている看護師長を臨床講師、副看護部長を臨床准教授、看護部長を臨床教授の称号を付与している。
11	臨床現場における豊富な臨床経験を有し、優れた臨床能力、教育能力及び研究業績を有する医療人であって、経験年数、業績ならびに専門看護師等の有資格を要件に看護学科における臨地指導又は本学の非常勤講師として任用されたものに2年以内の年度末(更新可)の間付与。
12	実習指導
13	臨地に関する協定を締結した保健・医療・福祉機関の保健・医療・福祉人であって、当該実習協力機関において臨地の計画・指導等に当たり、臨床教授等の職務を十分に遂行することができるものに対して、特別教授会の議を経て臨床教授等の称号を付与する。
14	看護実践経験年数や研修受講歴などを加味して臨床教授制度を導入している
15	・臨床教員制度 ・実習施設の実習指導者・看護部長等に、本学臨床教員となってもらい、講義・演習の講師として授業を行うことを通じて、実習で受け入れる学生の状況理解の機会としている。
16	実習に関わっている担当部署の師長等による、臨床教授等を任命している。年1回の見直しをし、その都度、新規、更新を行っている。
17	学外実習施設の実習指導者に対して臨床教授・准教授・講師の称号を付与している。臨地経験、研究業績等に関する審査基準が設けられている。
18	規定を設けて発令している。
19	「医学部臨床教授等の称号付与に関する規定」ならびに「医学部臨床教授等の称号付与に関する規定の運用方針」に基づき「臨床教授等選考委員会」での決議を経て毎年度当初に選考している。
20	病院から看護師が派遣される
21	選考基準を定め、委員会にて履歴書と業績を確認の上、各実習施設の看護部長に臨床教授、副看護部長に臨床准教授、師長及び指導担当者に臨床講師の称号を付与している。
22	臨床教授・准教授・講師の規程を作成し、任命している
23	医学部看護学科における学生の臨床実習を含む臨床教育に協力する本学科以外の優れた医療人に対する称号の付与等に関し必要な事項を定め、もって臨床教育の充実を図る制度である。
24	臨床教育に協力する学外の医療機関等の優れた医療人に対して臨床講師の称号を付与し、臨床教育の指導体制及び教育内容の充実を図っている。臨床講師は、所属する実習協力機関等において、保健学科と実習協力機関等との間で作成された臨床教育カリキュラムに基づき臨床実習指導等を行っている。
25	臨床教授：看護部長
26	臨床准教授：教育担当副看護部長
27	臨地における講義講師として正式に委嘱または委託契約のうえ、講義を実施していただいている。 学内教育と臨地教育との連携を強化し、より充実した臨地教育を実施するため、臨地教授等の任命の制度がある。2019年度の臨床教授等(臨床教授、臨床准教授、講師)の称号付与人数は83名。毎年5月に任命式を行い、任命状授与および教職員カード(図書館利用可)を配付している。学長から本学の紹介や、国家試験合格状況、就職状況などの情報を提供し、出席者と大学側で意見交換や懇談を通じて理解を深めている。
28	実習施設からの推薦を受けて、職位・経験年数に基づき称号を付与している。
29	本学の臨床教育講師及び臨地教育講師称号授与規程に基づき、要件を満たす者を学科長が推薦し教授会の議を経て学長が称号を授与する。有効期間は1年間で更新が可能。
30	主たる実習病院(1施設)の看護部長を臨床教授として任命している。
31	主に大学院修士課程でのNPや助産師養成を行う実習先の指導者を任命
32	実務経験年数に応じて臨地実習教授等の称号を付与する。
33	学士課程では臨床講師、大学院CNS実習等に臨床教授等の称号を付与している 臨床教授等は経験年数、業績等で講師・准教授・教授を判断している
34	看護部長レベルは臨床教授、看護副部長レベルは臨床准教授、の称号を授与することで、実習指導に対する役割意識を持ってもらう
35	導入している。大学での規定に則り、審議の上、決定している。
36	授業の派遣、実習指導

Q26. 2019年度における貴大学の実習施設等との教育連携についてお伺いします。

H. よろしければ制度の内容等について、具体的にご記入ください。

37	臨床教授から臨床助教まで基準を設けて、病院等看護管理者からの推薦を基に1年ごとに見直しを行っている。臨床教授等はできるだけ実際に学生指導を行ってくれる人に称号を付与することになっている。
38	●●県の主要な病院の専門医や看護部局長を臨床教授として任命し、学内の講義や臨床の実習などでの学生の指導、育成に協力をいただいている。
39	本学の臨地実習を含む教育に協力を得る学外の医療機関等の優れた看護職者に対して、臨床教授及び臨床講師として、任期付きで任命している(無報酬の非常勤)年1回臨床教授との懇談会を実施している
40	臨地実習講師、臨地実習教授の制度がある。臨地実習講師は学外施設で本学学生の実習指導に従事する者、臨地実習教授は10年以上の臨床経験と優れた臨床及び実習教育の能力を有するなどの条件がある。いずれも、実習を担当する学科の学科長などが推薦し、学長が委嘱する。主な実習病院(臨地実習教育協議会メンバー)の看護部長は「臨床教授」の任命をしている。臨床指導者の中心となる人を「臨地実習講師」として任命している。
41	選考基準は、臨床経験年数により、①臨床教授(20年以上の臨床経験)、②臨床准教授(15年以上の臨床経験)、③臨床講師(10年以上の臨床経験)となる。臨床教授等の称号は、臨床実習施設に常勤し、実習教育に直接携わる看護師、保健師等であり、65歳以下である等の要件を満たして選考された者に付与する。なお、臨床教授等としての謝金は支給しない。
42	臨地教授制度を導入。学内教育と臨地教育との連携を強化し、より充実した臨地教育を実施するため、臨地実習を行う病院又は施設等の臨地・臨床実習指導者に対し、臨地教授、臨地准教授又は臨地講師の称号を付与。
43	毎年指導者を推薦し、臨床教授を授与している。
44	実習施設長からの推薦に基づき、教授会で臨床教授(臨床准教授・講師)の認定を行っている。
45	経験豊かで優れた看護職者等を臨床教授として委嘱し、実習指導等をしていただく
46	教授会の議を経て臨床教授の称号を付与している。
47	看護教育講師の制度を導入している。看護部長の推薦による選考基準を満たしている看護師を看護教育講師として、大学の審議会が承認する。看護教育講師は、看護学科学生への講義、演習への参画、実習指導への協力、指導者への支援・指導等を行う。
48	臨床講師の称号を授与している。
49	臨床教育の指導体制の充実を目的として、実習等の指導に協力する医療機関の医療人に対して、臨床教授等の称号を付与する。
50	臨床教授等の称号付与要綱に基づき、臨床教授・准教授・講師を選考する。選考に当たっては、医療機関等より提出された候補者の履歴書から、臨床実習科目責任者が条件を満たす者を候補者として推薦する。実習運営部会において審査し、人事教授会を経て決定する。
51	看護学部における看護学教育の充実を図るため、臨地実習等の指導に協力する医療機関等の優れた医療人に対して、看護学臨床教授、看護学臨床准教授又は看護学臨床講師の称号を付与し、職位に応じた役割を果たしていただく。
52	毎年、教員の推薦により任命している。報酬はない。
53	大学と連携協定を結んでいる実習病院長あてに、臨床教授等の推薦を依頼し、推薦があった看護職員に対して教授会が規定に基づいて称号を付与する。臨床教授は主に学生の実習指導に当たる。
54	臨床教授等に推薦できる基準に沿って人選している。
55	実習指導に協力いただく附属病院の看護師長等に対し、臨床教育教授、臨床教育講師等の称号を付与(3年更新)
56	臨地実習指導制度講師制度を導入している。
57	臨地実習施設の指導者に対して、規定に基づき、1年を任命任期として、毎年春学期に臨床教授の称号を与え、積極的に臨地実習や学内教育に携わってもらっている。
58	臨地実習における指導体制の充実を図るため、臨地実習協力施設に所属する実習指導者に対して、看護学部長の申請に基づき、学長が臨床教授、臨床准教授及び臨床講師の称号を授与している。
59	称号付与
60	臨地教員制度：臨床経験5年以上、実習指導講習会等を受講済みの方で、実習施設から推薦を受けた看護師に称号を付与している。また本大学図書館を使用できる権利を付与している。教員と連携して臨地実習指導を行う。
61	委嘱状の発行(学長名)
62	外部実習施設実習担当者への非常勤教員委嘱・発令。 本学大学病院実習担当職員への称号付与(臨床教授・臨床准教授・臨床講師)
63	制度はあるが、現時点では付与の実績なし。
64	制度は導入しているが、現在運用していない。
65	本学看護学部における実習教育に協力する医療機関等において、隣地教育等に優れた者に対する称号の付与等に関し必要な事項を定め、看護実践教育の指導体制の充実を図るとともに看護の質の向上を図ることを目的として、●●大学看護学部臨地教授等の称号の付与制度を導入している。
66	本学附属病院で実習指導にあたる看護職者に対し、看護臨床教員の併任発令を行っている。

Q26. 2019年度における貴大学の実習施設等との教育連携についてお伺いします。

H. よろしければ制度の内容等について、具体的にご記入ください。

	「臨床教授等の称号付与に関する規程」により、以下のとおり定められている。(抜粋) (趣旨) この規程は、●●大学(以下「本学」という)における臨床教育に協力する学外の医療機関等(以下「実習等協力機関」という)の優れた医師、看護師等に対する称号の付与に関し必要な事項を定め、以って実習等協力機関との連携強化に資することにより、臨床教育の指導体制の充実を図ることを目的とする。 (称号の種類) 67 称号の種類は、臨床教授、臨床准教授または臨床講師(以下「臨床教授等」という)とする。 (選考基準) 医師・看護職・技師職系に係る臨床教授等の選考については、医療機関等における豊富な臨床経験を有し、優れた臨床上の業績を有すると認められる者で、原則として次の各基準を満たす者とする。 (1)臨床教授は、保健医療機関等における臨床経験又は臨床教育経験が15年以上の者 (2)臨床准教授は、保健医療機関等における臨床経験又は臨床教育経験が10年以上の者 (3)臨床講師は、保健医療機関等における臨床経験又は臨床教育経験が5年以上の者
68	大学の教育及び臨床実習指導に携わる保健医療福祉の専門職者であり、専門分野について優れた知識と豊富な経験を有しかつ教育に熱意を有する者のうち、教育上必要があると認められる者に臨床(地)教授等の称号を付与する。
69	保健、医療、福祉の現場における豊富な経験を有し、本学の教育の理念に賛同する者で、原則として臨地実習協力病院又は施設等の常勤職員である者とする。科目単位認定者或いは学長の推薦により、任命する。無報酬。
70	実習施設に対して臨床教授制度の案内と推薦を行い、被推薦者の役職並びに専門領域に関する臨床教育の実績及び学会発表等を含む研究上の業績・日本看護協会の専門看護師・認定看護師制度等による資格について、本学の基準を基に付与する称号を定め、学部教授会で審議・承認後、証書と共に付与している。
71	学園内講師として、講義依頼。実習指導において調整役及び直接の学生指導
72	臨床施設の医師や看護部長などに来ていただいている。
73	平成25年度より臨床教員を導入している。
74	学部、大学院ともに臨床教授・臨床准教授
75	教授会や研究科委員会において、臨床教授等の適任者に対する意見を聴いて、学長が称号を付与する。付与する期間は、原則2年間とし、延長ができる。給与や謝金等の報酬は支給しない。臨床教授等は、看護学実習の指導に当たり、必要な協力を行う。
76	学生に対する臨床実習等の指導を臨床実習等の指導に協力する医療機関等に所属する医療人に依頼する
77	一部の実習施設の看護部長を臨床教授として委嘱している。
78	本学における臨床教育に協力する医療機関等に所属する、優れた医療人に対して、規定に従い臨床教員(臨床教授、臨床准教授、臨床講師)の称号を授与する。給与の支払いはないが、教員として礼遇される。
79	臨床教授、臨床准教授及び臨床講師を毎年委嘱している。
80	2019年度時点では導入していなかったが、2020年度臨床教員任用システムを導入
81	本学附属病院の実習指導者を臨床講師として発令している。
82	臨床教授規程を定め、教授会で承認されて臨床教授(准教授・講師)を委嘱している。実習施設における指導、学内では授業のゲストスピーカー等にきていただいている。
83	・臨床教授、臨床准教授を発令し、臨床教授、臨床准教授連絡会議を開催し、臨地実習の状況報告及び看護教育についての意見・情報交換を行う。 ・臨地実習指導者連絡会議を開催する。
84	実習病院から申請のあった看護師について、経験年数等に応じ、臨地教授・准教授・講師の称号付与している。
85	臨床教育等の称号付与に関する内規に詳細を定めている。職務は、①本学の病院において行う実習科目の指導②本学科の教育職員と連携して行う講義演習の担当③その他本学科の臨床教育に必要な事項である。
86	臨地実習等の指導に協力する医療機関等に所属する医療人で臨床系教育の指導に携わる者に付与する。(臨床教授等の照合付与に関する規程 第3条)
87	看護師の職位、業績に対応して、臨床教授、臨床准教授を任命
88	大学の臨床・臨地実習指導を担当する病院・施設・機関等における豊富な経験を有する優れた指導者に対して、臨床教育講師又は臨地教育講師の称号を与える。
89	臨床教授として科目担当
90	主実習施設の看護部長:臨床教授、副看護部長:臨床准教授、看護師長:臨床講師、実習指導者:臨床助教
91	主な実習施設の看護部と連携して実習指導を行えるように、臨床教授制度を導入し、教授会の審議を経て、学長が任命している。
92	実習指導に関わる人を施設にリストアップしていただき、教授会で称号の付与を決定し、称号記を送付する。 謝金の支払いはなし。
93	病態・医学に関する臨床教授制度を導入している
94	本学における臨床教育に協働する学外の医療機関等の優れた医療人に対する称号の付与に関し必要な事項を定め、もって臨床教育の指導体制の充実を図ることを目的としている。
95	施設管理者を臨床教授/准教授として委嘱 スタッフに特別腰として授業や技術演習の指導者として教育活動に協力してもらっている
96	・一部の実習施設において講義・実習指導者等に臨床教授、非常勤講師の辞令を交付している。 ・一部の実習施設において各領域臨地実習指導者に対して助手(看護臨床)の辞令を交付している。
97	各領域長による推薦および上申。学部内の選考基準に沿って書類審査の実施。年度ごとに委嘱している。
98	主たる実習施設の4看護部長を臨床教授として任命している。
99	毎年度、基準を満たす実習施設に対して推薦依頼を行っている。

Q26. 2019年度における貴大学の実習施設等との教育連携についてお伺いします。

H. よろしければ制度の内容等について、具体的にご記入ください。

100	臨地実習に協力する学外の医療機関等の保健医療従事者に対し臨地教授等の称号を付与し、臨地実習の指導体制の充実を図る。
101	実習施設の看護部・指導者に臨床教授、臨床准教授の称号を付与している。
102	本学の教育理念、教育方針等についての講義(1日)を受講していただくことにより、授与している
103	看護実践教育の指導体制の充実を図るため、臨地教育に協力する医療機関等の優れた者に対し称号を付与している。
104	大学の客員教授等規定に基づき、臨床教授と臨床准教授を委嘱している
105	名称付与、臨地実習指導
106	実習の指導体制の充実を図るため、臨床教授等の称号付与規定がある。
107	「●●大学看護学部・大学院看護学研究科臨地教授等の付与に関する規程」に基づき運用している。2019年度は6名に付与した。
108	本学における臨床教育の指導体制及び卒後臨床研修の充実を図るため、本学の臨床実習及び卒後臨床研修に協力・連携する本学以外の医療機関等の優れた医師、歯科医師、薬剤師、看護師、保健師、助産師への称号を授与することがある。
109	臨床系の授業科目を担当いただいている医師、薬剤師、及び実習病院の看護部長、教育担当師長等に、職位に応じた称号を付与している。
110	本学で定めた基準に基づき実習施設より推薦された実習指導者に対して、臨地教育教員の称号記を授与している。
111	大学校の看護学教育体制の充実を図るために任命。
112	全ての実習先において、ご意向を伺い、職位や経験年数に応じて臨床教授、臨床准教授及び臨床講師の名称を提供させて頂くようにしている。

Q26. 2019年度における貴大学の実習施設等との教育連携についてお伺いします。

1. 看護系課程に関わる臨地実習について課題や問題はありますか。〔各いくつでも〇〕

その他の課題※1	
1	患者の在院日数短縮に伴い、2週間余りの病棟実習期間で2~3名受け持つ学生が増えてきた
2	・2-15 教員数、実習費用から1施設での実習に限られており、そのために受け持ち患者が不足するなどの課題が生じている。しかし、限られた資源で臨地実習をできるように工夫し課題を乗り越えている。 ・4-15 患者の病態の複雑化のため、受け持ち出来る患者が限定される。大学全体の予算削減により、実習経費の維持が難しく、新たな実習施設の開拓が困難である。
3	教員の絶対的不足状態、成人領域では、入院患者の高齢化のため患者選定に難渋することがある。
4	大学の立地上、実習施設への移動方法について、公共交通機関が十分発達しておらず不便であり、車移動を認めると、学生の安全面の確保や近隣駐車場の台数制限などの課題がある。また、学生のレベル低下は社会的課題であり、人件費の確保が課題である。
5	病棟に出向いて実習指導を行う時間が長い(学生と共に待機する時間を含む)、授業の準備や研究に取り組む時間が制限される。不足分は週末に仕事をしている。
6	実習指導者が日によって交替する中で、指導者間で指導の方向性が異なり戸惑う事例がわずかながらあった。
7	Covid19感染拡大のため、臨地実習を中断せざるを得なかった。
8	成人期の入院患者が少なく、成人期にある患者を受け持つことが難しい。在宅:12月~翌年2月にかかる実習では、降雪やインフルエンザなどの課題がある。当方は、教授1と助教(専任外)1名であり、降雪に関しては、実習開始時間の繰り上げをすべきか否か、実習中止にすべきか否かを教授が1人で判断せねばならず、天気予報を注意しながら実習期間を過ごしており気が休まる時がなく、心理的に押しつぶされそうになる。またインフルについては、学生から土日夜間に連絡が来るのでその対応もしんどい。
9	・【精神】助教が決められた実習指導の役割をしない場合(実習指導に朝から行かないなど)があるので、領域の運営だけではなく、実習病棟との依頼ごとや関係性に影響することがある。 ・【在宅】コロナ禍の実習で、実習施設が多く、施設ごとに特徴があるので、学校の方針にあわせて実施がムズかしい。大学の方針により家庭訪問が実施できない。
10	・入院期間の短縮、病態の複雑化に伴い、受け持ち患者選定における困難がある。 ・男子学生用の更衣室、休憩室確保における困難がある。 ・抗体価の把握と根拠資料を含めた書面での提出など、実習を行うための事務手続きが増えている。 ・学内の講義と実習の両立に物理的困難(時間、距離など)がある
11	・他の養成所との実習場所が重複しており、調整がなかなか難しい。 ・学外施設実習に関連した事務処理の煩雑さ。
12	成人: 在院日数が短い(ため)患者の受け持ち期間が短い。⇒改訂カリキュラムでは在院日数短縮化に合わせた実習期間の設定を行っている。
13	リスク管理の困難さから、援助計画を立案しても、実施できない看護技術がある。
14	今年度はCOVID-19流行の影響により臨地実習が行えず、学内での学習に振り替えたため、本来の実習目標を変更せざるを得なかった。
15	学内での情報共有不足
16	実習施設は受け入れる準備があっても、学生の旅費・宿泊費の負担感から、遠方の実習施設への通学や宿泊を要する配置が困難である。
17	コロナ禍で2020年 2-3月の実習受け入れが停止になり実習経験できない領域があった(学内演習に切り替えた)。
18	実習施設までの交通手段 実習施設における実習校の実習期間重複の調整
19	学生同士が友人の車に分乗して実習先に向かう際に、車を提供する学生の負担感と事故の危険性(大学からバス等の交通手段は準備していない)
20	・日本の出産数が減少している中で、周産期を中心として病棟実習では、受け持ち対象者の確保が困難である。また、なんとか実習施設を確保できているが、その継続性は不透明である。(母性) ・1Gの学生(6~7名)を数か所の病棟(3か所)で実習を受け入れてもらうため、教員が学生のタイミングを見計らった指導をすることが難しい。病棟の指導者と連携しながら指導することになるが、病棟の状況で指導者も日替わりとなる場合があり、一貫した指導が難しい場合がある。(3.7.9と重複)(精神)
21	【基礎】…超急性期病院のため、短期間で受け持ち患者が退院し、実習期間中継続して同じ患者を受け持つことができず、学生がじっくりと関わることができない。
22	COVID-19の対応として、実習前・中の行動制限と健康チェックを実施。症状が少しでもあれば「臨地実習は不可」と指示された為オンライン実習と並行して実施する必要があった。また、臨地からPCR検査を受けるよう指示されたが、検査の実施施設がほとんどなかった
23	COVID-19感染拡大により、多くの実習施設において臨地実習が行えなかったこと。臨地実習ができた場合でも、COVID-19感染予防のために面会制限もしている中での実習は学生にとって、非常に困難であった。 今年度はコロナ感染のこともあり、実習期間を短縮して行った。
24	また、従来の実習病棟がコロナ感染患者の対応のため使えなくなった。結果、実習病棟が変更となり、かつ1病棟で実習する学生数が1.5倍となり、急遽対応が必要となった。(成人慢性期看護学実習) 病院実習は過密を避ける工夫をして実施できたが、老健などの施設実習は臨地に赴くのではなく、施設長に来学いただき学内での演習となった(老年看護学)
25	看護技術を経験する機会を得ることが難しい。特に診療の補助に関する看護技術項目においては、臨地実習で実施させて良い項目・水準であっても経験する機会を得ることは困難である。
26	老年看護の対象となる患者が多く、成人患者が受け持てない
27	実習先が現在の場所以外にない。

Q26. 2019年度における貴大学の実習施設等との教育連携についてお伺いします。

I. 看護系課程に関わる臨地実習について課題や問題はありますか。〔各いくつでも〇〕

その他の課題※1	
28	基礎看護学・老年看護学・在宅看護論実習では、他の養成機関との臨地実習期間の重なりがあり、日程及び人数調整を行っている。母性看護学実習では、同じ組織の別科助産学との日程調整が必要である。
29	開設2年目であり、現在は基礎看護学実習のみ実施。コロナの影響で病棟での実習時間を縮小している。
30	学校間での実習先の調整が困難である。
31	実習施設が小規模であり、学生の受け入れ人数の制限かつ男子学生の受け入れが不可となる施設があり調整に苦労している。
32	受け持ち患者の変更が多くなっている 基礎：今年度のようにコロナ禍での実習では、本来予定していた人数を病棟に入れるのはカンファレンス等で使用する病棟のスペースが密になるため、半数の人数を1日おきに配置せざるを得なかった。今後もコロナが収束しない場合や、新たな感染症の出現により、人数制限は免れず、体験できる実習目標が到達できないという課題がある。
33	他領域との実習時期の重複や調整、学内業務との重複
34	成人領域ではどの病院でも高齢の受け持ち患者の比率が高く、特に老年領域の急性期実習と重複した学習内容となっているところが多い。小児領域では新規実習施設での実習開始に伴う臨床との連携が課題である。
35	患者からのセクハラ、PCR検査時の実習停止、実習指導者がいない時がある(急な欠勤などによる)、
36	新型コロナウイルス感染症の影響による実習先の減少や受入条件の厳格化
37	成人:PCやスマホを学生が使いたがるが、倫理上の問題があり、使用させていない。
38	在院日数の短縮化に伴い、学生の学習状況に適した患者選定及び実習期間中に1人の患者を継続して受け持つことが難しくなっている。老年では、一人の教員が、7名の学生を指導しているので、十分な指導が困難。老人施設と急性期病棟の実習で高齢者看護を学ぶので、時間が不足気味。在宅では、1か所に6名という大人数の実習場もあり、もう少し実習先を増やして1か所の学生数を減らしたいが、教員数が不足してしまう。
39	コロナ禍の時期は、学生の交通手段(JR使用不可等)、同居家族の他県への移動などによる実習制限が厳しい施設がある。高齢者施設での実習のため、新型コロナウイルス感染症の拡大で臨地実習にできない状況が続いた。
40	・近年、実習先から、大学にレンタル自転車の準備をするように言われることがあり、鍵の取り扱いや自転車置き場の調整なども含めて、経済的負担と教員の調整の負担が増大している。
41	・実習指導者と学生の受けてきた教育が異なり、ジェネレーションギャップがあるのかトラブルが生じることがある。
42	実習施設に学生用控室やロッカーがない。(基礎)施設によって内容にバラつきがある。(母性)
43	基礎においては今後のカリキュラム変更で実習目標を地域に変更した場合に施設確保が困難になる可能性がある。 在宅においては実習用自転車(確保・搬送、駐輪場の確保)と交通安全の課題・問題がある。
44	その他ではないのですが、領域を横断する実習もあるため、領域ごとではなく、学部の臨地実習として回答しております。 基礎：急性期病院での実習のため、入院期間の短縮により、実習期間を通して1人の患者を継続して受け持つことが難しい。また、患者の重症度が高く、基礎実習の学生が受け持つには難易度が高い。
45	小児：看護専門学校との実習重複が多い。専門学校は通年実習しているため実習時期・人数の調整が非常に困難。 成人：外来などの多様な実習を実施するために実習部署の確保、人数の制限などの課題がある。
46	母性領域・・・実習施設が遠方(地の利、冬期では積雪などの影響)であり宿泊を伴うため、学生・教員との負担 小児領域・・・混合病棟のため子どもが入院している数が少ないこと、看護師の質が小児病棟や小児に関わるスキルに乏しい
47	実習指導に関する打合せ、報告等の時間の確保が困難。 実習先ごとの学生の負担(宿舍、交通費等)の差
48	(基礎)受持ち患者の入院日数短縮化により、学生対応がやや困難である。 (成人)受持ち患者の実習期間中の退院。
49	コロナ禍により、患者の実習受け入れの承諾が頂きにくくなってきている
50	実習施設における感染症発症による実習受け入れ困難 新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じた実習方法(在宅)
51	スタッフが指導を教員にまかせっきりになる、学生放置状態になる、分娩見学できない、助産家庭と到達度を一緒にされる(母性) 精神科の実習としては病院だけでは不十分と感じている。しかし、地域の施設、サービスとなると、病院よりもさらにスタッフが手薄であったり、実習可能な学生数が少なかったりと、実習に組み入れる上での課題が大きい。
52	③同じ時期に他の学校と実習が重なることがある。実習中の夜間や土日に「記録がかけない」「熱が出た」など電話がかかってくる ことがあるため、24時間時間実習携帯を持っていないといけない。④実習施設が遠方のため宿泊しての実習となり、生活面の指導も加わることで教員の負担が大きい。⑥他の学校との競合が生じている。施設の学生の健康管理状況の設定が厳しく、実習できないことがある。⑦実習先が県下20ヶ所あり施設ごとに細かな決まりごとがある。複数の施設を1人の教員が受け持つので移動距離が長く時間がかかる。「実習謝金が安い。値上げして欲しい。」と申し出がある。小規模事業所が多いため、急に、閉鎖や吸収合併、経営者変更があり、その後の調整に時間を要する。
53	自然災害発生に伴う実習中止による調整
54	・大学近辺での実習施設の確保が困難な場合は遠方になり、学生の宿泊費用等が高額になることがある ・実習施設が遠く、宿泊を伴う場合があり、学生の金銭的負担がある(実習施設の不足)
55	附属病院がないため、学生・教員共に通いづらく、学生はマンションを借りたり、教員も通勤に時間を要することによる困難がある。
56	領域実習のない時期に基礎看護実習を行うため、長期休暇中に実施せざるを得ない。学生も教員も休暇が削られるという課題がある。
57	・コロナ禍で実習継続が困難となり、延期とした。 ・コロナ禍における安全な臨地実習遂行のための準備と教育

Q26. 2019年度における貴大学の実習施設等との教育連携についてお伺いします。

I. 看護系課程に関わる臨地実習について課題や問題はありますか。〔各いくつでも〇〕

その他の課題※1	
58	指導教員の質に関する課題(小児看護の経験不足、教育に関する)
59	実習記録の持ち帰り禁止
60	患者の入退院が激しく、受け持ち患者の変更が多い。
61	看取りの対応(学生へのフォロー)が難しい
62	コロナの感染で介護施設の実習が危ぶまれていること 14の課題に関して、謝金が低すぎて助産院には実習を依頼できない。(その他では無いが母性より) レンタル自転車に係る費用が在宅看護学領域での教育費の中で一番を占めています。
63	実習施設が遠方、あるいはアクセスが悪い。
64	附属病院をもっていないため、遠方での実習施設を使うことが多い。学生、教員ともに負担であり、ホテル宿泊をする場合はなおさらである(母性、小児共通)。
65	実習施設によって実習指導者がリーダーを兼務することや教員の不在がないよう要望される。教員も実習指導者も不足している。入院期間の短縮により、実習期間を通して1人の患者を継続して受け持つことが難しい。実習施設によっては、学生指導用の場所
66	がとれない。実習施設によって受入れ状況が異なり、学修目標の達成が不十分、学修差が生じている。訪問看護ステーションの受け入れ人数1~2名で施設が多くなるため、教員の不足、疲弊が著しい。
67	受入れ可の施設が、翌年度受入れを突然減らしてくることがあり、いつも不安がある。(小児)
68	老年→成人と老年の区別、指導者の混乱が見られる。 在宅→大学近辺だけではなく、遠くの施設も依頼せざるを得ないので、学生も教員も負担が大きい。
69	社会の変化、精神科医療の変化に応じた臨地実習の場、方法などの検討が課題である。
70	学生配置により実習施設によっては、学生の交通費負担に差が生じる。
71	遠方の実習施設へは交通費がかかる。 新型コロナウイルス感染症の流行により、実習施設より実習受け入れが不可とされている。
72	新型コロナウイルスにて臨地実習が中止となった施設があるため、臨地実習をしている学生との不平等さを最小限にする実習方法。リモートで臨地と繋がれると良いかそれもできない施設の場合、特に問題である。
73	現在、学年進行中であり、母性看護～在宅看護の領域は2019年度に臨地実習が無かったため、具体的な問題について記載しておりません。
74	ロッカー室が狭く、着替えに必要なスペースではない。ロッカーキーがなく、セキュリティ上の問題がある。交通手段について(実習先の交通の便が非常に悪い場合がある。)
75	他大学との調整(実習時期)

Q26. 2019年度における貴大学の実習施設等との教育連携についてお伺いします。

I. 看護系課程に関わる臨地実習について課題や問題はありますか。〔各いくつでも〇〕

その他(具体的領域名)※2	
1	老年看護学実習
2	看護学総合実習(統合実習)
3	助産
4	地域
5	【助産】
6	地域看護学
7	母性、老年、在宅
8	地域
9	老年看護学
10	地域ケア
11	地域看護学
12	地域看護学領域
13	看護管理学領域
14	総合看護学実習
15	総合実習
16	看護教育学・看護管理学 →受け入れ人数の制限 地域看護学 →課題や問題はない
17	・災害看護学実習 ・総合看護
18	公衆衛生看護学
19	公衆衛生
20	看護管理学実習
21	看護管理(看護マネジメント)
22	地域看護・公衆衛生看護
23	地域看護学
24	公衆衛生看護学領域
25	公衆衛生看護
26	看護マネジメント実習
27	地域看護学領域
28	統合看護学実習
29	前領域に共通して、学生の質に関する課題を認める。学修支援を必要とする学生が増えている。
30	看護管理学
31	統合実習
32	公衆衛生看護学
33	広域看護学領域
34	公衆衛生看護学領域
35	総合看護(国際看護)
36	地域看護学
37	看護管理領域
38	地域看護学実習、総合看護学実習
39	実習施設まで向かう交通手段(自家用車がないと出向くのが難しい)、駐車場確保(施設の駐車場が使用できず、周辺の駐車場を借り上げる必要がある)。
40	公衆衛生看護学領域(選択15名)
41	看護基盤学領域、総合看護学領域
42	地域
43	基礎看護学
44	公衆衛生
45	看護実践発展領域(主として4年生科目を担当)
46	統合実習
47	学生のロッカー、物品控室など、スペースが少ない。
48	助産学
49	公衆衛生看護学
50	公衆衛生看護学領域
51	公衆衛生
52	統合実習
53	終末期ケア(成人)
54	公衆衛生
55	成人慢性期・回復期(※表中領域⑤の成人には急性期の回答を記入)
56	統合実習
57	国際看護学領域
58	統合看護学実習
59	成人看護学

Q27. 2019年度における貴大学の保健師、助産師および養護教諭の教育課程についてお伺いします。

C. 保健師課程に関わる実習で課題や問題はありますか。[いくつでも○]

その他	
1	過疎地域の実習では出生数が少なく、新生児訪問や乳幼児健診が実習期間中にないなど、実習市町村によって必須の実習体験を全て網羅することが難しい。
2	実習時間が大雨豪雨災害の時期と重なること
3	産業保健実習の開拓が難しい。時期や人数の制約が多い。家庭訪問の事例が新生児訪問(助産師委託)に偏りがち。保健師がより濃厚にかかわる事例を実習では経験しにくい。
4	実習謝金が、十分に支払えない。
5	遠方地の学生に対する旅費等の援助
6	遠隔地実習の宿泊(適切な宿を探す困難、引越負担等)、経済的負担(交通費、宿泊費等)
7	実習先に離島を含むため、一部学生の費用負担が大きい場合がある。
8	遠方での実習施設となる場合、宿泊費、交通費について学生に負担がかかる。
9	春期休業を返上して、集中講義を実施しなくてはならない
10	実習先によって距離や交通費が異なり、学生の負担に差が生じる。
11	実習は次年度から開始となり、まだ実施していない。
12	家庭訪問の経験が困難
13	選抜制でなく希望すれば選択が可能な選択制であり、年度により選択者数の変動があるため、実習施設の確保が困難な場合がある。
14	交通が不便。運転、乗り合わせは実習そのもの以外で学生の負担になる。
15	遠方施設への宿泊費用、宿泊施設の確保
16	実習施設が遠方のため学生負担が大きい
17	行政機関については、すべて府で調整されるが、人数制限が厳しくなっている
18	実習は2021年度から行うので、現時点では課題の有無について不明です。
19	宿泊を伴う実習は、費用、学生・教員の健康面に課題がある。
20	看護師免許を保持しないままでの公衆衛生看護実習のため、深い実習内容の設定が乏しく成る。
21	実習施設不足が基盤にありますが、毎年実習施設(地域)が県内エリアで異なるため、県内でも遠距離(特急での移動や移動時間に片道2時間以上も要す)通学や宿泊が必要になるなど、学生の経済的負担が大きいこと、さらにその額が毎年異なることが課題となっています。
22	実習開始は令和3年4月以降であるため、課題や問題は不明である。
23	2019年度時点では、在籍が1年次生のみなので、まだ実習は始まっておりません。
24	統合カリキュラムの関係で、保健師課程の4年次市町村・保健所隣地実習前に十分な技術確認をして実習に臨むことができない。

Q27. 2019年度における貴大学の保健師、助産師および養護教諭の教育課程についてお伺いします。

F. 助産師課程に関わる実習で課題や問題はありますか。[いくつでも○]

その他	
1	技術演習を行うためのシミュレーターが老朽化しているため、学内での演習に支障がある。
2	県内に適当な施設がないので、県外へ実習に行かざるをえない。
3	診療所での出産が8割を占めるため制約が多く毎年実習先を探している。
4	分娩介助実習に伴う宿泊施設が必要であり、実習施設に近いウィークリーマンション等を借りているが、金額が高い(学生による支出)、確保するのが困難な場合がある(7週間)などの課題がある。
5	教員の実習指導時間が長い(土日祝日や夜間の勤務がある)
6	・助産学実習では、実習時間の夜間帯への延長や、場合によっては休日にも実習させる必要がある。夜間や休日においては、実習施設で職員数が少なくなるため、専任教員が実習に伴う必要があり、教員指導体制を整えることが非常に難しい。 ・年度によって入学生の数が異なるため、各実習施設との助産学実習の調整内容が異なってくる。特に、年度によって実習しない実習施設との関係維持は難しい問題である。
7	実習先が遠隔地の場合、施設近くの宿泊施設を借りて実習することになるため、一部学生の負担が大きい。
8	分娩件数が少なく、学生の待機時間が長い。 分娩件数の確保のため、遠方の分娩施設で実習を行わざるを得ず、宿泊費や交通費で学生に負担がかかる。
9	10例程度の分娩介助が課せられているので、学生は昼夜実習しているので疲労が蓄積する。実習期間の延長や指導助産師、教員の時間外労働がある。分娩のハイリスク化で学生が受け持てる対象が少ない中で、危険が伴う。
10	学生が介助できる分娩数の減少
11	分娩介助実習について、施設によっては無痛分娩が多く、実習内容の偏りを調整するのが難しい。
12	分娩数の減少に伴い、分娩介助例数をクリアすることが難しい。
13	実習途中で受入施設側の都合で実習中止となり、別の実習受け入れ先を探す必要があった。
14	新型コロナウイルス感染症のため、実習期間が制限されている中で、国が定めている学生1人9例以上の分娩介助の担保が本当に難しい。今年度、全助協は分娩介助に代わる学内実習の教材(紙上事例)を提示してくれたが、やはり実際の分娩介助実習から学ぶものと、教材では質量ともに開きがありすぎる。
15	遠方施設への宿泊費用、宿泊施設の確保
16	指導助産師不足のため、教員が分娩介助する場合の責任の問題。教員の働き方改革問題。
17	1. 実習期間が短く、同じ対象者を妊娠期から産褥期を受け持つという継続事例が実習できない。 2. 同時期にいくつもの施設に実習に行くことによる教員の疲弊。

I. 養護教諭1種の教育課程に関わる実習で課題や問題がありますか。[いくつでも○]

その他	
1	学部(保健学科)、大学院(保健学専攻)としてではなく、総合大学としての教職課程があり、養護教諭を希望する学生は主体的に自己管理のもと履修する。よって定員はなく希望者が履修。教員は履修の全体像を把握していない。
2	養護教諭1種は、大学内別組織での教育課程のため詳細は不明
3	実習校への教員訪問が県内に限り、他県には電話訪問で対応
4	15-H.養護教諭1種の定員は定めていないため、4年生の履修者数を記載した。
5	採用試験の倍率が高く、就職が困難である
6	①本学科は「看護師の資格を持った養護教諭」の養成であるため、看護の学びとしての臨床実習を含めた多くのカリキュラムをこなすことに重点が置かれ、養護教諭としての学びの時間を確保することが難しくなっている。②学業成績上、看護師課程との両立が難しいと思われる学生が増えつつあり、教職課程を選択する学生数が減ってきている。
7	養護教諭の定員数は決まっていないので未記入です。
8	看護実習との調整
9	・実習校の期待と学生の参加目的に乖離がある 「養護教諭を目指している」、「養護教諭にいずれはなる予定」という気持ちで実習に参加するのを実習校は前提としているが、看護師の就職が内定した段階での実習(9月)であるため、実習先で「資格だけ取る」という言葉を躊躇なく発してしまう学生がいる。実習校からの苦言に教員が対応することがある。
10	養護教諭1種課程の定員は定めていないため、4年生の履修者数を記載した。 毎年履修人数が異なるため、教員の業務量が変わってしまうことが課題。
11	採用試験を受験しない学生に対して、実習校から指導いただくことがあります。
12	実習はまだ実施していない。
13	教育実習と他の授業や実習との日程調整が難しい。 定員は設けていない(希望者全員受講可能)。
14	実習開始は令和3年4月以降であるため、課題や問題は不明である。

Q30. 2019年度の看護系の学部・学科、大学院の学内研究費についてお伺いします。〔各数値回答〕

その他	
1	教育研究基盤経費(学生分)
2	職責に応じた研究費の配分率を定めておらず、職責ごとの平均金額を算出することが困難であるため、2019年度の研究経費執行額を現員数で除した金額を「その他」として記載しています。
3	大学院教育経費として、30千円×指導学生により、各指導教員に配布する。
4	研究室の人数により配分額が決定しており(職名による違いなし)、1人講座 660,000円、2人講座 810,000円、3人講座 960,000円、4人以上所属講座 1人当たり290,000円。これに次が加算される。個人の科研費申請件数により配分する経費あり。博士課程前期学生一人につき 67,000円、博士課程後期学生一人につき156,000円、上記学生の留学生一人につき 30,000円加算、研究生一人につき1月あたり1,300円加算。
5	その他学長が認める者
6	非常勤助手・臨時助手は調整費として1人あたり60,000円(旅費を含む)を配分している。 別途該当者には加算あり
7	・加算1: 大学院の論文の指導教員資格を有する者に一定額を加算 ・加算2: 指導する大学院生の人数に応じ一定額を加算
8	特任助教
9	上記の基礎配分に評価配分(140000円)を評価により付与している。
10	特任教授
11	特任教授
12	◆地域貢献研究萌芽的プロジェクト研究予算:460,000円/1名 ◆科研費等獲得インセンティブ経費:1,000,000円/5名 平均:460,000円+1,000,000円÷6名(研究費獲得者数)=243,333円(一人当たり平均額)
13	看護教育研修センター(認定看護師教育課程)の教員
14	旅費交通費(一人あたり年配当):教授:127,000円、准教授110,000円、講師91,000円、助教81,000円 共同研究費:2,500,000円(学部内公募)
15	教育講師
16	臨床教員
17	特任教育教授
18	学部、大学員ともに職位によらない
19	客員教授
20	実習助手(実習助手は職員という扱いのため。)
21	学内研究助成があり、各研究者に公募し、採択されれば個人研究とは別に配分する。
22	大学院を兼任している教員には、別途200,000円追加している。
23	個々に金額を定めている。
24	看護学部の共同研究として準備。採択件数、研究内容により配分を行う。 掲載額以外にも、大学全体の研究費として、学長決済によるものも設定している。
25	大学院生150,000円、特任教授240,000円
26	前年度に外部研究資金への申請がなかった教員(外部研究資金による研究を実施中の教員除く)は上記金額から50,000円減額する。
27	大学院生に個人研究費を支給 博士前期課程 145,000円/年、博士後期課程 290,000円/年
28	学長裁量経費(個人配分)
29	学内特別研究費制度(金額は課題ごと)
30	前年度の研究実績に応じて、6ランクで研究費の支給額が決定されます。新着任者の場合は、30万円までの支給を可としています。
31	65歳以上の特約教授
32	教員研究費のみ記載
33	大学院担当者にはプラス5万円/年度
34	特任教授
35	研究助手10万円、認定助手7万円
36	学部共同研究費年間3,000,000円
37	ナース白衣、ナースシューズ等費用も含む
38	学部研究助成金として若手研究者支援を行っている
39	共同研究費 2,000,000円
40	学長重点配分経費 2,000,000円、共同研究費 3,000,000円
41	スポーツ・健康科学部特任助手
42	国立高度専門医療研究センターの臨床教員

Q36. 本調査に関するご意見、ご要望がありましたらご記入ください。

1	Q27-H 養護教諭1種の定員数について明記されておりません。よって数値は未記入となっておりますが、現在4年生11名、3年生7名がおります。
2	前年度調査結果を閲覧できるようにしていただけると助かります。
3	Q24のうちB及びCについて、本学ではハラスメント事例の発生に関しては、加害者を懲戒処分とした事例が発生した場合は概要等を公表しておりますが、該当事例がなかった場合は、該当事例の有無も含めて概要等を公表しておりませんので、回答いたしかねます。
4	Q35 TAIは時給単価のため、年間総勤務日数は総勤務時間より概算にて算出した。 RAIは月額単価のため、この形式では回答不能。
5	看護教育(保助看)の質担保の為の教員の必要数・適正数を根拠をもって示して欲しい。コアカリ、指定規則内容を満たす為に実現できるための数を示して欲しい。医学教育に必要な教員数と看護教育に必要な教員数の差の根拠は何か?
6	Q35.「年間総勤務日数」については、日数管理をしていないため記入できません。
7	【Q28】A、Bともに、県内在住者の入学金は282,000円である。 【Q32-B】実習先との実習委託契約の委託料を、週額1,440円で契約しているため、1人の学生が1日実習に行っても、5日間行ったとしても週額なので、1,440円となるので、最低・最高額ともに1,440円と記載いたしました。
8	本学で養成しているNPIについて記載する欄がありません。 全国11カ所の大学院修士課程で毎年500名程度輩出しているため、カウントを要すると思われまます。
9	Q23-Hの財源については、大学自体から14万円。後援会から35万円を捻出している。 Q28-Aのその他は、後援会会費である。 Q28-A入学金は、県内居住者は、282,000円 Q31-Cの財源は後援会から捻出している。
10	初年度学納金について 入学科 → 県外在住者564,000円、県内在住者282,000円 入学科、授業料は学部・大学院とも同額である。
11	Q28の入学金は、学部、博士前期、博士後期ともに県外学生の額。県内学生の入学金はいずれも226,000円。
12	●●市内居住者入学金:141,000円(大学)、84,600円(助産学専攻科)、141,000円(大学院/研究・CNS)
13	RAIは時給でも日給でもなく年棒です。
14	【追加情報】入学金・・・県内の者は282,000円
15	Q28.Aの入学金について、県内出身者は282,000円
16	Q28-Aについて、県内出身者の入学金は188,000円。 Q28-Bについて、研究コース、CNSコースともに、県内出身者の入学金は188,000円、本学卒業生の入学金は94,000円。
17	Q28(初年度の学納金)における入学金について:大学及び大学院共有 ・県外出身の場合 564,000円 ・県内出身の場合 282,000円 (本人又はその配属者若しくは一親等の直系尊属が本人の入学許可の日前1年間引き続き県内に住所を有する場合をいう。)
18	Q28-A 大学県内生の入学金 282,000円、助産学専攻科学内生・県内生の入学金 169,200円 Q28-B 専門看護師課程(CNS)の授業料 長期履修制度(3年)により535,800*2/3 Q31-B,E,Q32-B の時間給は、日額を勤務時間(7時間45分)により換算した額
19	本学の入学金は県内在住者と県内在住者で異なっている。Q28.A.入学金には、便宜上、県外在住者の入学金を記載しており、県内在住者の入学金は188,000円である。
20	Q28.Aの学納金については、「その他」に父母会の委託徴収金80,000円及び同窓会費10,000円を含む。 Q31.C, Q32.Cについては、父母会からの補助。
21	Q27-Hについては、養護教諭1種課程の定員は定めていないため、2019年度入学生の履修人数を記載した。
22	Q32.-Cの補助金は、旅行者へ委託しているため、交通費・宿泊費を分けて計算することは困難なため、「その他」に記載。 *記述欄について
23	Excelシートが保護されているため文字数が多い場合に欄に収まりきらず、印刷時に文字が見切れてしまいます。保護を解除、もしくはフォーマットの欄を大きくしていただけると事務作業が助かります。ご検討いただけますと幸いです。
24	Q31-A, Q31-D, Q32-A, Q33-Aにおける実習補助員の勤務総日数について、外部の実習委託施設の勤務状況を把握できないため、空欄としています。
25	昨年度のデータを紙媒体で送付頂いておりますが、可能であれば昨年度のデータが入力されたエクセルシートも頂けると、業務効率が向上すると思えます。ご検討の程、よろしくお願致します。
26	Q24-G:利益相反に関する金銭的情報についての該当の有無に関わらず、研究開始時に一律に報告させている。 Q28-B:大学院に進学する学内出身者等に対して、入学金を免除している。
27	結果の公開及び国の施策への反映に使用していただきたい。 ・Q14について、学部生の入学定員<内、編入学生数は、「若干名」(健康科学部時の定員)。数値では入力できません。 ・Q29について、昨年度までは、給付型に学部奨学金やワークスタディ奨学金を計上していたが、看護系学部独自の奨学金ではないため、今年度は削除し、望星奨学金のみ計上とした。 ・Q31-Aについて、非常勤教員の勤務総日数は、4,196H(日数では算出不可のため)。 ・Q31-Dについて、非常勤教員の勤務総日数は、433H(日数では算出不可のため)。 ・Q32-Aについて、非常勤教員の勤務総日数は、235H(日数では算出不可のため)。 ・Q32-Bについて、該当欄がなかったため、こちらに記載(その他(産業保健看護学実習分):最低最高額1,500円、年間支払総額288,000円)。※Q32-Aの実習施設数では「その他」の欄があるのに対し、経費を記入するQ32-Bでは「その他」の欄がないため。2019年度調査時と同じ欄がなかった。
28	年間金額などの詳細はアンケートしながら調査されるのは難しい。実習先も実働はあるが、今年度は保留のところなどあるので、数の詳細は難しい。
29	Q28-B:学校法人 ●●大学設置校で看護教育を修了した者及び関連施設就業者は入学金を全額免除する。

Q36. 本調査に関するご意見、ご要望がありましたらご記入ください。

30	毎年末、特に今年はコロナ禍で方々から追加の調査がひっきりなしに来ている業務繁多な中でこれだけの分量の調査を例年と同じ期間で課されるのは非常に厳しく、所帯の小さい本学では調査依頼に対応しきれない部署も出てきてしまっている。 また、序文に「教育・看護政策等に提言するための基礎資料」とあるが、どの項目がどのように生かされているのか見えて来ない。調査および結果の集約に手間がかかる上に有用性が無さそうな、慣例で集めているだけのように感じる項目もあるので、御協会・協議会でも時世に合わせて調査項目の削除・精査等スリム化を検討して頂きたい。
31	(Q23-H)大学独自の経済的支援に係る規定等はあるが、2019年度は派遣が無かったため、「支援 無」にチェックしています。
32	Q27-H. 定員を設定していないため、0人と記入。
33	実習謝礼金の平均的な金額(学生一人当たりの年間実習費支払い額)の現状について知りたいです。
34	Q31-AとQ33-Aにおける非常勤教員の勤務総日数は、通常の大学勤務日数と実習先への実習指導日数を分けて計算することが困難なため、2019年度の年間勤務日数を記載しております。
35	①Q35について、本学ではTAを採用しているが、授業担当科目のコマ数単位での採用としているため、回答は見送ります。(昨年度と同様) ②調査結果を拝見すると、例えば「実習施設の不足／確保困難、教員不足であること」が明確であるのなら、一大学の問題としてではなく看護系大学全体が抱える問題として捉え、協会が主体となり厚生労働省や文部科学省に働きかけて欲しい。 ③調査のお願いの文書の10行目に厚生労働省や文部科学省にも活用されていると記載されていますが、具体的にどのように活用されているか情報を公開していただきたい。
36	Q24について、発生の有無や内容については公表しないこととしている。
37	・Q18-BとCについて、2019年度は、年度末にコロナ禍となり、予定していた看護職者等の専門向け講座が中止となったため、実績0件とした。 ・Q23-Bの続き、 4大学:スペイン・タイ・ベトナム・英国 3大学:アルゼンチン・インドネシア・ウズベキスタン・エチオピア・フランス 2大学:イタリア・エジプト・オーストラリア・ケニア・シンガポール・チェコ・ネパール・ペルー・メキシコ・リトアニア・香港 1大学:アルメニア・イスラエル・ウクライナ・オーストリア・ガーナ・カンボジア・キューバ・キルギス・ザンビア・スリランカ・セネガル・タンザニア・デンマーク・ドイツ・ドミニカ共和国・トルコ・ニュージーランド・パプアニューギニア・パラグアイ・ブルガリア・ブルネイ・ベルギー・ポーランド・ボリビア・マカオ・マケドニア旧ユーゴスラヴィア・ミャンマー・モロッコ・モンゴル・ラオス・南アフリカ ・Q29について、2019年度より減免型による奨学金制度へ一部移行したため、給付型の奨学金は2019年度から大幅に減となっている。
38	Q24-G:利益相反に関する金銭的情報についての該当の有無に関わらず、研究開始時に一律に報告させている。 Q28-A:助産別科に進学する学内出身者等に対して、入学金を免除している。
39	毎年実施する必要があるのでしょうか?今年も、様々なところからコロナの件でアンケートが来ていますので、かなり負担になりました。
40	Q29 2019年度の看護系の学部・学科、大学院独自の奨学金についての回答ですが、本学は授業料減免制度はありますが、給付型、貸与型とは異なるため、記載しておりません。 Q31.F 在宅看護学実習に対する学生への補助金について金額を記入する設問ですが、在宅看護実習のみの金額を算出することが困難なため、記載しておりません。
41	提出が遅れて申し訳ございません。なお、昨年度は本学に勤めていないのでデータは現時点で分かるものだけ入力しています。
42	本学部は2017年度開設であり、調査対象年度は第3学年までの開講となるため、未実施である保健師・助産師養成課程、卒業生に係る質問に関しましては「0」または「未記入」とさせていただきます。
43	2019年度4月現在および2019年度全体において、全学年がそろっていないため、お答えできないところが複数あります。何卒宜しくお願い致します。
44	2019年度は開設2年目であり、回答は2学年の実績を示した。
45	完成年度前で、2019年に開学部したため、1年生しかいません。未記入が多いですが、よろしくお願いたします。
46	養護教諭1種課程の定員は定めていないため、1年生履修者数を記載した。